



元一六六二至一七五五年 身正一府七年間

錢院施為海亭 似情及之 魏子其良 並以印字 多札時 施化于大个別

魏子後子 善能侍 惜于蕭山 自後初陽 人方印陽 印信 未存于為一

故其云 字字師 世師 甲午自刻 一印云 乃六年 間視 桂生 引十八名 其云

字字師 自魏 字字 其 善 魏 院 後 是 人 二 十 八 年

魏子後 字字 師 世 師 甲 午 自 刻 一 印 云 乃 六 年 間 視 桂 生 引 十 八 名 其 云

魏子後 字字 師 世 師 甲 午 自 刻 一 印 云 乃 六 年 間 視 桂 生 引 十 八 名 其 云

魏子後 字字 師 世 師 甲 午 自 刻 一 印 云 乃 六 年 間 視 桂 生 引 十 八 名 其 云

魏子後 字字 師 世 師 甲 午 自 刻 一 印 云 乃 六 年 間 視 桂 生 引 十 八 名 其 云

張亦本姓 漢字子久 以 張 院 字 也 年 佳

嘉興徐多木以詩初出代及是年劉福檢大士白院白梅

林真自早苦多懷水夢系子實去處便隨秋向竹中景如梅文字不

夜徒布華心子被生照主或正亦之劉印又及木弟子子鄭子城字子元

遂前村名印信又中徐備核子身身在岳山人世前徐公木者小樹金任石本

油亭靈遊健及女從子岳僕以印至兄亦改健之字居之院介庵晚院菊仙之集極著

印信且亮岳字勝予一字和念院具巢又後收為劉世氏也思白而為等

湖四步是舉以查前控去去張衣字慧後院前梅首布の流一噴

飲以查多醉風年

五十五

此世之世  
世世之世  
世世之世  
世世之世

一作快報  
華亭人

相仰曾孫以妙擅丹青字畫其威名曾長官汝居日向著曰從居邑一青

鏡又宜以爲金陵人稱古畫為做在取年八十餘好鍾字受伯無之字無人期

善鳥不愧絕塵錄上層謝樹也張濤也他州字子侯家北杭州以爲曹氏字

善作畫善畫山川及道亦用子進球再信其業終子爾網床多金山善字

思及人物士女騎字玉奇以字美振振步比至幸竹名也共字之妻子相年字

字季中字兵一外兼子山小善幼同年皆自便下鈕又習此遠字子遊無錫

人稱富海也亦帶以弟子與子泗子德思一字德師供善字真又善水但了可字

善自漢世生寫真六月學以作吾畫桃名入稱得地是華擅筆林也飛白似

筆又條條戴茶字前漏海昌祝初字松如寫善謝村林有看竹開朱彝子多作又善行

張亦本姓張字子久以張濤字也華生

張亦本姓張字子久以張濤字也華生

新周鼎工付和得使由是... 平叔服... 及錄... 而上... 第... 會中...

及受... 公... 傳... 使... 和... 局... 之... 信... 為... 錄... 左... 右... 洽... 等... 札... 凡... 十... 日... 幸... 家... 共... 妙... 于... 天... 神... 樂...

克世不傳

入... 際... 國... 聖... 亦... 第... 以... 天... 之... 若... 否... 則... 聖... 一... 言... 茲... 則... 於... 天... 之... 其... 中... 亦... 有... 其... 事... 也...

予... 未... 申... 乙... 亥... 以... 董... 之... 以... 國... 者... 為... 日... 難... 矣... 又... 昔... 則... 遠... 矣... 而... 三... 也...

也... 及... 之... 終... 上... 女... 辭... 言... 上... 帝... 之... 命... 未... 終... 終... 矣... 則... 予... 奉... 命... 遠... 矣... 亦... 之... 矣... 乙... 亥... 年... 春...

一和... 聖...

也... 力... 之... 宜... 也... 亦... 也... 以... 及... 則... 亦... 所... 也... 聖... 聖... 再... 於... 其... 業... 終... 矣... 而... 亦... 矣... 乙... 亥... 年... 春...

蕭... 山... 汝... 和... 矣... 以... 善... 作... 也... 收... 錄... 以... 化... 鼓... 春... 也... 矣... 矣... 札... 之... 聖... 時... 者... 之... 效... 也... 矣... 乙... 亥... 年... 春...

用... 啟... 等... 敏... 行...

二... 和... 黃... 鐘... 黃... 鍾... 及... 鐘... 于... 泓... 澗... 俱... 有... 聲... 也... 時... 鐘... 至... 朗... 矣... 從... 使... 鹿... 由... 何... 之... 歷... 之... 刑... 部...

杜... 州... 文... 集... 卷... 第... 一... 卷...

此二漢社  
字子棠校

卷之二〇〇

倪子二六五  
卷之二〇〇

郎中善以眾用之猶竹林不徒昔有春華同詩飲四卷春華同考其所考處也傳字

定感造若谷中何至層底登東陵雲道有與好是千一老此字見中說茶以由羅

生考獲州刺善指語查雲後乃舟壞不取因日說水休生考有前中平雲字際江

說子癡子飲初本多正不獲若方未飾務同字神田去查蘭竹石

余程華學動以詩鳴華氏士印付披至年有東陽訓等考為寔核詩未奉氏言獻其說於州者

有雲被中竹集

黃歲李際時以林竹稿去女古稿苑晚在太平善有校談集先查正遊秋水初九部此中名陰雷

船以劉德文子派桓之節令刻名令歸集

館地初家仁留心微獻何人古思祖交字元朗說某國嘗稱傳地之獻于何卷凡前送字以

字值之初撰後若宗義一以送輯送詩以二十何家他何便何宗者送本乃中撰又善有某國詩集

太平金香 疏以左氏善社今人字以堂鼓杖肩校多也善有朱齊若經

景亭葉承陽法易言善人言日以張洵齋由歲三有善者名訓等劉代善方為即正安是以此

受易地於十庸等古

山法余北琳長於初曲余氏字蘭來揚州籍有金帶花青蓮盤青核夢洲佳寺神

紅地又有詩曰采芝於

義烏方啟英倫唐少東歷城與朱令明以公利任寬蒲若時稱歷城三詩人方氏字遇春字

特千號柳山例授州同善方東園集冒山前係集律宣初方今詩處之一斑錄

仁和諸昇何私寫情字家諸氏字如張職庵雪竹七佳兼兵蘭石其必有錢坊介後安秀

此師昇墨竹又墨子遊就又杭人阮季才子遊生墨竹亦師諸氏

公九一七二三年  
二張正九年癸卯  
是年曾所試九月合試

一七二二三年

一七二二三年

雲和柳之元華孝亦方曰科柳氏子又長

及文揚山小童

唾時羊譯文向評

一七二二三年

一七二二三年

一七二二三年

一七二二三年

鳥程潘休梅道梅生儒人子有野道戒平原二種

字山小曰雲林逸故子輝字思庭一作思庭

高陰就傲許情著力守玉山人詩集



交易地於十庸等處

山陰余兆琳長於初曲余氏字蘭來揚州藉有金帶花青蓮盤青核夢洲佳句

紅乳世又名詩曰采翠吟

義烏方啟英僑居之東歷城與朱令昭以公劉任竟蒲若時稱歷城三詩人方氏字遇春一字

特千競柳山例授州同善書東園集蜀山詩集律書初古今詩卷一題錄

與博名家諸人字如張曦庵雪竹七佳兼長蘭石其必有錢煥今則從字亦

光  
師

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

如

咸亨堂...  
三浦乳汁...  
六...  
七...

咸亨堂...  
七...

入稿本  
又說院...  
今三度...  
...

時志...  
他...  
...

而得...  
大...  
...

...

...

...

...

...

鳥...  
...

字...  
...

...



光緒... 卷之... 三

訂正

海寧陸宗楷成進士陸氏子健先獲昆川榜姓陳官著山官學教習三年授翰林

院檢閱歷官神部尚書左選內閣學士

前獲趙田熙奉者康身正越氏字斯敏亦熙五十三年舉人官博野縣知縣能任時有八不妄錢說  
為氏向任補川也老上序性於吟詠工賦神文著有性法錄詠

浦口樓水映岸者康身正不就楊氏字尤大恩至台官字伯敏詠

素興金陳登中舉人全氏字采桐著有楚餘集用氏字德玉著有白溪村真詩集

呂氏字甚舉中舉人全氏字初之官臣州府子刊記

...

到城高藝飲什為之氏字宗山號南村官長子知縣著有瓶生集

伯章楊正謙中舉字揚大才戒信官內角中書學士式徽少辰成堂刻尤尤者必清冥集

陽安沈懋華成進士沈文芝同太倉糧廳文御史以軍事改印曹遂川碑

金華江作楫中岑人以文字舟旋擊曹曹至縣劉縣官夫文劉銜曹曹鳴鼓年

餘如為運標成進士翁文宇集上流亭野中桐相公林歷道州七州

平湖汪汝欽成進士汪文宇授庭授明濟上縣改強州府學教授著書濟公吟卷

會稽夏北興對姚胡中表同夏文宇大田與丁芝田同府題府橋之亭詩名志相增相化仲宰官內閣中書

蕭山東吃陳成進士宋文宇州主說中置廳官福建按察使

秀水沈青崖任仲為沈文宇良忠歷安陽南陽道著書寓舟詩集

之也吳東木湖額年十二卷州係一書鄭反書相何李巡廣實秋本

公元一七二四年

雍正二年甲辰

是年二月行試八月會試

兩浙總督劉世明任澤州王鈞捐資修濬西湖是年十一月朔十日訖兩午十月二十

日而告竣工凡費銀三萬五千七百兩又以銀五千兩買田收租作善人劉世明等

年修濬西湖二核東湖及怡白橋碑記記事

~~...~~

~~...~~

...

...

...

...

...

...

海寧徐煥然年相府松筠心曰榜進士並入榜再徐氏榜姓年言殊號桐村  
府人子子的後教之二人便後極修

秀水徐元祿成進士榜姓年言上符後化也由序率教於時之年歷度比  
志連名各存

寫在矣進也成進士入白化其氏榜姓徐年言中號致齋由產考士授協仁政  
堂布道聖泰御史

榜姓年言上符後化也  
榜姓年言上符後化也

榜姓年言上符後化也

府字刻後

榜姓年言上符後化也

吳邦燦

榜姓年言上符後化也

以附列之如下

嘉慶... 卷之... 謝山...

都李昌京中武舉人李氏字後琦二字伯若少時為孝行...

永原程嗣業成進士程大守校一強五等授戶部主事...

卷之五等詩格の巻

柴伯切（漢魏地誌補注）古詩卷十二卷附刊

沈初著善解名竹全於十卷刊行

温物





公元一七二五年

雍正三年乙巳

嘉善徐廷

嘉善徐廷

嘉善徐廷

嘉善徐廷

念東西崎而樓分行者一皆字畫碑版日集嘉善徐廷

嘉善徐廷

紫竹梅系姚建謙作臣有軒考古采編中之卷鐵存萬刊未出版

溫州



0

文

文

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

公元一七二六年

雍正四年丙午

神也... 天... 皇... 帝... 聖... 訓... 垂... 鑒... 萬... 世... 無... 疆... 萬... 古... 無... 疆... 萬... 古... 無... 疆...

聖... 訓... 垂... 鑒... 萬... 世... 無... 疆...

聖... 訓... 垂... 鑒... 萬... 世... 無... 疆... 萬... 古... 無... 疆... 萬... 古... 無... 疆...

聖... 訓... 垂... 鑒... 萬... 世... 無... 疆... 萬... 古... 無... 疆... 萬... 古... 無... 疆...

聖... 訓... 垂... 鑒... 萬... 世... 無... 疆...

聖... 訓... 垂... 鑒... 萬... 世... 無... 疆... 萬... 古... 無... 疆... 萬... 古... 無... 疆...

聖... 訓... 垂... 鑒... 萬... 世... 無... 疆...

聖... 訓... 垂... 鑒... 萬... 世... 無... 疆... 萬... 古... 無... 疆... 萬... 古... 無... 疆...

聖... 訓... 垂... 鑒... 萬... 世... 無... 疆... 萬... 古... 無... 疆... 萬... 古... 無... 疆...

趙孟頫升始刊後曾信去敏水他於湖州初朱壽尊後得書卷之似人

設其不復付於不長晚年始之傳出於五洲中之狀家乃閩者列本作書

日考以念之需修之能步備候耳

初師受西夏志烈學於師學長字信三言內向中至見字自天文律石以學城毀等例

聖朝府名孫先考考十封非理字考多成材

補江朱鳴鶴內名之曲華內筆御試朱氏字羽年仲著青官查文信詩卓福比赴華海南洋少全華

興進提於前正十年進士官過海之知調文山進養日於官署施政皆果庭刊平凡刊刊以留

漢十載選授太平教場以老不赴任

歸而戴炳中學人戴氏官國成鏡茶星由天津倉士使遷四川知縣歷雲陽彭

水著自秋樹山房詩飲

諸暨錢曰布中仰峯錢氏字載錫

石門胡宗袁任街為胡氏字摺思祖明廷字九元明天啟元年峯人清授仙居教諭著有壽花  
居村集父直方字國長歲在辛酉前赴別陽宗袁著有濟聲唱和集

溫州府

抄

抄

抄

抄

杭州大東美術館製 (B四開邊紙)

杭州大東美術館製

公元一七二七年

雍正五年丁未

任...  
任...  
...  
...

...  
...

...  
...

...  
...

...  
...

...  
...

...

僧...  
...

今存...  
...

...  
...  
...



明江始督署之持之李國奏之溫州府考唐蘇之台州府太平縣之向海上之玉臨山也

備先行遷之宋末平官後無新之乃多防之中私聖四級利之為量及個如匠人搭案

住此之用國之七之得里從若之在考唐太平縣之非也宋清折也地之宜玉理應設由防同知

理從之御之之治以有徐州人<sup>唐</sup>由李而市時授授右副却物文之校似人是年加之

信得授時以也皆考之孫之六年又加前朝以有七府五州七年陞兵部若以考之孫之

在州校載之侯君多(據要之見打後)

唐和宋末之... 唐和宋末之... 唐和宋末之...

唐和宋末之... 唐和宋末之... 唐和宋末之...

唐和宋末之... 唐和宋末之... 唐和宋末之...

唐和宋末之... 唐和宋末之... 唐和宋末之...

公元一七二八年

雍正六年戊申

一、此本 周子學擇其所有書者卷一僅此信為一角編成甲乙兩冊而此本亦

以主原已及年而止神似若同江村江村信本 據知此裝後又仿金烟道照例列一

書者一柱亦宋又著述(考)志信一卷考得此後一以月久子仿向後葉

故自署晚之取居也安未作新金州據 宜切其和之即多之年 暫 孤神精考言收或女亦正

乙而心原主之而收去入一角歸而冊今其之信亦用氏考片似文文山所

為訪文田衛于午年(也)之書信以終較條錄去仙本一角歸甲乙而冊考宜延其係並和入抄即其也)

二、此本 亦與五期... 宜切其和之即多之年 暫 孤神精考言收或女亦正

按竊由產吉士散故授為行居定太字音之仰 既長子似庭護桂川又談子且後考

依接極付

... 抄本... 宜切其和之即多之年 暫 孤神精考言收或女亦正

一七二七  
一七二八  
一七二九

雍正七年

以口必督署正格之李衛奏之區温州府書局與台州府太平縣之簡海上之玉環山也

備先行遷上其宋書卷後無一經的以多階共中私製四級利之為甚及聞知臣人據案

住此以圖因以七子得里從若不在書局太平西去較世本請析之地言宜玉環縣設海防同知以

理經一御之文治以有徐州人<sup>和</sup>由雲石市時任授右副都御史之核似以是午加印

金壇縣

金壇縣知縣官啟書外克勿為也均集十八卷補遺補錄

御書書御之而御其片三<sup>續</sup>御書書御之而御其片三<sup>續</sup>御書書御之而御其片三<sup>續</sup>

國傳修齊其年有古一子天也自旦清統其水二其生神付

光緒八年重刊

日去走而<sup>續</sup>陸穆書年信二卷附傳一卷四例防全卷刊本出版大以力

張師<sup>續</sup>撰陸子年信在乾隆時<sup>續</sup>

李鄉等書而<sup>續</sup>其卷十六卷刊引也

姚氏傳修其宋八家信五十二卷刊引

六不三十願忠文不第三十卷附年信一卷刊引

御書書御之而御其片三

二八六八  
二八六二

杭州大東美術印刷社

公元一七二九年

雍正七年己酉

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

依接板付

...

...

以口必督等心林之李樹奏之溫州府李君林与台州府太平林之向海上李君山也之連

備先行遷李君李君後無二種的以多階共中私製四級利之為一及聞如臣人據案出

住此小園因的七十餘里從若石底李君太平西之類也李君折也地字宜玉理應設海防同知以治

未與李光蘇觀板齋藏金石文考以十二卷刻成李氏字子中家富藏于華樓

淵金石文之字亦所藏碑之石件種延用之金石一齋介後一朱君字子中依之折條

王華村之稽集為一法字以成是書論其辨證雖少而之眾集之功實同之氏

金石萃錄之先學先璣子知敬字斯立奇片主若谷陳亦家子知對子三才

字集之有如其同詩集四條字集一有樹齋送竹奇名之宗是字後其父

子均皆供華宗是尤善書古雜印一致中未易辨法近濟甚稱一

以口必督李樹建亭亦西湖孤山一藝其地若方湖之四也文成世久石亦考自

建亭以世宗為建亭亭以魚為報送條宜亭以魚亭

春順如錄上海朱國源上海葉仙上海春順如志

十卷成書刊列朱氏數目卷四四及是志字極疏

今有信本也

書又得朱國源刻本為佳本也

刻本林十卷中亦以此誌新詳至錄其卷四四林國源刻本

刻本王守龍刻本亦以此誌新詳至錄其卷四四林國源刻本

亦以此誌新詳至錄其卷四四林國源刻本

刻本入朱氏刻本亦以此誌新詳至錄其卷四四林國源刻本

刻本亦以此誌新詳至錄其卷四四林國源刻本

刻本亦以此誌新詳至錄其卷四四林國源刻本

依按檢討

...

公元一七三〇年

雍正八年庚戌

朕督率御以五堤春曉亭以建为梅兰竹梅分榻昭宣矣

一志者以言也... 朕督率御以五堤春曉亭以建为梅兰竹梅分榻昭宣矣

朕督率御以五堤春曉亭以建为梅兰竹梅分榻昭宣矣

朕督率御以五堤春曉亭以建为梅兰竹梅分榻昭宣矣

朕督率御以五堤春曉亭以建为梅兰竹梅分榻昭宣矣

朕督率御以五堤春曉亭以建为梅兰竹梅分榻昭宣矣

朕督率御以五堤春曉亭以建为梅兰竹梅分榻昭宣矣

朕督率御以五堤春曉亭以建为梅兰竹梅分榻昭宣矣

朕督率御以五堤春曉亭以建为梅兰竹梅分榻昭宣矣

朕督率御以五堤春曉亭以建为梅兰竹梅分榻昭宣矣

朕督率御以五堤春曉亭以建为梅兰竹梅分榻昭宣矣

此江總督著心林之孝得奏之區温州府孝廉林与台州府太平林之簡海上之玉環山也

備先行遷來本寺堂後無種的以多陪其中私鑿四級利之為甚及聞知匠人搭案

住此山園的寺住里從若石庵寺僧太平西去轉寺本情析出此寺宜玉環應設海防同知以治

家山之林馬受學竹林大進一系麻正多山妙念四十二是成寺刊引受字念功

傳傳人希延四十二進寺主在是山傍為月劫來宗振威慈度不為刻是年

羽安是表今此不用音依戒方委刊本

浦江王字清道拔貢生王氏字天一就東坑又就西岫山人歷知州府而城邊城重石河

晚輝林下空寺吟咏有此遊錄親光往至製錄得四錄匡城海自候師

雲文刻寺碑在石村本

卷八

西湖美術館印製



懷

錢氏王文瑞

和求名年照同榜於第俱入編義王氏字呈 謹誠齋

海宮二坡成進士

開卷是

字接後付 別坐步即文 人子武 謹誠齋 亦由是 字接後付

錢氏

成進士

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

傳吳璋成進士

得於進士

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

傳吳璋成進士得於進士字接後付

多行最傑

吳氏字接後付

蘭侯戴夢章成進士

原名生

字維直

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

越錫禮供

歷主典武進縣令徐維倫字天一

歷主典武進縣令徐維倫字天一

字天一

字天一

字天一

字天一

字天一

字天一

字天一

字天一

字天一

人德橋亦信抄如字剖帆若者 概後訪本

海寧陸峻成進士

亦似此

陸

陸

陸

陸

陸

陸

陸

陸

陸

陸

陸

陸

對李凱成進士

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

字接後付

文應

歷主典武進縣令徐維倫字天一

一七〇上  
一七〇下

壽昌書院藏成道士方氏書 官長行本

劉文成公集二十卷補修序旦刊本出版

補修

李德之集二卷全書三卷皆上國刊本出版(同書光緒廿三年宮廷刊本)

蘇軾文粹揚州笈修補人馮以模等系蘇子忠新刻本廿六卷成書刊行是至今

存刊本及乾隆三年補刊本

140x  
140y

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製  
杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

公元一七三二年

續心九年五月二日

沈銓以日本國遠使轉送長崎指畫自是留東三年以人至常而得

○世智才紳於河細、金以送、葉金少提、括蘇遠、左連玉帶橋、村、上河通、設、各、三、丈

餘長六十三丈、樹、即、地、在、湖、南、北、一、中、石、帶、橋、畔、長、柳、夾、映、上、構、紅、亭

晴、見、佛、慈、仙、姑、是、湖上勝、又、係、玉帶、精、如、各、四、時、湖、又

建、寺、孤山、聖、同、寺、西、曰、爽、亭、於、是、海霞、西、爽、亦、成、一、景、此、外、常

湖、於、塘、名、勝、有、田、湖、山、春、社、主、寺、之、廟、西、而、湖、山、神、廟、曰、功、德、堂、坊、在、後、之、曰、梅

林、歸、石、在、放、乃、亭、曰、皇、曰、秋、亭、在、西、曰、保、寧、亭、道、也、村、舍、在、北、曰、可、仙、之、廟、坊、曰

寶、石、公、亭、在、寶、亭、曰、長、河、野、野、村、在、廣、金、曰、外、亭、之、內、曰、長、河、野、野、村、在、下、家、山、曰、山、之、支、石、

光慶、曰、字、採、柏、在、西、湖、山、陰、因、稱、曰、西、湖、不、錄

此、山、曰、為、禦、龍、亭、後、讀、一、遂、以、程、朱、為、宗、家、重、或、付、日、不、厚、大、而、年、不、釋、卷、者

翠、廊、閣、初、義、學、刊、元、主、後、粹、德、山、先、生、全、文、安、子、文、子、子、五、卷、步、版

杭州大東美術館印售

公元一七三二年

雍正十年壬子

公... 雍正十年壬子... 欽此

... 欽此

... 欽此

... 欽此

... 欽此

... 欽此

... 欽此

代筆者

上環... 欽此

廣博陽人亦與五十年五千人由相之屋七於撮任是志為玉環及以創作今存刊本性  
係樞未令神似不足備土訓之遺史

海亭送士研水就春月入都北朝乃戲之廟建三司以改住直隸者克以版著書

係林草卷駢休文十卷通兵六傳在末一卷

會稽子志卷之七  
抄傳子抄時之孫迎海力者有官四卷

海人子志卷之八  
抄傳子抄時之孫迎海力者有官四卷

海人子志卷之九  
抄傳子抄時之孫迎海力者有官四卷

海人子志卷之十  
抄傳子抄時之孫迎海力者有官四卷

錢汝達鎮署札仰趙氏字雙林致淨名官荆溪知縣改未涉越請崇與吳毅芳朱出原設

時或以此林修香疑：不徒云為氏字九乾若書者怪展不能

金鐘朱溪中軍人某氏字琢玉亦為河通判全氏字明遠石帆若者不駭於世

翠屏閣初為書刊元竹值自雲之生多可卷

王宗正全錄續錄卷之三十一卷全律傳刊本出

公元一七三三年 雍正十一年 癸丑

廣州之有曹榆樹  
唐文獻 曹榆  
廣州府志二十卷  
故多付刊榆樹字之明

雍正十一年

廣州府志二十卷  
雍正十一年  
故多付刊榆樹字之明



卷之三

1246

卷之三

...

...

...

獲軒筆記及詩文集

湖州沈因成進士...





... 卷之三十一 ... 蘇州府志

... 蘇州府志 ... 蘇州府志



新城章禮成進士章氏宜柱天鏡亭田曹曹田教坊修修居居版仕靴而

冊名信實半竹竹三卷官人用姚氏人付付牛牛

... 卷之三十一 ... 蘇州府志

... 卷之三十一 ... 蘇州府志

... 卷之三十一 ... 蘇州府志

... 卷之三十一 ... 蘇州府志

... 卷之三十一 ... 蘇州府志

... 卷之三十一 ... 蘇州府志

100141

古佚記

廣時陽人希世五十年中人由相屋七始撰任是志為王理設法以創作今存刊本據  
係撰未分種似不足備士訓之選也

海寧道士研水就奉召入新州朝名錄三廟道三司以改任直隸者克明版著者  
係楚華堂新修及十卷連共六傳存末一卷

寧波知府曹秉任修鄞人志行集前已言波府志三十二卷咸亨刊行是志視前  
著者卷帙增多共各州本信世亦欠范氏天一閣五藏殘存卷七卷八及卷廿九廿三凡  
七卷而已別有選志二十六年沈介仙書重刊本則今所通行也

烏程朱澤功沈齊紳以同榜進士並上始選朱氏手載章說身番小數故以與刻  
之事此在言嗣據小數故授核討

行之二七二

嘉子程修成進士入詞苑程女子驥超院介亭又從弟修成授國  
修成在太常寺少卿

建德軍入翰林宮中其林院卷山南

長安校尉

又魏心齋  
修成在太常寺少卿

修成在太常寺少卿

修成在太常寺少卿

修成在太常寺少卿

修成在太常寺少卿

修成在太常寺少卿

殺軒軍記及詩文集

湖州沈園成進士此女士翁涌波泊村自要其華山人為其將得其人言已湖州為詩近皮法原者雙得草牛集

海寧李偉同成進士李氏字雨蒼號霞軒授戶部主事外任孝義名

山後金昌世成進士金氏字敬臣號守谷有清風名號若方八瓊樓詩集

浙江長興縣成進士陸氏字汝和號若方八瓊樓詩集

會稽陶愈清成進士陶氏字夢黎官廣東為化州知州著有櫻林詩集

嘉善陸如英成進士陸氏字汝和號若方八瓊樓詩集



公元一七三四年

續正十二年甲寅

素善於射及鳴岐所儲先後修射人儀元佑沈過芝支相林霖

孔授校佳素子府正素子孫志十二卷成書到行名鳴岐字桐園直隸常州人

四五九年等入一府正十年由素與洞和素去儲字天相四川閬中人素四五年等入初正

一年由男化調署先佑字星澄號山庵素四二三年等入指射未解官仍射儲全書射

授什兩字望也字子宣邑黃寧村述亭法身台詩飲射子息山鏡嶽來書中書受泰中一序

修通志者有獻東吟松霖字煥七年鏡梅川素四五年等入素乃五行年之區孔授

祖培佳字平衡號能成元佑犯犯即似生妻為清淑又外孙女佳在明倫日字子信者

此序竹柯方魏情形替視又与丁進松同函敦授儲後十五卷所集詩自布正明

他集西馬見世今存刊本近取手閱匪清聲言正結文書乃元人二年

卷一版通志卷一十一卷八十五卷一版通志卷一十一卷八十五卷一版通志

卷一版通志卷一十一卷八十五卷一版通志



錢氏徐達者撰曰聖德崇德竹清波小志成者二卷上清一卷續波為杭州城內十三卷一

於宗廟宇時是係以述此之傳金白布之有於夜亦已而年方已作久一志與世並採保

之世傳原本名志宗廟之傳其後者亦其志時始代其言已其本志世竹武林志

於其後本志世竹武林志其後者亦其志時始代其言已其本志世竹武林志

成亦又係宗傳其英曰撰法後之三卷一卷今之方武林志及云區在續其言世竹武林

子言續其言世竹武林志其後者亦其志時始代其言已其本志世竹武林志

亦而志其相和地年其後者亦其志時始代其言已其本志世竹武林志

者其後者亦其志時始代其言已其本志世竹武林志

其後者亦其志時始代其言已其本志世竹武林志

先史竹傳其後者亦其志時始代其言已其本志世竹武林志

其後者亦其志時始代其言已其本志世竹武林志

其後者亦其志時始代其言已其本志世竹武林志

公元一七三五年

雍正十三年己卯

重建杭州六和塔石八角十三層磚塔

張庚兩編查微係三卷後倫二卷脫稿付刊

崇寧知縣李應撰善行府正崇寧縣志十卷咸去刊約應撰立碑若護祈  
山福是崇寧人亦正九年未刊也知是年已陳此志此年用李應撰刊本





錢坫徐達等撰同里博學僅行清波小志成書二卷二浦一卷備述為杭州城內十三卷之一此述

於宋高宗時是徐述此志後金台南之志亦於後而南高宗已作久志亦於後採錄

之世傳版本有古本之志後金台南之志亦於後而南高宗已作久志亦於後採錄

於宋高宗時是徐述此志後金台南之志亦於後而南高宗已作久志亦於後採錄

成書又陳景修撰英同撰清波三志一卷今之志述林字改其區本在清波

子富強者真老德志者為殿志者為殿志者為殿志者為殿志者為殿志者為殿

在清波山山名和地存界及三朝在清波山山名和地存界及三朝在清波山山名和地

志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其

志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其

志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其

海亭周深十年人用之志鐵橋說志述其志述其志述其志述其志述其志述其

志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其志述其

揚子江入全社建國紀念世系會堂年刊之化  
金堂會社年刊

傅王霞回京紀念之六卷刊行

陸軍部陸軍部年刊八卷出版  
國刊年出版

海軍部海軍部年刊二卷刊行  
海軍部年刊  
海軍部年刊

Vertical columns of handwritten Chinese text in a cursive script, contained within a red-lined border. The text is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side of the page. Some characters are circled in red ink.

公元一七三三至五十年

正午間

~~...~~

~~...~~

~~...~~

其血不若其原以二卷名其村其氏字在尔生平始信如托跡其堂亦共城名

勝周湖一卷...

表與曹世幼以字人物授去中氏字補南

~~...~~

~~...~~

~~...~~

...

錢

...

...

張

...

...

...

...

...

...

...

八十一卷 縣志 廣文 教諭 孫氏 子 媛 張 清 川 著 卷 之 一 卷 之 二 卷 之 三 卷 之 四 卷 之 五  
卷 之 六 卷 之 七 卷 之 八 卷 之 九 卷 之 十 卷 之 十一 卷 之 十二 卷 之 十三 卷 之 十四 卷 之 十五 卷 之 十六 卷 之 十七 卷 之 十八 卷 之 十九 卷 之 二十 卷 之 二十一 卷 之 二十二 卷 之 二十三 卷 之 二十四 卷 之 二十五 卷 之 二十六 卷 之 二十七 卷 之 二十八 卷 之 二十九 卷 之 三十 卷 之 三十一 卷 之 三十二 卷 之 三十三 卷 之 三十四 卷 之 三十五 卷 之 三十六 卷 之 三十七 卷 之 三十八 卷 之 三十九 卷 之 四十 卷 之 四十一 卷 之 四十二 卷 之 四十三 卷 之 四十四 卷 之 四十五 卷 之 四十六 卷 之 四十七 卷 之 四十八 卷 之 四十九 卷 之 五十 卷 之 五十一 卷 之 五十二 卷 之 五十三 卷 之 五十四 卷 之 五十五 卷 之 五十六 卷 之 五十七 卷 之 五十八 卷 之 五十九 卷 之 六十 卷 之 六十一 卷 之 六十二 卷 之 六十三 卷 之 六十四 卷 之 六十五 卷 之 六十六 卷 之 六十七 卷 之 六十八 卷 之 六十九 卷 之 七十 卷 之 七十一 卷 之 七十二 卷 之 七十三 卷 之 七十四 卷 之 七十五 卷 之 七十六 卷 之 七十七 卷 之 七十八 卷 之 七十九 卷 之 八十 卷 之 八十一 卷 之 八十二 卷 之 八十三 卷 之 八十四 卷 之 八十五 卷 之 八十六 卷 之 八十七 卷 之 八十八 卷 之 八十九 卷 之 九十 卷 之 九十一 卷 之 九十二 卷 之 九十三 卷 之 九十四 卷 之 九十五 卷 之 九十六 卷 之 九十七 卷 之 九十八 卷 之 九十九 卷 之 一百

卷之十一 卷之十二 卷之十三 卷之十四 卷之十五 卷之十六 卷之十七 卷之十八 卷之十九 卷之二十 卷之二十一 卷之二十二 卷之二十三 卷之二十四 卷之二十五 卷之二十六 卷之二十七 卷之二十八 卷之二十九 卷之三十 卷之三十一 卷之三十二 卷之三十三 卷之三十四 卷之三十五 卷之三十六 卷之三十七 卷之三十八 卷之三十九 卷之四十 卷之四十一 卷之四十二 卷之四十三 卷之四十四 卷之四十五 卷之四十六 卷之四十七 卷之四十八 卷之四十九 卷之五十 卷之五十一 卷之五十二 卷之五十三 卷之五十四 卷之五十五 卷之五十六 卷之五十七 卷之五十八 卷之五十九 卷之六十 卷之六十一 卷之六十二 卷之六十三 卷之六十四 卷之六十五 卷之六十六 卷之六十七 卷之六十八 卷之六十九 卷之七十 卷之七十一 卷之七十二 卷之七十三 卷之七十四 卷之七十五 卷之七十六 卷之七十七 卷之七十八 卷之七十九 卷之八十 卷之八十一 卷之八十二 卷之八十三 卷之八十四 卷之八十五 卷之八十六 卷之八十七 卷之八十八 卷之八十九 卷之九十 卷之九十一 卷之九十二 卷之九十三 卷之九十四 卷之九十五 卷之九十六 卷之九十七 卷之九十八 卷之九十九 卷之一百

少陰吳倫文控橫庭詩稿十卷 吳氏之橫庭兩子學生未入口存存自

鍾姚謝廷純程毛詩行經五卷 謝氏子天恩考入口存存自

錢振坤奏稿文苑題詞一卷 檀子題詞一卷 柳氏子炳壽考入口存存自

著錄

天台齊用華堂保善坊文樞林書齋氏之巨山書院合是子進程子學

子老而欲之說猶孤波似憐憫是之為學身士也平如遊笑之海巖松天志

夏九一七

五世通草及文心辨別本而收池以工元藏地畫稿是其一冊中乃有百篇

二集其七乃力風吹宗本山子少若必於孫竟承其乃開幸等語乃行稿是短

解題卷洋書

太平陳忠履撰述我考臨氏字仲穆號心齋平徑州代人物考勝代二校一其卷末字元

勝代北平世名存遺錄十卷又方印山字水法文未

修治國世容以工書編同氏字書對二守守產堂字千字又昔卷他佳並列以松枝藤字作主

神術等按中西志の十八卷刊行

宋名紅線多業系二十卷第一卷致勝重刊本出版

入藏七年

公元一七二二至一七二五年

雍正乾隆年間

錢竹唐詩以清白描林孝一各畫字逸骨疏多山石舟晚清生荆心老  
人牙心老人天馬山人天馬老人蓮三筆談不朽人只畫兼善山水人物花  
卉翎毛以四字字靜一信家作

錢竹施文樂以詩人好遊佳山水施氏字芥懷疏考聲亦居江南亦生平遊  
歷岳恆天目行山重慶石湖莫楚傑做以勝夜高無所不經後以雲石癡  
為筆引一游於殘年八字中舉出險且躡其巖凡遊三十六天而返此年  
八十餘卒於家亦善書

錢竹唐詩以清白描林孝一各畫字逸骨疏多山石舟晚清生荆心老  
人牙心老人天馬山人天馬老人蓮三筆談不朽人只畫兼善山水人物花  
卉翎毛以四字字靜一信家作  
錢竹施文樂以詩人好遊佳山水施氏字芥懷疏考聲亦居江南亦生平遊  
歷岳恆天目行山重慶石湖莫楚傑做以勝夜高無所不經後以雲石癡  
為筆引一游於殘年八字中舉出險且躡其巖凡遊三十六天而返此年  
八十餘卒於家亦善書



郭文恭公集卷之六 詩話補注 成書十卷 附錄卷五 卷年譜 一 卷 附錄一卷

編入海國通志及文獻通考等書 亦不詳其源流 阮印石

史文子 附錄一卷 附錄一卷 是書今存 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷

著者方雲 附錄十卷 及 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷

慶嘉之會 附錄林深 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷

李在日 附錄

桐仰 附錄 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷

有 附錄 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷

鳥 附錄 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷

附錄 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷

附錄 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷

附錄 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷

附錄 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷 附錄一卷

公元一七三二年

乾隆元年丙辰

庚子年七月二十七日

嘉興富寧高鳳翰以孝老稱其能為長子而國聘州之口為三牌右臂之衣者老還

以孝子出似進孝代國勳嗜硯秋千餘皆子日厥係若者硯史

庚子年

庚子年七月二十七日

庚子年七月二十七日

庚子年七月二十七日

庚子年七月二十七日

庚子年七月二十七日

庚子年七月二十七日

庚子年七月二十七日

庚子年七月二十七日

香二人名

西... 北... 甲... 人

鄭全經... 王... 後... 大...

每... 二十... 而... 人... 禮...

禮... 大... 與... 人... 禮... 外...

未... 年... 朱... 與... 自... 節...

成... 七

修... 鳴... 於... 下... 行... 試...

名山... 旋... 於... 後... 上... 建... 友... 長...

... 下... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦... 亦...

... 亦... 亦... 亦... 亦...

此書... 丁巳

此書... 卷之二

此書... 卷之二

此書... 卷之二

此書... 卷之二

此書... 卷之二

此書... 卷之二

此書... 卷之二

此書... 卷之二

此書... 卷之二

此書... 卷之二

一八二二年... 丁巳

新全經世圖(一) 王務本虎(一) 王務本虎(一) 王務本虎(一)

場安史圖成進士選庶常史人字象升說三飲又說三山味初儲政初建

上校點七卦

全穆羅世若成進士選庶常史人字象升(一) 說見(一) 說見(一)

郭壯蔚拭(一) 成進士與竹選蔚人字象眉說夢產以初儲政

山陰浩補傷周為國宿今穆文穆瑞王章和曰於進士選庶常此人字未

考說海內日數位授函行周人字未為該孫山又說念山改初改以江南白宋

點之社(一) 存以討飲史人字統今說雲齊位數位以(一) 事官(一) 而道(一)

察御史(一) 費字公泰說(一) 山以數位(一) 以(一) 事(一) 唐名(一) 湖南(一) 鄉(一) 亦(一) 道(一) 臨(一) 山(一) 某(一) 於(一) 州(一) 府

曰(一)

原(一) 子(一) 出(一) 通(一) 志(一) 二(一) 百(一) 八(一) 十(一) 卷(一) 成(一) 古(一) 刊(一) 行(一)

黃(一) 雲(一) 岫(一) 靜(一) 表(一) 穆(一) 詩(一) 善(一) 所(一) 行(一)

公元一七三七年 乾隆二年丁巳

此本係由... 卷之十... 卷之十一...

此本係由... 卷之十二...

此本係由...

此本係由... 卷之十三... 卷之十四...

此本係由... 卷之十五...

此本係由... 卷之十六... 卷之十七...

此本係由... 卷之十八... 卷之十九...

此本係由... 卷之二十...

此本係由... 卷之二十一...

一八二二年... 一八八八年

新全組十四、  
王孫丹虎、  
王孫丹虎、

王孫丹虎、

揚安文園成進士、  
送座常史、  
字象、  
三飲、  
又送、  
三山、  
味、  
初、  
成、  
福建

上、  
板、  
駁、  
不、  
解

金、  
穆、  
羅、  
世、  
芳、  
成、  
進、  
士、  
送、  
座、  
常、  
史、  
字、  
象、  
三、  
飲、  
又、  
送、  
三、  
山、  
味、  
初、  
成、  
福建

桐、  
御、  
朱、  
荃、  
補、  
似、  
以、  
信、  
名、  
列、  
二、  
等、  
由、  
附、  
生、  
送、  
編、  
本、  
院、  
座、  
吉、  
士、  
朱、  
凡、  
六、  
子、  
年、  
後、  
為、  
又

送、  
山、  
左、  
四、  
後、  
被、  
信、  
授、  
信、  
信、  
之、  
信、  
子、  
以、  
抄、  
去、  
者、  
有、  
南、  
討、  
仍

烏、  
程、  
沈、  
字、  
聖、  
成、  
進、  
士、  
沈、  
以、  
手、  
據、  
喉、  
送、  
南、  
國、  
送、  
編、  
本、  
院、  
座、  
吉、  
士

公、  
和、  
馮、  
重、  
仁、  
成、  
進、  
士、  
入、  
信、  
信、  
以、  
字、  
神、  
元、  
送、  
神、  
山、  
未、  
歷、  
城、  
籍、  
信、  
由、  
左、  
幸、  
授、  
編、  
修、  
信、  
信

兵、  
部、  
字、  
印、  
信、  
中

宋、  
前、  
據、  
孔、  
子、  
系、  
信、  
二、  
卷、  
孔、  
冬、  
榮、  
刊、  
本、  
出、  
版

宋、  
地、  
指、  
考、  
後、  
年、  
故、  
二、  
十、  
六、  
卷、  
信、  
修、  
信、  
刊、  
本、  
出、  
版

製、  
東、  
編、  
信、  
里、  
和、  
利、  
元、  
金、  
後、  
信、  
為、  
考、  
表、  
信、  
之、  
卷、  
仙、  
方、  
信、  
八、  
年、  
區、  
信、  
刊

宋

公元一七三八年

乾隆三年戊午

公元一七三九年

乾隆四年己未

乾隆三年閏本葉宗... 卷之二十一

雙不... 卷之二十二

刻之... 卷之二十三

胡... 卷之二十四

皇... 卷之二十五

... 卷之二十六

... 卷之二十七

...

一八一二年... 一八八八年



新全經中... 王松舟虎... 大考... 大典... 卷一

仁本周... 再中... 授... 半... 凡... 字... 俄... 士... 號... 而... 鐘... 先... 必... 所... 亡... 十... 二... 年... 刻... 吳... 能... 約... 誌... 錄

目... 錄... 撰... 自... 著... 錄... 義... 園... 子... 凡... 自... 二十... 卷... 馬... 日... 璣... 板... 刊... 本... 出... 版

會... 稽... 書... 世... 著... 錄... 義... 園... 子... 凡... 自... 二十... 卷... 馬... 日... 璣... 板... 刊... 本... 出... 版

桐... 御... 朱... 登... 請... 秋... 以... 信... 名... 列... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百

送... 山... 左... 田... 後... 致... 信... 授... 信... 信... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百

烏... 程... 沈... 字... 望... 成... 進... 工... 沈... 以... 手... 授... 唯... 延... 南... 周... 道... 歸... 世... 授... 生... 其... 士

公... 和... 馮... 字... 允... 成... 進... 工... 沈... 以... 手... 授... 唯... 延... 南... 周... 道... 歸... 世... 授... 生... 其... 士

長... 和... 字... 允... 成... 進... 工... 沈... 以... 手... 授... 唯... 延... 南... 周... 道... 歸... 世... 授... 生... 其... 士

宋... 宗... 祥... 孫... 孔... 子... 孫... 維... 二... 是... 孔... 冬... 榮... 刊... 本... 出... 版

宋... 宗... 祥... 孫... 孔... 子... 孫... 維... 二... 是... 孔... 冬... 榮... 刊... 本... 出... 版

不... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百

公元一七三九年

乾隆四年乙未

鄭世之老閩本芝宗之我明係子素六十二卷刊

雙耳口雙魚尾草蘭 刻刻如折第廿之打原四章末之五折如折

刻已之丁作卷之六折本得即之五之後成之馬

胡永德重修北洋州府志四十六卷成書刊行是去今在刊本

刻本

芝宗之我明係子素六十二卷芝宗之老閩本刻本芝宗之我明係子素六十二卷芝宗之老閩本刻本芝宗之我明係子素六十二卷芝宗之老閩本刻本

一八二二年  
一八二二年  
一八二二年



樂樓 同叶方金忠信字士選 從祝云<sup>和入</sup> 嶺嶗古 錢種の十條<sup>ノ</sup>一 披取  
程七 錢考四卷今 正用品 係二<sup>ノ</sup>三<sup>ノ</sup>代<sup>ノ</sup>外 國<sup>ノ</sup>之類 又石所 取人 佐部  
何<sup>ノ</sup>年<sup>ノ</sup>迄 字<sup>ノ</sup>本

為徑 凌樹 併成 直中 渡女 官保 琴 歷<sup>ノ</sup>矣  
取 著 甄 上 卷 二 十 日 志 入 正 序 存 日

得 每 倉 兩 成 直 士 卷 凡 字 未 係 號 月 村 送 在 字 粗 修 在 岸 沈<sup>比</sup> 取 知 係 知 七 知

桐 所 紐 也 駿 成 直 士 入 的 林 柳 凡 字 驚 仁 號 而 齋 小 由 庄 幸 授 係 竹 苦 考 而 持

也 係

長 初 一 日 同 林 上 士 登 入 正 記 係 上 卷 一 節 抑 係 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

左 序 〇

〇 〇 〇

〇 〇

〇 〇

一八二一年  
一八八二年  
一八八八年

三十七年三月未便刻三十... 又卷前为方中山并函山刊本亦不全

要氏刊本

姚垲? 录家... 李福山... 卷... 抄本... 刊本... 出版

张友... 刊本

... 刊本

... 刊本

... 刊本

... 刊本

... 刊本

... 刊本

公元一七四〇年

乾隆五年庚申

孫宗博孫宗濬刊行大連祖明孫德廷著書畫跋跋正續編凡  
三卷是書以王也吳楚明書畫跋跋又跋、跋名

闕凡知州孫修方履等奉任為正副知縣志十卷成書刊行今此年因是故疑其

孫修方

兵士學刊第壹册全院輯錄二十八卷（日有光州八年出版者為初本）

明孫德廷著書畫跋跋三卷後二卷刊刻（此乃昆山人著書合石印本）

陸臺教陸書又卷二十卷小瀛山同刊本分版

杭州字氏刻四異部部符金燕淋師二十卷  
國之君子煩傳部部并名處子實天刊行地若周聲柯

公元一七〇二年

乾隆七年壬戌

煥林公物昔以表修全由實存志訂定其序味極之十小卷成多刊列以英字

良山慶平坊中人西五十年年人乾隆九年山陽復州味之十卷極少信十三年任是之

今存存本



煥林公物昔以... 今存存本

煥林公物昔以... 今存存本

煥林公物昔以... 今存存本

開化知物孫修方殿等蒙任高正開化縣志十卷成多刊列今此平固之依藏有

存刊本

海亭候風初成進士任史字中何院柱同進在亭教館時亦互謀任印和心為

海望榮倫遠成進士入初做華氏至玉階號翁境山由卷葉按後存序傳讀



臨清徐璋成進士與徐道倫父子昂武疏華借止

何杭乾志周在何村槍被以提者以乾乾字景跡疏靜森由校後建廳之陝西傳化以而淺

梓岳村同封名米仁饒同小幸亦官時呼又提曰乾公提

如城錄系類版の印之五子卷刊行



Handwritten characters, possibly a signature or a note, located below the seal.

Faint vertical text on the left side of the page, possibly bleed-through from the reverse side or a secondary column of text.

Handwritten text at the bottom left corner, possibly a date or a reference.

公元一七四四年

乾隆九年甲子

公元一七四三年

乾隆八年癸亥

自... 乾隆九年

以... 乾隆九年

同... 乾隆九年

... 乾隆九年

... 乾隆九年

... 乾隆九年

... 乾隆九年

... 乾隆九年

... 乾隆九年

... 乾隆九年

乾隆九年... 乾隆九年... 乾隆九年...

... 乾隆九年

... 乾隆九年

RR

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

公元一七四五年

乾隆十七年己丑

平湖知縣高國棟教誨後瑞隆刊道沈世澄曰竹札信平國朝制本十卷成者稱曰先  
是因重竹信止時口通古稱之紙白紙書為陸續邑事具稿中詳不為竹札信之  
收方以茶湯再誦新席物人陸天錫陸祖錫劉錫勇勇宗孝廉不任一皆謀醉金  
世向脈坐是桂屏手首錄去志事十報是之知古新善事文是與沈光一人一子

沈沈稿乃延執人厚垣張璜葉登張金仔鮑林宗王錫順張應璉葉宗廉八人

為十善也加以登於別有册改重修當時同授于論此稿沈何是子環山而平靈人應正二十四

任以茶山云云自多爾人三應正七十年至九十年任札信之十位任同授于真區奉天旅人札信也五年

五十年任職信是火若人札信十十年至二十二年任世清葉二歲之札信分年二十四任天錫守果

查後者葉札信三十年等人工討号号方方是向新宋楊字念卯應正七年松葉之竹青小橋南果站

正所愛識多扛鯨葉錫勇名字双不設疏史中待應正之宋葉原才他文款字竹札信在熟字册

新刊鈔信多對文如如州用起堂許吉天梳大山志作青浦九山傳稿志未成而五十六年任職

十三年著人洪璜正十三年著人李言子均居之居也子正十三年按夏官附教諭金  
 修字執威這俄册子子均居大陸李言子均居之居也子正十三年按夏官附教諭金  
 駿何通志及示明志李言子均居之居也子正十三年按夏官附教諭金  
 及子均居構法子言德誠寺諸志

楊東野之... 楊東野之... 楊東野之...

若乃明史修纂一役本一事何官明史個月修纂何官...

著詩行年話の光元礼之... 著詩行年話の光元礼之...

聖教之... 聖教之... 聖教之...

官年... 官年... 官年...

之何... 之何... 之何...

楊東野... 楊東野... 楊東野...

楊東野... 楊東野... 楊東野...

之修之儀之正の  
 紀史也

仁和陳啟暉陽夢研群芝田精中第供侍仙選陳氏特姓啟名漸字又啟鏡  
田又鏡梅波水宿飯授風何應方戶科作中傷欠子健方鏡前仙又鏡水南出官  
飯為何村着欠子交山鏡公同是方核能生計是

嘉子系控成進士入梅林章氏子慶仲鏡此亭山由老考士授風存

金華率租費刊宗金履輝通領綱目前外化十八卷字去三卷

英子仙勳字齊坊亦三卷刊行

後修政後粘卷中遠稿三卷附諸卷與石園分在是卷四  
或玉書加刊卷書版

宗王拍金亭子仙金華奎之圖刊本之版



公元一七四六年

乾隆十一年丙寅

杭州府知府邵符亭敏以閏三月三日修德不刊西湖令者修竹五十八舊集文

廉用系金志系金忠厚為第丁致柳溪修眉涉北崙眉山陳北眉柳村若伊涉道田洪英玉

曾施庭振北亭周宏柳村丁健柳村瑞增柳村施子廉柳村吳玉坤柳村秀英柳村教仁柳村和許柳村大倫柳村如法

典胡跪柳村汪臺柳村吳學柳村顧正謙柳村杖世駿柳村王曾祥柳村顧之禎柳村張燦柳村皇甫銀絲

庭蘭柳村杖世瑞柳村趙一清柳村吳中禎柳村席安毛鹿柳村奎如林柳村慈恩柳村張用羽柳村遠令柳村德為

芳耀柳村平湖柳村陸煥柳村張雲柳村佈柳村葉柳村陸騰柳村恽寧柳村施謙柳村許承知柳村郭全柳村祀地柳村步

水錢載柳村德清柳村徐柳村余柳村徐柳村以春柳村徐柳村以坤柳村袖子明柳村中家玉柳村吳北州柳村序牛柳村布凌

劉轉柳村數日柳村環眺柳村望城柳村施念柳村曾滿柳村州舒柳村瞻柳村景少柳村用柳村之柳村狀柳村南林柳村料柳村交柳村故柳村主

刊之於石外中為一用用皇為一紀

劉轉數日環眺望城施念曾滿州舒瞻景少用之狀南林料交故主

劉錡



Handwritten text on the right edge of the page, partially obscured by a piece of paper.

Handwritten text on the right side, partially obscured by a piece of paper.

Handwritten text on the right side, partially obscured by a piece of paper.

Handwritten text in the second column from the right.

Handwritten text in the third column from the right.

Handwritten text in the fourth column from the right.

Handwritten text in the fifth column from the right.

Handwritten text in the sixth column from the right.

陽石宮原清手集二十卷

陽石宮原清手集二十卷

陽石宮原清手集二十卷

陽石宮原清手集二十卷

陽石宮原清手集二十卷

陽石宮原清手集二十卷

一七〇七

陽石宮原清手集二十卷

陽石宮原清手集二十卷

陽石宮原清手集二十卷

陽石宮原清手集二十卷

一七〇七

一七〇七

陽石宮原清手集二十卷

公元一七四七年

乾隆十二年丁卯

乾隆十二年丁卯  
 正月  
 二月  
 三月  
 四月  
 五月  
 六月  
 七月  
 八月  
 九月  
 十月  
 十一月  
 十二月

退

沈氏之孫王以雅竹野人陳也傳儀之召陳也儀子孫於淳化其孫陸用  
氏七卷成書刊行以雅亦相疎衣下人即多生於淳化今由仙台領之二十二年  
去任世傳子以雅在書許第三子隨父字履海在書四十年過世任之知府在  
刻御書善順天府戶部注印書歸年七十九年著書有齋吟稿一卷又卷三  
昌全善<sup>正</sup>定縣文侯侯不卷世任立士帝弟五十二子中人藏書多卷丹生  
明通心善奉子孫一過者任書曰稿一卷  
武苑徐元樽萃其山徐氏之明道院院說半堂原亦片閣出齋亦任文

多數失傳存者蓋亦近世傳世人文書也徐文系一冊紙竹千

武系七冊刻守成高植善風竹龍佳北系物志八卷或去刊刻是古今存龍竹の

十四年重刊本前立竹平岡重慶及子んん等書屋

厚部宗竹氏事たる巻刊行

或子松風龍達向の巻刊行

多程及達成明文龍竹の巻刊行

似

三外為志如和上林水也美附

似

宛不林在摩云以心美附

宛不林在摩云以心美附

宛不林在摩云以心美附

宛不林在摩云以心美附

宛不林在摩云以心美附

公元一七〇八年  
孔氏十三年戊辰

父方定略知院画山瑞

子儀桂備成進士桂天章等  
進士為之進院林履古以孔氏

心精實也... 州經產... 五月辛酉... 卷之三

此一表... 州經產... 五月辛酉... 卷之三

有子地... 州經產... 五月辛酉... 卷之三

州經產... 五月辛酉... 卷之三

州經產... 五月辛酉... 卷之三

州經產... 五月辛酉... 卷之三

州經產... 五月辛酉... 卷之三

州經產... 五月辛酉... 卷之三

此書是蘇氏十卷之書其後昇其書各書其書十年後之三山志云新不家其始其乃

據羊法通新正修補其成癖者之快也結多之十卷

保塘印樹本成進士入翰林人後以由是去士權佩印政日有司里發御史果友通討使之結年者幸致生以生

設時有之考後產同而親以樹本回標印本人祖希字全者以院樹石上德是座幸

吳氏之新甘文耐竹王元音其後音化抄卷二十卷成考刊印昌化至明時自

未清華文南也全通也馬道信去從竹名冠人同十竹成書本注也自也又載儀與馬均與馬萬曆二十二年也

用此却修竹十卷之清卷九十二年之新同以抄竹數人味象便一志之五十五卷今

抄字以字供坊是志刻抄字抄物院用字依而刊本支南無何人這也六令人三才厚後林於

書

正寧錄之圖枝成進士入抄錄修火字字昇平院卷密由在書士留竹為修之應名

同字士華名不齊竹信

知和陳柵中一甲二名進士陳大字春齋號東廉以翰林院修撰與陳大同榜同科  
人字  
葉世度陸的華氏字致思號區齋由福書院進士致名執著書法齋文解陸氏字古  
竹號東齋由進士授修撰以布衣官執事執

平願箋會書修叙一州判引陽梅若上官德奕



Vertical columns of faint, mostly illegible handwritten text in a traditional Chinese style, contained within a red border.



公元一七四九年

乾隆十四年己巳

御製之一七七七

初九日  
己巳八月九

林文蔚奏新故舊臣摺  
臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視  
林文蔚奏新故舊臣摺  
臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視

臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視  
臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視

臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視  
臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視

臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視  
臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視

臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視  
臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視

臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視  
臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視

臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視  
臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視

臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視  
臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視

臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視  
臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視

臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視  
臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視

臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視  
臣等伏以臣等所撰  
及呈稟抄本費全視

高宗南渡駐蹕地山水之秀夫以爲多於他處元人盧性舉倫堂輯全越山竹集歷任明

卷之八 謝友為存心本行 謝方石傳是居後輯之是更增補一版有五卷卷一全刻通事二重并附記卷二

宋之明詩卷三明仙卷四清詩卷五賦紀序雜志(今照此單本藏書鈔本一冊) 慶會子撰修後

據田賦五卷少以詩吟晚對官信部章故所考者多有而林志約刻通事(一作作吟州

詩賦今存曰志至謝竹本一冊飛至項公其名草卷)又有刻在讓余同卷一前竹在詩四卷臨

環林以未二卷(修伯子與謝女婚本一冊) 又會輯仁藏女志初修

吳興縣志詳筆甚修其葉葉葉花溪長典抄本十二卷成書刊行是之今存刊本至世用士

謝及子及九等卷

安多州劉劉植修陳北帝王孔修安多州志十一卷成書刊行是之今存刊本在此下

用志修

林上梓葉榜詩多之卷刊行

公元一七五〇年 乾隆十五年庚午

歸去他場莫為北州揚芳西極如行在及董樹林在嶺全祖於北堂庵相  
 與討論漢句他長年釋籍日鏡樣齊老人其兄炳震嘗於小行日以扁炳  
 吳多如學勤幾三十年成亦行住集釋行他日子息男他著述有修本詩論全  
 宋詞話一百卷字位文存詩句樣痕物文樣樣狗老人年紀亦煥字渭澄強納夫亦  
 是與人行輝力上子如書曰華持字明約著中以南結生亦

又考杜詩集解是李詩集系稿本二册  
楊震之七三七  
二考及李印又善修學之善也

馮超善唐詩飲全善刊刊

道



此一書的題名多一卷竹垞初序評一卷附檢討四六評於書中評印一卷  
著尾評之書若干其卷中係在書中書要後玉函中評及後六卷年評  
考評一卷未及年評而收

人似難為其在中撰通字地書量校刊示仰學問之天竺書印是也  
書工時及不列考卷山水區并書有行大卷然仍校世後為作有梁印  
與爾中口所著考山水蓮三  
後中亦和弟女上而序其書  
工考及學印之是致學之善書  
可集二集三

馮題善康詩飲之是刊刊

歌民星之乳新神之長卷

此紙今存口色于理物本一冊紙力更久其色更甚又其製法與今不同是前竹在紙之長卷  
經時以未之卷（此係吳昌碩之繪畫）世之畫師似此者亦不復

畫畫入於紙中其色亦不復如紙中之色也

畫師所製之畫其色亦不復如紙中之色也

畫師所製之畫其色亦不復如紙中之色也

畫師所製之畫其色亦不復如紙中之色也

溫

畫師所製之畫其色亦不復如紙中之色也

畫師所製之畫其色亦不復如紙中之色也

公元一七五一年

乾隆十六年辛未

便州中作竹牀片石園山少軸(今藏之北社湖池館)便相師人便堪施名便牛王太  
 恒一字師度院味差又院碧虛自若常名信慧日華王之特年幼者北山主  
 人幼雖多則年牛欄牙寺以香主北川之胡聖自字天竺寺中是寺祀華  
 寺工竹及系別寺香山水衣并若名研大卷竹抄校世後為住持是月寺刻刻  
 與開中門竹若香山水蓮寺信符一院會相寺字方詩香又有篆玉字德山院  
 後字云仙和昂也子南屏若華山房僧也校世後全口珍朱龍田丁校為情友並  
 工考及篆印又篆校琴若若任陸而為二集三集

仙和若樹穀年五十一歲定一寺持一院相在又後與山行亦世而後而止與

為世坐道行丈祿寺通全石之第第第字南竹之通華亭院因為善道文行  
 高同寺世寺人美刻浙省者楷瘦高而素扶風林石刻地月防私議百袖琴清華

林若樹任州守有竹牀片石園山少軸便相師人便堪施名便牛王太



謝書多抄本於每書版心折道交針蓋卷八我望曰大字為記

開而明樹教之宜直儒不立橫儒言事而而方人烈以仰人私議曰端孝先

生配果瑛字英玉性喜梅自號梅君僕坊人師熈女樹教卒瑛子標列於

今六又二詩有梅蕊字字香吟今川方易亦序亭板輿記卷七十八字六

子慶字夢珠號宜田居號林內外板花湖有差餘集錄薛集樹有殺有女有子

子慶一號宗齋送張情四有紀夜枝石州女弟錄二五、號身元通

丹方有卷集有以見以時元有如

烏程朱山成進士朱氏子德仁號春庭又號規第工山水牡丹真字山水

蕭山小蘇黃徑美仙孔修蕭山勤惠四十卷成多刊行鉅鄧州人下事叶印以

在此石形志刻立以饒製製謬沒多考訂而孔修十二年首王勳王嘉公重梓又未

成因於十的年級為延德考為搜輯行而為命長命人於修十年心

十二年任

嘉興姚雲陽成進士姚大子

嘉興姚雲陽成進士姚大子

嘉日好意

嘉興姚雲陽成進士姚大子

嘉興姚雲陽成進士姚大子

姚大子

嘉興姚雲陽成進士姚大子

嘉興姚雲陽成進士姚大子

嘉興姚雲陽成進士姚大子

嘉興姚雲陽成進士姚大子

姚大子

嘉興姚雲陽成進士姚大子

御史

嘉興姚雲陽成進士姚大子

嘉興姚雲陽成進士姚大子

後漢書卷之六十八卷刊行

公元一七五二年

乾隆十七年壬申

沈清任成進士使友

宋王國以

李新

和沈清任成進士使友

宋王國以

李新

和沈清任成進士使友

宋王國以

李新

和沈清任成進士使友

嘉慶壬子祖惠成進士李氏字以智著今江蘇儀徵人  
烏程仁聲成進士以仁字壽欽號示齋通稱丹徒序士  
烏程仁聲成進士以仁字壽欽號示齋通稱丹徒序士  
太僕寺少卿之父子方潤高山水起遠方政日窮定屏  
還方得辛年七十

清江先生

南漢戴職中順天仰儀戴氏字旭和一官賜谷拔生  
考授新周與政錄多錄十卷刊行

宋王向杜傳是編永泰寺山寺院印本

沈啟傑傳同印卷十二卷竹印版者

一五五三

公元一七五三

乾隆十八年癸酉

新屋修葺... 吉南

免... 亦合...

修... 亦合...

亦... 亦合...

亦... 亦合...

修... 亦合...

亦... 亦合...

亦... 亦合...

亦... 亦合...

祀後祀利

供養

右十二卷... 十計四卷

此處係清梓塔塔銘拓圖年譜刊外（向者迄是二十の年刊也）

清梓塔塔銘拓圖

年譜刊外

公元一七五四年 乾隆十九年甲戌

御製皇朝通志卷之九十五 禮志九十五 禮部通志卷之九十五

禮部通志卷之九十五 禮部通志卷之九十五

禮部通志卷之九十五 禮部通志卷之九十五

禮部通志卷之九十五 禮部通志卷之九十五

禮部通志卷之九十五 禮部通志卷之九十五

禮部通志卷之九十五 禮部通志卷之九十五

禮部通志卷之九十五 禮部通志卷之九十五

禮部通志卷之九十五 禮部通志卷之九十五

禮部通志卷之九十五 禮部通志卷之九十五



乾隆十八年作是之令也

會稽范家相成進士范氏之左南院蘇州歷官刑部郎中出知柳州府著

詩集二十卷三家詩於進士卷(卷之六)程子考係二卷(卷之六)列有蘇蘇仙志(卷之六)古詩今本

定稿十四卷(此以用功始藏手稿本三冊)其他作史傳述合石件卷

書名多如鐘序修陸稿一系乾隆書名多如志十卷成書別外是志今之良九年

蘇塵及以蘇網三用去修之兩書刊本

象山姜炳璋成進士姜氏之石不長說白石考二十行檢中著者時序補義二十四卷考二十行檢中

補義五十卷考二十行檢中入四年考二十行檢中補義五卷考二十行檢中記今知人姜伯時疏考二十行檢中子稿本

西園山主陳誠可檢了依竹本一冊乃就其日記中保世身又補錄之考二十行檢中

樓下日報錄著義元同於進士又梅森氏之考信說曉園著氏子考圖說而

霖山三人的由唐去士授歸於以民亦子而南子士朱氏名之同小學之集

山陰平聖臺成進士平良字臨園說破希以由唐常改之影歷官長與廣州

存白心

沈傑書家集十六卷年譜一卷子他初集為二卷（鹽陽馬刻年譜刊本出版）

趙一清水經注釋中卷年譜趙氏名刻本出版（由書先儲原不刊本）

方鑾如系虛番可方又十二卷伊古本刊本出版（由可老抄十年譜與如君刊本）

朱嘉壽等經二新考三百卷虛元名補刊本出版（由可老抄三十二年附刊本）

宋本

周綱第到校書成先志以人初不刊朱文白文為友以司圖秀閣之之也

以本存古印而存今今不家錄其之也最奇其也相重佳佳臨秋中受也則其

以本存古印而存今今不家錄其之也最奇其也相重佳佳臨秋中受也則其

卯

一、... (faint handwritten text)

二、... (faint handwritten text)

三、... (faint handwritten text)

四、... (faint handwritten text)

五、... (faint handwritten text)

六、... (faint handwritten text)

七、... (faint handwritten text)

公元一七五五年 乾隆二十年乙亥

序 凡讀此書者請認 凡產又厚以 經蘇以善藏得仰中千倍板為可味

成印務秋、屏仇以字通只日流會村北碧登曾外餘錄工善務善 劉品

五季

此書在... 一...

書本日... 一...

此... 一...

此... 一...

此... 一...

此... 一...

六十九

(七五六一八二八六六)  
(九一〇八二〇)

(一七五三一八三三)

東晉通志(方道心文抄十卷見一七九〇)  
忠文系二十九卷附見子儀雷儀補刊於水滸東山書院(向方定修八年亦委身於宋)

芳子手抄今云要例廣文雅而卷刊金石三修刊本版

秀水日應餘容安齋詩集廣見管編本刊行

林從和對松嘯一卷意日精結一卷刊行

任源思介和書全集補遺家刊本出版

公元一七五六年

乾隆二十一年丙子

黃履之到世寧字以濤以道創修臨城十四所設三廟田福夫堂文公祠及廟三

自撰黃履之廟志九卷元一以二得相業世寧字匡宇別字符衡號陰人己丑進士

嘉慶少卿之生職五年世移望令志考今存  
州休養書

蘇州知府黃士進修山陰胡考原系乾隆二及州府志三十五卷咸豐刊

士進字書登號天大興人乾隆十二年庚子命以書原字決二使中軍人亦差而

王綸字祖庵嘉慶進士是也原姓王人十七州  
字符衡

字符衡  
錢途人進士乾隆十八年己丑命以書原字決二使中軍人亦差而

蘇州人太深字鶴侯嘉慶進士自乾隆十九年庚子命以書原字決二使中軍人亦差而



教習范十校主者書袖卷文存四卷皆山園外稿四卷尚存釋文六卷疏錄

藏于上海圖書館

四卷詞中後錄四卷皆新刻稿考二卷袖中筆法四卷後二卷七文

附錄

蕭山郭倫等所行郭氏子兩曲芳有牙化之六卷十七輯二條一編一卷並入四卷存目

卷之五義金石要例王疑鏡刊本出版

一九一〇年  
一九一〇年  
一九一〇年



1111  
1111

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

杭州大東美術館製

印

印

相傳志方技巧  
裁一

公元一七五七年

乾隆二十二年十一月

高宗在位

御製全史探倫曰福十六以留傳冊以欲編入意後借奉一傳略全史以古之撰一傳略又撰字耕山

入直以耕事於果房  
工身其人  
○撰全史前是格何亦了身亦出人物志并采品各不擅共又書於刻白描尤工

入直以耕事於果房  
○撰全史前是格何亦了身亦出人物志并采品各不擅共又書於刻白描尤工

鳥雅又藏保

御製全史探倫曰福十六以留傳冊以欲編入意後借奉一傳略全史以古之撰一傳略又撰字耕山

皇御書其工花卉

嘉慶元年春中會試第一授以進士一甲一名授翰林院庶吉士

張蔭圃

任翰林院庶吉士授翰林院編修  
○撰全史前是格何亦了身亦出人物志并采品各不擅共又書於刻白描尤工

陽字以加收增鄉如後勤傳者為附竹橋進食方芳佩之風也後出齋又說橋亭後也





此本李氏度中二甲一名進士李化字受一號官情賦由翰林院庶吉士  
為翰林院庶吉士子信字自儀從古洵乾隆三十七年進士由庶吉士授國子  
平州儒大任成進士入初修成化字差差教院劉貴由是幸授國子庶吉  
槐溪陸忠信

吳廷華儀札象句十七卷自初本出版

此是芳德拙齋集二十二卷刊本（一七一—一七七）

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '吳廷華', '儀札象句', and '芳德拙齋集']*

公元一七五八年

乾隆二十三年

湖州府志

李堂執胡水傑原集之乾隆湖州府志增輯遂不成書五十二卷每冊刊列是書今

存刊本壹字月庵博陽人從進士在任多書讀能盡詩字尤工

宋清純元字某廬山志或云十三卷純元正德文所存村田塘河有六州因日鏡六洲疑

其居曰半耕堂性賦山水時嘯詠於白石山又羊堂木橋走訪以時多勝而得乃隱食

於廬山者二十餘年是志記或係作白石山志五卷今所志五卷是信奉惟其輯未集四卷

刊於世中名游廬山記二十三篇論者稱其文多奇崛足與李春先廬山十記並傳但取

材少狹工小六而空房刊僅為云

紫信編者有軒考士類編十二卷始於重刊本出版

陸豐傳國三家具律律竹五光刊行

陸船小張撰吳自春臣妻卷四六位十卷亦園刊本出版(三五——一七〇〇)

平以名如青浦徐也邑人陸為美著之乾隆年以輯志二十卷成書刊行今存初本又是

陸元一七九〇

若齊五九〇  
比有足四午







志刊古邑人堂嘉福撰序乃孫志補正一覽今存鈔本

天台福際清普札御施衣字傳此流穆亭居安泰順武帝縣學教務樂序林學刊道才  
博以百尺旁及天文解并堂若紫霞間首二十篇中言高氣痛多而極楚作

年七十七

錢謙序香樹齋詩集卷刊行

二十二

卷刊行

一七五二

一作你修人

五九

附了致

一七九

仁和朱楓秦澤反骨圖紀四卷及杭州金石記十卷此餘十卷計成卷凡  
字通遊隨柳山工付文与丁致量銘相契中歲好法而所出披仿金石  
文字其生平所為詩有柳山小集已刊者迄於乾隆三十九年已八十二矣弟  
字岑素一字青岑心工詩為子學年七十一卒

公元一七二〇年 乾隆二十五年庚辰

丁酉國朝...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



Vertical text on the right margin, possibly a date or page number.

Vertical text on the left margin, possibly a name or title.

Small vertical text on the right side of the main text block.

Small vertical text on the right side of the main text block.

Small vertical text on the left side of the main text block.

Small vertical text on the left side of the main text block.

Small vertical text on the left side of the main text block.

Small vertical text at the bottom left of the page.

觀西子茶僉在壽  
生徒輩皆修好素  
生若竹竹各屬  
後

一作乾法境西

五七年

寺

陳高亭法度並學人傑

神學中書等也

止度餘觀海後境素主選同筆於師觀海堂修寫後擬五柳居者其故

宅與三選瑞名人福而創之才子款海字匪川一字神系張書名之流勿產

一作伯庵神洲靖境幻謠曲二字生尤共商竹兼藝呈拙自拙中皆為六

吳竹字孝友弟古高小何存鵬瓜菜印信神系詩話三選之節東堂

筆是榜打飛來生華年上字之為以之選之妙也師亦於年等射射

以如余口所曾領師若為余水信信筆張相慈慈之為補筆陰子亦由本係尤

為控長若乃能相種種華年集今秋者

小會同...

...

卷之七

卷之六

卷之五

二

新上此書已見  
故詳同區上註

五十二

卷之七

此書係清乾隆年間所刻之書也其書名曰...

此書係清乾隆年間所刻之書也其書名曰...

此書係清乾隆年間所刻之書也其書名曰...

此書係清乾隆年間所刻之書也其書名曰...

此書係清乾隆年間所刻之書也其書名曰...

此書係清乾隆年間所刻之書也其書名曰...

此書係清乾隆年間所刻之書也其書名曰...

此書係清乾隆年間所刻之書也其書名曰...

此書係清乾隆年間所刻之書也其書名曰...

此書係清乾隆年間所刻之書也其書名曰...

此書係清乾隆年間所刻之書也其書名曰...

此書係清乾隆年間所刻之書也其書名曰...



公元一七六一年

乾隆二十六年

杭州府志

卷之三

及前七卷三科并修之何始注之

府志

卷之三

杭州府志卷之三十三

卷之三十三  
在正路卷之六二

照日旗志为芝本之竹为行捕惟二民初集闻与志至杭州采访不务低辨亦解以杭州府志

疏判北匡州湖局神竹刘皮任余存改设是或到考成一人且多行至考一人精为校字改以疏

补设唐卷皆是

原刊本及同治四年补刻本(民国三年重补版片印行)物志并存刊本

原刊本及同治四年补刻本

明董刘法黄培私志三子卷高辉卷刊本出版

新志原书之元  
成书同治五年

Handwritten text in the rightmost column, likely bleed-through from the reverse side of the page.

Handwritten text in the second column from the right, possibly a title or a specific section header.

Handwritten text in the third column from the right.

Handwritten text in the fourth column from the right.

Handwritten text in the fifth column from the right.

Handwritten text in the sixth column from the right.

Handwritten text in the seventh column from the right.

Handwritten text in the eighth column from the right.

Handwritten text in the ninth column from the right.

Handwritten text in the tenth column from the right.

公元一七六二年

乾隆二十七年壬午

馬世俊後亭吟草刊行

嘉禾甫健以著疾卒於嘉禾甫大主金中後林梅自以冠印行可撰述十  
三徑以跋正字一考卷不考子校正題以以十一卷又著書房更同系小字甜珠  
補文選步表仲文行聖經條及二紙等

新亦如蘇過就付說定原了著乾清魏本縣志十二卷成書付刊送就手德小漢

西府管人主中進士庚辰之癸未任定原字曰渠院上池詳其人丁卯人舉世本口日埃爾來

任新子教傳年札亦是在今存



一作以蘇味之人

方字布二扣竹朱方需以取因衣子通款得黃朱化字寺人院春橋工時子意尤二

共經句西伶

沙名

必三時而子有詩晚蘇字字合好香梅梁朱

青春接羊布朱和共居後以



淡如... 朱方... 二高...

溫... 朱方...

公元一七六三年

乾隆二十八年癸未

石門縣後元於進士第於此立碑一石  
刻十條於此也

碑

石門縣志

石門縣志卷之六

石門縣志卷之六

石門縣志

石門縣志

石門縣志

石門縣志

石門縣志

石門縣志

石門縣志卷之六  
石門縣志卷之六  
石門縣志卷之六

石門縣志卷之六  
石門縣志卷之六  
石門縣志卷之六

石門縣志卷之六  
石門縣志卷之六  
石門縣志卷之六



公元一七六四年

乾隆二十九年甲申

石門許勳送... 乾隆二十九年甲申

王... 乾隆二十九年甲申

... 乾隆二十九年甲申

... 乾隆二十九年甲申

... 乾隆二十九年甲申

... 乾隆二十九年甲申

... 乾隆二十九年甲申

... 乾隆二十九年甲申

... 乾隆二十九年甲申

... 乾隆二十九年甲申



公阮一七六五年 乾隆三十五年乙酉

石門修物送故 卷之五 許大主學園 正詩文 吾考修物名莫考 卷之二 卷之二 卷之二

考修物名莫考一卷

遂昌知縣王愷纂修 乾隆送子物之十三卷 以考刊物字平甫曰 以學州人是志今均完

物物之用 考修物名莫考一卷

海亭上物金款之 卷之二 考修物名莫考一卷 考修物名莫考一卷

杜翁山而考物人 乾隆 考修物名莫考一卷 考修物名莫考一卷

卷之二 考修物名莫考一卷 考修物名莫考一卷 考修物名莫考一卷

考修物名莫考一卷 考修物名莫考一卷 考修物名莫考一卷 考修物名莫考一卷

考修物名莫考一卷



郭若道 劉世望 笑拳力仰 其氏才止 柏去水小 氣別氏字 師中 書了 欣早 年

石門竹牘 送掖 五全 許九 主紫 關五 詩文 子考 修考 台莫 考在 文二 卷行 二卷

古竹集 卷一 卷

蓬島山 縣王 權 纂 合 乾 行 送 子 縣 志 十 二 卷 以 考 時 刊 州 志 平 甫 曰 以 州 人 是 志 今 以 官

情物 泛用 主依 前 有 不 刊 本

海亭山 縣 全 款 之 芝 一 卷 也 相健 以 考 何 一 乾 行 送 子 縣 志 十 二 卷 以 考 時 刊 州 志 平 甫 曰 以 州 人 是 志 今 以 官

柱 考 以 而 考 縣 人 乾 行 送 子 縣 志 十 二 卷 以 考 時 刊 州 志 平 甫 曰 以 州 人 是 志 今 以 官

廣 考 以 而 考 縣 人 乾 行 送 子 縣 志 十 二 卷 以 考 時 刊 州 志 平 甫 曰 以 州 人 是 志 今 以 官

是 考 以 而 考 縣 人 乾 行 送 子 縣 志 十 二 卷 以 考 時 刊 州 志 平 甫 曰 以 州 人 是 志 今 以 官

全錄 卷之五 用 考 乾 行 送 子 縣 志 十 二 卷 以 考 時 刊 州 志 平 甫 曰 以 州 人 是 志 今 以 官





公元一七六六年 乾隆三十一年丙戌

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

花世魁 桃美 泉 校 謄 二 卷 刊 行

習 讀 習 臨 輯 助 山 級 完 十 二 卷 刊 行 ( 似 多 在 他 元 年 重 刊 本 )

未 彙 手 贈 方 亭 竹 休 因 修 益 錄 後 十 二 卷 刊 行

公元一七六六年

乾隆三十一年丙戌

卷之三十一

乾隆三十一年

漁豎朱瑛（伯夫）陳梅並成進士朱氏（手）桐川（號）望亭又隨樊桐少（官）正親皇

知縣卒於任生年五又其子恒少字而林勳（即）子了（即）振有貴（工）子即又於的于

山水之震澤法看雲以之南華用子（月）若古陶餘後學明招歌金壽行粹及

文飲海人年組約遠的而方（川）新律之物亦云山水者古衡山（方）詩云（同）時古武進華

胸字曉蒼又子平年號惟仙楚令（白）瑛及子受之清以備奇另（文）子不（以）

嘉禾子（子）自作山水之德瑛弟吳家到官後其付以仁至樹歌付初都（下）年

信三子六著名仁至集

（作）明州人

（三）子一程子

（乾隆）二十五年



若有九山經古樞竹符經（一作古樞竹符）前山經仙魏修經仙符道（待修考）  
神又弄靈所伴蘭竹符入道二年作石大幡化弟子有處於碑石害流香  
山水年云云

錢林林朝制成進士林氏言兩宮院考明不統後考選庫考考成以改之李二歷反  
唐書而記述道

海亭書堂成進士入詞林書文之艱揮院朕山山年仙與一精由奉奉台信為仙行

唐書史料論中

金續為聖道因越不之十卷周穆王大改刊本出版以昭昭史後徐氏

永古物生板交學生自刊刊

寫孝本國裁史注仙人卷刊

真乃本國法也

其法也

公教之真意也

其法也



其法也

其法也

其法也

其法也

其法也

其法也

分元一七六七年

乾隆三十二年丁亥

分元一七六七年

分元一七六七年

分元一七六七年

分元一七六七年

分元一七六七年

分元一七六七年

分元一七六七年

分元一七六七年

分元一七六七年

分元一七六七年

分元一七六七年

分元一七六七年

分元一七六七年

分元一七六七年





凌衡字爾餘號其齋  
任和州之官程其耕也

事

王之誠字便之任和州

魏月之先生姓為宋

即三物詩作年有別

年(或華字)均為和州

薄為北友諒長春花等車涼嶺枇杷任任諒活竹蘇四破云心若危蘇

其庶甚諒棉衣佛子山藥檉任銷系堪嘗仙玉深茶其骨沙瓜柴殼螺

元隗仙撲寇仿惠陵三稜羊鱗口付閩風如香又名張灑字良境即人諒為

花字泥冒煖酥薑然大亥字宜坤即人諒太平素華帶白雲獨物車即人

微言才任即人諒牙至於羊燭器燭揚梅映本義字符坡即人諒絡緯森

滿瓦玉粟白是張灑字山遊亭即人諒山書謝塘埤釣塹益是石琴心樹字是梳

似似人諒仿仲望花地滑澁算商瓜香榭字致有似似人諒展弄如之且瓜肋去

批茅子今亭以主即信即人諒羊皮人善是二榜年辰危曲竹甫為坤方大即人諒早

福是此萬苗千金子地梅主袖也即人諒鞠團夢燒蕭履菜土盤陸朝煥字

有信即人諒半至差少款琴琴乘地相凡十一人

逆也知款舒陽晴字修和入字引序等景花陰逆逆也新志十卷成書刊行是也

今石原刊本及先世八年桂林老儒仿印本民國十七年廣柏林亦印本

今考其書若其凡已五十九卷日何九十七卷新書日何何刊本生版

釋何灯何齊多而明之天名四方外志要十卷刊行

條何元波亦多又三十卷何十の卷後集詩二十卷蘭溪華刊本生版

公元一七六八年 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

西曆一八三三年

西曆一八三三年

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

此書之始也 乾隆三十三年戊子 乾隆三十三年戊子

宋孝宗著孝民紀要十九卷  
釋仁訂傳齊多有明之天名四方外志要十卷刊行

傳記宋末海住信相時人信存十六卷  
後札老刊本生版

臨海縣志并具形勝縣人奉錫得道何元隆  
臨海縣志成稿十二冊梓未及刊

窮美而止後好人善瑞堂自之山水物而後  
之冊已別樹之多條法三之刊家六卷  
再事志下人刻三卷

上虞縣志亦棟層節卷孝民紀要卷之十  
獻以一為平陽刊晉半載印已限著善命  
志定後之所而以好如印焉信友者考探  
而十三任札他三之卷是考札紀三之卷

自鏡湖山人子考神道先生卷十  
中可第子所日山山史傳



年著書甚多其比至十九卷之何九七卷就其何何刊本也

釋任灯傳解多為明之天名四方外志要十卷刊行

卷之九段...

傳記果未論信信相財人竹存十六卷信札也刊本也版

信由小錄計異行聘林人奉錫得享何孔隆信由物志成稿十二冊梓未及本

窮美而中上後好人美瑞管自及山水人物初稿多二冊已影刻及多稿

再事長...

松陽少壯曾之身竹譜哉才美札信松陽為志十二卷成多刊立身字稿開

山西平人自執信之而來志強之志去居才傑授學人日中執信以此進士

百福建明名志強是志全存刊本

平烟陸垣新刊奇号齋書集成又十二种十九卷陸氏之子序又主於湯院施卷

又陸某雲子取冠多心刊以城定志鼎修以世世陸氏之子序又主於湯院施卷

梅子園去樹德本子如修一晉苑印其書古人借南信修故債共事歸之二好卷者

梅子十種中者屏何詩有寶號後人幸讀之卷梅石何言梅子結文至五十卷夢後

二卷二號初初哥只妻刻正嵌妻既影江屏益之秋為言中藏書多時二人一杯跋玉裝為

刻如道士如善者館看的一卷今人翻定春藏似何錄本一冊煙子坊子禮得院對

榜去處成不尋人初原刊皆五出刊訪方草心幸得仙

何瑛撰唐樓志取成書二卷其樓後至今抗縣與德信交界交善者陸之而樓

里是子物及似人其見之是志比多同字用者似者朱文之屋子修本為錢陸丁氏正付

曾善物今取通句下凡錄其字以諸條刊本也

史傳施元字撰白石山志成書五卷今臨海如人正印校藏有寫本

朱佩古金結問條四卷於嘉年刊成

陸文一七九六

一編又收

山者一八三三



飲

飲

飲

飲

Vertical columns of faint, illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

公兄一七七〇年

乾隆三十五年庚寅

黃庭和蘇王慳伯阮培元等書乾隆三十五年庚寅十二月卷成書付刊

甲卷人戊子未志知子是志甲戌通用古依字藏本

一七〇

此書在何抽里  
志一六七〇八

嘉興楊保楷乾隆梅里志成書十二卷楊氏子梅里志五卷梅華子平話一卷

信嚴考十卷楊身年詩注十二卷及木山向竹編梅里志志以孔已志五十年刊行今

此多同方校方藏本謹從序子慎矣信竹行第工考女卷一編謙子謙

實旅去与下下海未起如以可香少年信文社社以左在去梅什之物又与謙

同四月初而刊另曝去志年詩注以卷月十二卷外以法然字志年去以以

又考得修州振最要任經奇學王初造杜詩集說及此田竹陰以明文的

文也之據既利三年升春二月年一自既不面封乘全上二前下而一之其亦方十一

Handwritten text in the top right margin, possibly a title or reference.

Handwritten text in the second column from the right, enclosed in a red border.

Handwritten text in the third column from the right, enclosed in a red border.

Handwritten text in the fourth column from the right, enclosed in a red border.

Handwritten text in the fifth column from the right, enclosed in a red border.

Handwritten text in the sixth column from the right, enclosed in a red border.

Handwritten text in the seventh column from the right, enclosed in a red border.

Handwritten text in the eighth column from the right, enclosed in a red border.

卷之二十一 七十一

白事陳六官於州府陳氏亦山該心田亦在東若佳上社妻李倩荷後移人

論為女化仙夕西胡石師

序  
同恩誠以同標  
村廷說  
蘇由產常及至中外住  
卷亦擇佃已著

有是與善同補の老州兼修氣二冊  
而亦亦標一州有  
濟又軒詩竹一冊  
任女子稿本修有授觀塵朱

文印字  
女波陸山山  
字字送義委由產常授各竹刺任改刑部之事

東陽卷卷仍作自改方以著修有白論二卷  
卷凡子以俊說集園  
卷是是卷序系同

元州行梅改稱辛卯春二月知百始孔武林秀合一  
一麻匠  
字其版旋樹打版題十一

出誠之愛為之  
一八二七

年分存同及同產及係商物本

會稽王許上虞花裏燈一甲二文三在進士王長字方州一作芳州號西窗或稱丹陽

何希祥字如也稱應隆度初進判若字進金也底詩選長長字士桓號茶亭由何作此

御史降刑部之事

於時黃徽元成進士入翰林長長字一殿榜一字汝調號側侯由產長士極係何厚長

科字事也

石曰吳雲進成進士吳長字節階一字者吾院因山由產長改之事歷刑部郎中

依和嚴守田山東人海大才數同號應長字官尚如向長

福字氣神該出人上務上越為長不遇也世利折節下士通身校者意甚

不才之修焉 集訓名成其多而合者名晚松軒竹館

之載良の全書房第三十卷者事多一若傳信多利本出版  
載叙に叙回撰載の重手傍重刊也版(是乃九重山方書時初卷)

廿の八  
一七九九

公元一七七二年

乾隆二十七年壬辰

~~乾隆二十七年~~

~~乾隆二十七年~~

乾隆二十七年

乾隆二十七年

乾隆二十七年

乾隆二十七年

乾隆二十七年

乾隆二十七年

乾隆二十七年

乾隆二十七年

本及同治刊本而原刊本傳映甚少林葉庄有

乾隆二十七年

乾隆二十七年

乾隆二十七年

乾隆二十七年

乾隆二十七年

年今存同化同產以係商抄本

詔修四年全書以因立杭州太平坊寺後宋訪進書局所平糊沈初以孫林侍講

立一摺之教文考受受狀據碑何為此對中於亦有字有中選定張子載年黃

璋朱休彥等汝日極勤而節後引大傷人陸煥為助係宋訪事後孫

口年集進考也偏十一卷

古蘭金陵敏相成進士旋中平加中涉氏字兩榜之山川花卉真作保家

長興朱修成進士朱氏字陵六環敏坪書元文備閱檢林武英敏德檢之產

全書委修之素叔及其州沈德階為詩友少子宋慶字之孫籍多探了子

林刊修陽心其他等子世稱精善不能詳初有撰以年書詩書約意

一七七八年  
朱修此

錢氏沈孫連成進士沈氏字稼人號蘆士一號大雲

錢氏沈孫連成進士沈氏字稼人號蘆士一號大雲

孫連進見二六

杭州大衆美術館製(日)四(內)版









翰林院編修

汪子亮 陳姓 正士 入 附 經 李 吹 子 某 采 遠 打 名 義 由 產 不 下 按



Vertical columns of handwritten text in black ink, including names and titles such as '翰林院編修' and '汪子亮'.

公元一七七七の年

元禄三十九年甲午

布政使玉置権右衛門

刊行採集遺書抄原目録卷之七 甲午夏凡卷書十三次

為種の千二百二十三為卷五世の六十九五之六十八之六十九之七十一之七十三之七十四之七十五之七十六之七十七之七十八之七十九之八十之八十一之八十二之八十三之八十四之八十五之八十六之八十七之八十八之八十九之九十之九十一之九十二之九十三之九十四之九十五之九十六之九十七之九十八之九十九之百

又續述一百二十六種（立全圖）亦有中為最多数故

時此在私人藏家遺書云云其有規矩之知者多是齋館是博子未遺書五種僅の本若保三二種存目

一三九種南島極之人口習解遺書之の種存の本若保五九種存目二〇一種爾一天一圖此人其巡程遺書

六三八種存の本若保九五種存目三七八種改刻改校之私家齋天輝子本塔三〇五種存の本

五二種存目二〇種若保重好家原之仰曾遺書三二種存の本若保三二種存目一八種抄写卷

海人日記遺書遺書三九種存の本若保三三三種存目二二三種若保水曜寺若保水曜寺人遺書一八種存

の草書稿遺書存目三二種初御書若保林氏水曜寺原遺書一三七種而陸奥傳若保寺原遺書若

本抄寫

多村証及若干年  
為述之至日十  
又人財は有つて五  
樹村亦三三書目

休若保五三  
日一一三



公九一七五八

一、關於一國之土地面積與人口之關係，(註：此項關係之研究，可參見

地理學雜誌，一九二九年，第一卷，第一號，頁一—二)

二、關於一國之土地面積與人口之關係，(註：此項關係之研究，可參見

地理學雜誌，一九二九年，第一卷，第一號，頁一—二)

三、關於一國之土地面積與人口之關係，(註：此項關係之研究，可參見

地理學雜誌，一九二九年，第一卷，第一號，頁一—二)

四、關於一國之土地面積與人口之關係，(註：此項關係之研究，可參見

地理學雜誌，一九二九年，第一卷，第一號，頁一—二)

五、關於一國之土地面積與人口之關係，(註：此項關係之研究，可參見

地理學雜誌，一九二九年，第一卷，第一號，頁一—二)

寶華錄是書內容分行政、經濟、法律、教育、農林、交通、郵政、庫務、糖工、水利、報政、駁船、優  
務、賦稅、租稅、稅務、採辦、警政、軍火、祀典、工程、名勝、會館、廟工、印刷、地籍、船政、等見二  
十六門，其內容極其豐富，係清廷編纂，與太平天國革命時期有密切關係。徐五石所  
目錄末有「一半據徐星餘存冊，是光緒十年甲午年九月之預呈，係在山陰之玉屏  
金中向考藏院與吟社」識一

抄 據徐星餘存冊  
明倫彙編 家範典 第十卷 幼儀 又附八卷 聯桂 中刊本 4版

咸萬二為考釋天小卷 任城書院刊本 4版

沈亦撰 時反採集 遠書此係十卷刊本

張益名 金石錄之卷刊本 (老山自書 卷人等字 全五段 聯字 行重刊本 凡十四冊)

清樓卜 履臣之稿 係採集 卷八 卷九 卷十 卷十一 卷十二 卷十三 卷十四 卷十五 卷十六 卷十七 卷十八 卷十九 卷二十 卷二十一 卷二十二 卷二十三 卷二十四 卷二十五 卷二十六 卷二十七 卷二十八 卷二十九 卷三十 卷三十一 卷三十二 卷三十三 卷三十四 卷三十五 卷三十六 卷三十七 卷三十八 卷三十九 卷四十 卷四十一 卷四十二 卷四十三 卷四十四 卷四十五 卷四十六 卷四十七 卷四十八 卷四十九 卷五十 卷五十一 卷五十二 卷五十三 卷五十四 卷五十五 卷五十六 卷五十七 卷五十八 卷五十九 卷六十 卷六十一 卷六十二 卷六十三 卷六十四 卷六十五 卷六十六 卷六十七 卷六十八 卷六十九 卷七十 卷七十一 卷七十二 卷七十三 卷七十四 卷七十五 卷七十六 卷七十七 卷七十八 卷七十九 卷八十 卷八十一 卷八十二 卷八十三 卷八十四 卷八十五 卷八十六 卷八十七 卷八十八 卷八十九 卷九十 卷九十一 卷九十二 卷九十三 卷九十四 卷九十五 卷九十六 卷九十七 卷九十八 卷九十九 卷一百

公元一七七五年

私陸? 予乙未

王叔文沈括一甲三子進士沈氏子勉新善書山水兼工花卉

一作沈文人  
是解一甲三子  
沈括乃其子  
呼餘有誤

字行素之字美沈出

沈氏山前... 甲一甲三子進士... 沈氏子勉新... 善書山水兼工花卉

武林白紙手刊茶桂臨行指南琴系十卷附精造良方の卷

宋楊海攻媿系一二十卷武英殿本所版本出版

宋楊海攻媿系一二十卷武英殿本所版本出版

宋楊海攻媿系一二十卷武英殿本所版本出版

一七七五年一七七五年



寶華錄是書內寓分份政權政事孫係神澤正獻政原稼塘水利船政驛信優  
務類賦租稅稅款採辦等致軍火祀典工程名勝食餉庫之類相地利籍記等見二  
十六門其在錄本獲傳錄後移此與華平收藏者冊時有  
目錄末有「半橋徐星條存時是也」字甲午年九月之朔是德和山陰之玉屏  
金中尚書藏院史吟社一識

明倫彙編 雜考彙編 卷之十 卷之十一 卷之十二 卷之十三 卷之十四 卷之十五 卷之十六 卷之十七 卷之十八 卷之十九 卷之二十 卷之二十一 卷之二十二 卷之二十三 卷之二十四 卷之二十五 卷之二十六 卷之二十七 卷之二十八 卷之二十九 卷之三十 卷之三十一 卷之三十二 卷之三十三 卷之三十四 卷之三十五 卷之三十六 卷之三十七 卷之三十八 卷之三十九 卷之四十 卷之四十一 卷之四十二 卷之四十三 卷之四十四 卷之四十五 卷之四十六 卷之四十七 卷之四十八 卷之四十九 卷之五十 卷之五十一 卷之五十二 卷之五十三 卷之五十四 卷之五十五 卷之五十六 卷之五十七 卷之五十八 卷之五十九 卷之六十 卷之六十一 卷之六十二 卷之六十三 卷之六十四 卷之六十五 卷之六十六 卷之六十七 卷之六十八 卷之六十九 卷之七十 卷之七十一 卷之七十二 卷之七十三 卷之七十四 卷之七十五 卷之七十六 卷之七十七 卷之七十八 卷之七十九 卷之八十 卷之八十一 卷之八十二 卷之八十三 卷之八十四 卷之八十五 卷之八十六 卷之八十七 卷之八十八 卷之八十九 卷之九十 卷之九十一 卷之九十二 卷之九十三 卷之九十四 卷之九十五 卷之九十六 卷之九十七 卷之九十八 卷之九十九 卷之一百

仁和地清原中甲三卷進士沈大子魯田號多尔以福其河終定

傳序 德寧許娘海亭陳文振曰於進士詩人子樂亭號墨如由梅在茂臺主之獲優位改內

湖中書卷者思補軒的集陳人字天中號以微也力是去士以神節之事 著古花對

山房詩集



實事求是考為天分所限推致官職種種清廷嚴政廢除塘工水利振發野作後

板穀賦租他石於湖水等致年大祀典工程考略全何處之記類以制銘記昔見二

十三年其志終不獲遂後清穆九年平粵的賊若相謝有

庚申年(1708)上... 二十五年... 陽星後板山後之三屏

余不... 庚申年... 二十五年... 陽星後板山後之三屏

... 庚申年... 二十五年... 陽星後板山後之三屏

... 庚申年... 二十五年... 陽星後板山後之三屏

... 庚申年... 二十五年... 陽星後板山後之三屏

... 庚申年... 二十五年... 陽星後板山後之三屏

... 庚申年... 二十五年... 陽星後板山後之三屏

... 庚申年... 二十五年... 陽星後板山後之三屏

... 庚申年... 二十五年... 陽星後板山後之三屏

... 庚申年... 二十五年... 陽星後板山後之三屏

公元一七七六年

乾隆四十一年丙申

長子 鮑 氏 知不足齋 刊成 凡二百四十冊

鮑 氏 知不足齋 刊成 凡二百四十冊

鮑 氏 知不足齋 刊成 凡二百四十冊

鮑 氏 知不足齋 刊成 凡二百四十冊

鮑 氏 知不足齋 刊成 凡二百四十冊

鮑 氏 知不足齋 刊成 凡二百四十冊

鮑 氏 知不足齋 刊成 凡二百四十冊

鮑 氏 知不足齋 刊成 凡二百四十冊

鮑 氏 知不足齋 刊成 凡二百四十冊

Urbani-147...

寶壽條是考內天分份的推故官錄法種博運徽政處上錄塘工水利核候驛信候

板刻賦利純然於排本等致一事大社典之程若錄公洲應之記則比特始化等見二

十一門其在終本獲修修遠格女此正平平以成若州時有

由字知州我刻曾第何因寧州之十六卷成子何刊

何今在刊本致常字呼訓院粵村直隸字序律人孔注己卯著人林自

○乙未東為○州事延和言徽州恩志事州人用者陳瑛瑞基計途名任多美

而考議石全十以共事及刊成字儀甲起春撰海名字以保十二卷凡州

畫結印○日○及前素世晉信何助志不少怒同州人又核事志何自公卷許

道衣印名申院密嶺孔注事不著人官中重而如物

實印書保福年一第凡字今屏院四殿記注

湖南美術館印製



Chang...

正字... 卷之二十六

... 卷之二十六

... 卷之二十六

... 卷之二十六

... 卷之二十六

... 卷之二十六

... 卷之二十六

公元一七七七年

乾隆四十二年丁酉

秦昭曾備選拔

黃生

一作在東

字序東一字橋中人稱後齋先生歷任

湯溪金華孝典一書亦教坊研以治學宗旨洛南儀衛阮元相成汪志伊

無錫秦煥成三卷

以卓著

改

射命

清

佛主西陽考定晚校明南

合

馬鳳亭於官著方後播文自卷二十一卷竹多三卷今存刊本中者與人傳

防海法以去與化權海修疏定疏片也一學云

補正疏前本亦與國書

南台存什本

天美子

大華人老四十四國中其定法行人

劉天美就別天到五條巷四法節已力甲公

本國公議其其辭於法到其日時到之六書公議其其行也

始為引心學位就三十七卷



Chang...

此字... 杭州之十六卷... 杭州...

杭州...

杭州...

杭州...

杭州...

杭州... 杭州...

二十一卷... 杭州...

杭州大東美術館印售

地盤  
胡光就中著人胡氏在雲川說以學堂善堂二者

陳國劉著精學... 刻五部... 刻五部... 刻五部...

刻五部... 刻五部... 刻五部... 刻五部...

刻五部... 刻五部... 刻五部... 刻五部...

刻五部... 刻五部... 刻五部... 刻五部...

刻五部... 刻五部... 刻五部... 刻五部...

刻五部... 刻五部... 刻五部... 刻五部...

刻五部... 刻五部... 刻五部... 刻五部...

刻五部... 刻五部... 刻五部... 刻五部...

刻五部... 刻五部... 刻五部... 刻五部...

錢氏曰公劉標釋二十卷

昔田如新楚楷竹札傳三月田如新志六卷成多付刊先是康世新志卷之七

此天多補版又任如新楚楷竹札傳三月田如新志六卷成多付刊先是康世新志卷之七

歸今存刊本楚楷字 無人為之字周布貴州貴定人楚楷字

楚楷字楚楷字 楚楷字楚楷字 楚楷字楚楷字

楚楷字楚楷字 楚楷字楚楷字 楚楷字楚楷字

楚楷字楚楷字 楚楷字楚楷字 楚楷字楚楷字

楚楷字楚楷字 楚楷字楚楷字 楚楷字楚楷字

楚楷字楚楷字 楚楷字楚楷字 楚楷字楚楷字

楚楷字楚楷字 楚楷字楚楷字 楚楷字楚楷字

候望輝正書前川子

抄子身為候改如了了了律法律法

試用切等抄口在者亦何抄子大改寺寺也御見汝除是念了了了

小學生飲工茶序生凡廣寺子耦塘院住西

臨白徐傳履等打仰徐氏字景遠號發團着亦力信口隨化系今存鈔本一

冊藏立以

條地日氏桂松書全刊宗崇造隸釋二毛卷錄續三十一卷(此書口以十年後布

造凡晒木齋刊本附名日本録釋刊誤

保

秋... 行... 宋... 紹... 三... 一... 家... 山... 州... 一... 州...

秋... 行... 宋... 紹... 三... 一... 家... 山... 州... 一... 州...

秋... 行... 宋... 紹... 三... 一... 家... 山... 州... 一... 州...

秋... 行... 宋... 紹... 三... 一... 家... 山... 州... 一... 州...

秋... 行... 宋... 紹... 三... 一... 家... 山... 州... 一... 州...

秋... 行... 宋... 紹... 三... 一... 家... 山... 州... 一... 州...

秋... 行... 宋... 紹... 三... 一... 家... 山... 州... 一... 州...

公元一七七八年

乾隆四十二年成

張遜為金石契五卷考定本刊

餘地志新唐書編纂修乾隆餘地志四十卷成本刊自益編纂一舉三原其人

乾隆四十二年

大清文五卷八卷三卷

年

景寧知縣張九華纂修乾隆餘地志十二卷成本刊自九華字遂州漢南

村直隸新其舉人乾隆三十七年舉知縣事是年去任是年今而為古圖書館

藏方刊本

南華書局

吳寧知縣張九華纂修乾隆餘地志十二卷成本刊自九華字遂州漢南

（此華西名蘇文志去著錄今者竹錄本）成在吳縣德安官山核

...

一七九一

一七七

偏入一七七二

多一多

和春延壽... 一七七二... 一七七三... 一七七四... 一七七五... 一七七六... 一七七七... 一七七八... 一七七九... 一七八〇... 一七八一... 一七八二... 一七八三... 一七八四... 一七八五... 一七八六... 一七八七... 一七八八... 一八八九... 一八九〇... 一八九一... 一八九二... 一八九三... 一八九四... 一八九五... 一八九六... 一八九七... 一八九八... 一八九九... 一九〇〇...

長興朱鈴由抄錄林希之稿六初申乾元三十七年進士作明在... 林の

奉金書進在書士教依後因修

朱の十八の三

松世媛己古書抄又... 七の卷刊引... 存多老抄の年刊本

陽道名金石契五卷刊行... 向重... 刊本



*[Faint, mostly illegible handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.]*

公元一七七九年

乾隆四十四年己亥

上卷之王昭侯仰奉王之字跡原鏡空相由是而方字刻以出乃甘肅

蘇字宜許鄭著考小爾雅疏八卷力訓戴家小爾雅北古小學考之說

二卷說文音義

又考說文五篇八卷三之梓引又考毛詩詁音若干卷圖行釋文補疏考十

二卷文選七要二卷空桐子請稿十卷嚴名什受聘補修湖布通去率年

八十二

錢坫載道亨中明天寧人或在子仲非送呈人著考小月抄膜稿家均著

離奇所志城中正卷之卷考慶右者聽園牡丹花時代人游觀供編載園





一七九

編入一七七二

年

史榮

一七九

史榮  
另寫

和... 卷... 一...

共與朱鈴... 翰林... 卷六... 初中... 三十七年... 進士... 作... 每... 以... 林...

奉命... 進... 卷... 一...

六十八...

和... 卷... 一...

和... 卷... 一...

和... 卷... 一...

和... 卷... 一...

和... 卷... 一...

畫花...

平湖... 卷... 一...

和... 卷... 一...

和... 卷... 一...

杭州大東美軒...

五十一年任建燦主峯雲鏡聯身乾清三十九年刻書  
錄考及洪羊晚年自訂功績為傳存家傳三集景南字  
今御鏡話委乾清四十  
三年家至是志以脫稿景南乃作什修二卷又著  
吟底稿書選刻就成集

五與儀汝誠十卷五十八儀汝誠

應吉士區存原藏  
夏無編刊切切特切之也

宋修文子浦厚長志不足齊刊本出版

溫河

文原

記

文

記

記

記

Vertical columns of faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

公克一七八〇年 乾隆四十五年庚子

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

九五五年

...

...

...



公元一七八二年

乾隆四十七年三月

乾隆四十七年三月

入五...

山陰山模成近之...

...

珠山由卷...

...

...

正正正

正正正

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



刑部

刑部

刑部

刑部

刑部

刑部

平刑部

賜借

詩

和

諸



宋言興法有後古倫二卷清高以陽極正其始餘一卷卷色舊氏刊本也

宋言興法有後古倫二卷清高以陽極正其始餘一卷卷色舊氏刊本也

宋言興法有後古倫二卷清高以陽極正其始餘一卷卷色舊氏刊本也

宋言興法有後古倫二卷清高以陽極正其始餘一卷卷色舊氏刊本也

宋言興法有後古倫二卷清高以陽極正其始餘一卷卷色舊氏刊本也

宋言興法有後古倫二卷清高以陽極正其始餘一卷卷色舊氏刊本也

宋言興法有後古倫二卷清高以陽極正其始餘一卷卷色舊氏刊本也

宋言興法有後古倫二卷清高以陽極正其始餘一卷卷色舊氏刊本也

宋言興法有後古倫二卷清高以陽極正其始餘一卷卷色舊氏刊本也

宋言興法有後古倫二卷清高以陽極正其始餘一卷卷色舊氏刊本也

宋言興法有後古倫二卷清高以陽極正其始餘一卷卷色舊氏刊本也

宋言興法有後古倫二卷清高以陽極正其始餘一卷卷色舊氏刊本也

宋言興法有後古倫二卷清高以陽極正其始餘一卷卷色舊氏刊本也

八九一七八十

乾隆四十七年壬寅

冬青蒲王昶立校修而仰志收時王府子觀覽(而余不用)師堂間

命之今補錄以錄入全云云并係計左壁為二碑考七碑始十碑中第一碑論

碑七碑至二十一碑共三十一碑不詳之考修甲十九碑(此二考及付馮君為

不詳考果詳述各碑文字起記之取錄本說此蓋多行德)

說就收人抗州州建文閣 向美北以蘇揚州修特建文閣(文)二閣準備三

向美予以抗州之年全考列本一

清湖社因一不卷

理天南教者

嘉定錢大昕遊天台遊步郊社(通)法道名以伯善比宗不教文寓天一閣亦因

立范華舟亦配嗜法者迥相得撰(副)碑(條)自三代迄宋元凡五石八十符通以

伏光由石以并此撰去人姓名相碑以迥不著條仿歐趙一何也

張某書及  
改入乾隆五  
十二年丁未

宋之興法有後古倫之義法為以陽極正其物除一其要也甚古刊本也

林... 卷... 十... 一... 卷...

...

...

...

...

...

...

...

...

公元一七八三年 乾隆四十八年癸卯

和使亦克...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



漢字... 十二...

陽溪知縣陳修靈墓修教後馮字城訓善治躬奇好人相輝也俗好人給布位設標  
馮夢登者長行，龍溪陽溪縣志十卷成書刊行修靈以而奉并人按至乾隆四十二  
年未心於事宗城亦其人乾隆二十五年刻書四十二年未修後教後躬奇好人善人  
乾隆四十年未修刊字，碑字亦行一字兩單號曉塵乾隆十五年刻書，應後少而太苦  
大同知縣南生翁朱花注二十四年明天善人磨後書而宜山麻城七縣政標字起於乾  
隆二十七年歲至運乃訓等夢聖字占九乾隆四十四年善人是是今存傳本以因  
書後及王化九等善塵為善人

杭州大東美術館製（四日）



温州市图书馆

陽溪知縣陳修靈善行教諭馮字城訓導陸豹奇新人胡婦少陽新人徐布任啟標  
馮夢登等手訂，孔法陽溪縣志十卷成書刊行，惟靈江而奉，新人按至乾隆四十七  
年，未及刻事，京城嘉善人孔法二十五年刻，至四十二年，奉化教諭陸豹奇，新人奉人

好刺點點林林林林

●清自元嘉慶三十三年刻之，由蘇州府志局刻之，蘇州府志局刻之

蘇州府志局刻之，蘇州府志局刻之，蘇州府志局刻之

外州府志局刻之，外州府志局刻之

蘇州府志局刻之，蘇州府志局刻之

蘇州府志局刻之，蘇州府志局刻之



公元一七八五年

乾隆五十年乙巳

乾隆五十年乙巳

工部... 補... 陽... 碑... 拓... 子... 月... 曆... 而

通... 八... 卷... 文... 年... 存... 年... 美

... 詳... 武... 山... 址... 碑... 武... 不... 似... 及... 武... 石... 台... 碑

石... 印... 刺... 地... 業... 武... 氏... 初... 書... 一... 年... 測... 之... 亦... 一... 所... 一

周... 曆... 集... 了... 考... 何... 海... 寧... 志... 傳... 聞... 二... 志... 成... 志... 是... 考... 志... 刊... 後... 送... 志... 二... 五... 十... 後... 志... 考

竹... 石... 鋪... 志... 多... 同... 一... 北... 半... 開... 考... 依... 有... 種... 日... 抄... 寫... 志... 傳... 同... 稿... 本... 二... 國... 係... 在... 板... 本

口... 用... 考... 據... 考... 支... 傳... 三... 十... 二... 十... 海... 寧... 志... 支... 不... 符... 鈔... 本... 又... 用... 春... 函... 名... 勝... 記... 三... 十... 卷

亦... 志... 考... 據... 考... 志... 考... 支... 傳... 三... 十... 二... 十... 海... 寧... 志... 支... 不... 符... 鈔... 本... 又... 用... 春... 函... 名... 勝... 記... 三... 十... 卷

海... 寧... 志... 考... 據... 考... 支... 傳... 三... 十... 二... 十... 海... 寧... 志... 支... 不... 符... 鈔... 本... 又... 用... 春... 函... 名... 勝... 記... 三... 十... 卷

陽溪知縣陳作聖善信敬錄馮字城訓善路豹奇其人相婦人得孫人給布任殿標  
馮夢登者走行、孔淳陽溪縣志十卷成書刊行任聖以而奉其人極其純陸四十二  
年未止於事字城未其人孔淳二十五年刻書四十二年未任殿標豹奇其人奉人

好刺點好林好行

●書之卷三十三卷之六也林善也

書之卷三十三卷之六也林善也

外行本刺錄卷三十三卷之六也

卷之三十三卷之六也林善也

公行日九十五年

卷之三十三卷之六也

公元一七二六年

乾隆五十一年丙午

五洲... 工部... 乾隆... 丙午

... 乾隆... 丙午

... 乾隆... 丙午

... 乾隆... 丙午

周... 乾隆... 丙午

竹... 乾隆... 丙午

口... 乾隆... 丙午

... 乾隆... 丙午

海... 乾隆... 丙午

海... 乾隆... 丙午



事蹟印存三卷 欽定華律 欽定全錄

已... 欽定... 欽定... 欽定... 欽定...

欽定... 欽定... 欽定... 欽定... 欽定...

欽定... 欽定... 欽定... 欽定... 欽定...

欽定... 欽定... 欽定... 欽定... 欽定...

欽定... 欽定... 欽定... 欽定... 欽定...

欽定... 欽定... 欽定... 欽定... 欽定...

車林天... 欽定... 欽定... 欽定... 欽定...

欽定... 欽定... 欽定... 欽定... 欽定...

陽溪知縣陳修靈善信教諭馮字城訓導陸豹奇山人相輝分俗鄉人徐布位叔標

產文似於行本卷方刊行

枕賦之元帝主人稱掛依指南木刻出版

定名和僅撰不事似十三卷通釋三卷能越十三卷聖所采出版

虞氏枕行重刊產之居於送月可也子幼遺二卷

汪沅槐李詩稿十一卷文稿の卷刊行

朱子謝心林刊前子重校條注二十卷

○事如以方人直正志宜之類解讀之其已蘇合而人寧使存之信家均有

保德堂稿一卷種風集卷の卷論世福錄初信書芝書夫入之



一与九のり  
一多のり  
一七八三年一編  
併此

大正の蔵明抄本属送方論多子重刻于石版  
志行 大正の蔵明抄本属送方論多子重刻于石版  
所為一版想の経道也

周書卷之六卷刊行

明細行下志利本清張致詢の考並は坊又三十八卷多改

又洞自の年全方日走年<sup>開</sup>於讀~~讀~~修意~~意~~由而附其~~其~~改~~改~~版~~版~~道~~道~~同~~同~~也

礼府未~~未~~亦~~亦~~矣~~矣~~勿~~勿~~也~~也~~を~~を~~降~~降~~候~~候~~候~~候~~候

日 爲~~爲~~也~~也~~ 二~~二~~ 志~~志~~ 利~~利~~ 本~~本~~ 清~~清~~ 張~~張~~ 致~~致~~ 詢~~詢~~ の~~の~~ 考~~考~~ 並~~並~~ は~~は~~ 坊~~坊~~ 又~~又~~ 三~~三~~ 十~~十~~ 八~~八~~ 卷~~卷~~ 多~~多~~ 改~~改~~

志~~志~~ 利~~利~~ 本~~本~~ 清~~清~~ 張~~張~~ 致~~致~~ 詢~~詢~~ の~~の~~ 考~~考~~ 並~~並~~ は~~は~~ 坊~~坊~~ 又~~又~~ 三~~三~~ 十~~十~~ 八~~八~~ 卷~~卷~~ 多~~多~~ 改~~改~~

志~~志~~ 利~~利~~ 本~~本~~ 清~~清~~ 張~~張~~ 致~~致~~ 詢~~詢~~ の~~の~~ 考~~考~~ 並~~並~~ は~~は~~ 坊~~坊~~ 又~~又~~ 三~~三~~ 十~~十~~ 八~~八~~ 卷~~卷~~ 多~~多~~ 改~~改~~

志~~志~~ 利~~利~~ 本~~本~~ 清~~清~~ 張~~張~~ 致~~致~~ 詢~~詢~~ の~~の~~ 考~~考~~ 並~~並~~ は~~は~~ 坊~~坊~~ 又~~又~~ 三~~三~~ 十~~十~~ 八~~八~~ 卷~~卷~~ 多~~多~~ 改~~改~~

一七八三年一編  
併此



公元一七八八年

乾隆五十三年戊申

伊達石鼓文釋在老附釋在結石刻成

奉命 御製 欽定 皇朝 通志 卷之 一百一十五

四年全書事

一七八一年三月二十三日光緒日抄

の月八日光緒日抄

此係振領録の... 年毎有云入而...

... 部二十...

... 部二十...

... 部二十...

... 部二十...

... 部二十...

... 部二十...

... 部二十...

一与九のり  
一身  
一七八三年一編  
何此

大古の成明揚本属送方論孝子重刻于不備之所為一版想其後也  
志平 大川 時未 野島 宗吉 舟

周書卷之六卷刊行

時開行下志利本清張致陶の考並に後又三十八卷まで

又御用の本全方日進年開如 既 後 修 志 志 由 而 則 其 政 版 区 区 國 國 行 也

九原未子亦安勿也を清張致陶

日 刊 行 下 志 利 本 清 張 致 陶 の 考 並 に 後 又 三 十 八 卷 まで

既 後 修 志 志 由 而 則 其 政 版 区 区 國 國 行 也

九原未子亦安勿也を清張致陶

既 後 修 志 志 由 而 則 其 政 版 区 区 國 國 行 也

大古の成明揚本属送方論孝子重刻于不備之所為一版想其後也



亦及道光二十六年重刊本又野人篇百餘則其後三卷抄本亦藏之

此係國藏之要本據抄本而修氏於民國二十六年為一刊入甲部前卷之三系

胡源集撰錄之而成考之卷源字珠如是考未刊今此手開多餘篇多修本

吳德自十國考出二百七卷周抄補刊本出版

一、抄補 卷之三十三 卷之三十四 卷之三十五 卷之三十六 卷之三十七 卷之三十八 卷之三十九 卷之四十 卷之四十一 卷之四十二 卷之四十三 卷之四十四 卷之四十五 卷之四十六 卷之四十七 卷之四十八 卷之四十九 卷之五十 卷之五十一 卷之五十二 卷之五十三 卷之五十四 卷之五十五 卷之五十六 卷之五十七 卷之五十八 卷之五十九 卷之六十 卷之六十一 卷之六十二 卷之六十三 卷之六十四 卷之六十五 卷之六十六 卷之六十七 卷之六十八 卷之六十九 卷之七十 卷之七十一 卷之七十二 卷之七十三 卷之七十四 卷之七十五 卷之七十六 卷之七十七 卷之七十八 卷之七十九 卷之八十 卷之八十一 卷之八十二 卷之八十三 卷之八十四 卷之八十五 卷之八十六 卷之八十七 卷之八十八 卷之八十九 卷之九十 卷之九十一 卷之九十二 卷之九十三 卷之九十四 卷之九十五 卷之九十六 卷之九十七 卷之九十八 卷之九十九 卷之一百

一、抄補 卷之三十三 卷之三十四 卷之三十五 卷之三十六 卷之三十七 卷之三十八 卷之三十九 卷之四十 卷之四十一 卷之四十二 卷之四十三 卷之四十四 卷之四十五 卷之四十六 卷之四十七 卷之四十八 卷之四十九 卷之五十 卷之五十一 卷之五十二 卷之五十三 卷之五十四 卷之五十五 卷之五十六 卷之五十七 卷之五十八 卷之五十九 卷之六十 卷之六十一 卷之六十二 卷之六十三 卷之六十四 卷之六十五 卷之六十六 卷之六十七 卷之六十八 卷之六十九 卷之七十 卷之七十一 卷之七十二 卷之七十三 卷之七十四 卷之七十五 卷之七十六 卷之七十七 卷之七十八 卷之七十九 卷之八十 卷之八十一 卷之八十二 卷之八十三 卷之八十四 卷之八十五 卷之八十六 卷之八十七 卷之八十八 卷之八十九 卷之九十 卷之九十一 卷之九十二 卷之九十三 卷之九十四 卷之九十五 卷之九十六 卷之九十七 卷之九十八 卷之九十九 卷之一百

一、抄補 卷之三十三 卷之三十四 卷之三十五 卷之三十六 卷之三十七 卷之三十八 卷之三十九 卷之四十 卷之四十一 卷之四十二 卷之四十三 卷之四十四 卷之四十五 卷之四十六 卷之四十七 卷之四十八 卷之四十九 卷之五十 卷之五十一 卷之五十二 卷之五十三 卷之五十四 卷之五十五 卷之五十六 卷之五十七 卷之五十八 卷之五十九 卷之六十 卷之六十一 卷之六十二 卷之六十三 卷之六十四 卷之六十五 卷之六十六 卷之六十七 卷之六十八 卷之六十九 卷之七十 卷之七十一 卷之七十二 卷之七十三 卷之七十四 卷之七十五 卷之七十六 卷之七十七 卷之七十八 卷之七十九 卷之八十 卷之八十一 卷之八十二 卷之八十三 卷之八十四 卷之八十五 卷之八十六 卷之八十七 卷之八十八 卷之八十九 卷之九十 卷之九十一 卷之九十二 卷之九十三 卷之九十四 卷之九十五 卷之九十六 卷之九十七 卷之九十八 卷之九十九 卷之一百

一、抄補 卷之三十三 卷之三十四 卷之三十五 卷之三十六 卷之三十七 卷之三十八 卷之三十九 卷之四十 卷之四十一 卷之四十二 卷之四十三 卷之四十四 卷之四十五 卷之四十六 卷之四十七 卷之四十八 卷之四十九 卷之五十 卷之五十一 卷之五十二 卷之五十三 卷之五十四 卷之五十五 卷之五十六 卷之五十七 卷之五十八 卷之五十九 卷之六十 卷之六十一 卷之六十二 卷之六十三 卷之六十四 卷之六十五 卷之六十六 卷之六十七 卷之六十八 卷之六十九 卷之七十 卷之七十一 卷之七十二 卷之七十三 卷之七十四 卷之七十五 卷之七十六 卷之七十七 卷之七十八 卷之七十九 卷之八十 卷之八十一 卷之八十二 卷之八十三 卷之八十四 卷之八十五 卷之八十六 卷之八十七 卷之八十八 卷之八十九 卷之九十 卷之九十一 卷之九十二 卷之九十三 卷之九十四 卷之九十五 卷之九十六 卷之九十七 卷之九十八 卷之九十九 卷之一百

公元一七八九年

乾隆五十四年己酉

有假令以海而有文宗文匯文淵三肉於考士子方欲後世許其異以

以內修同於... 同覽處

善易以欽進... 俄塔寺

永嘉曹唯所傳廣雅萬山志二十八卷附述行一卷在政時各四十五卷地志一卷先

後成書刊約曾氏字崇梅後正堂亦係湯知縣所居係保國書版磨軒又

查核官刊其州志尤多微存巨州之款共山志以朱諫李系坤地之字海島志平合臨行

而和定備... 考... 志... 卷... 行

映增... 三... 卷... 明... 崇... 邑... 清... 乾... 隆... 五... 十... 四... 年... 己... 酉... 博

錄石... 卷... 七... 三... 條

此書因藏書重要以據竹本而傳氏以此圖二卷為一列入甲部書方之末

胡源業撰錄以內成書之卷源字珠如足考未刊今此手開考錄為竹本

吳德修十國考卷二方寸之卷周部新本出版

一、此書因藏書重要以據竹本而傳氏以此圖二卷為一列入甲部書方之末

一、此書因藏書重要以據竹本而傳氏以此圖二卷為一列入甲部書方之末

一、此書因藏書重要以據竹本而傳氏以此圖二卷為一列入甲部書方之末

一、此書因藏書重要以據竹本而傳氏以此圖二卷為一列入甲部書方之末

一、此書因藏書重要以據竹本而傳氏以此圖二卷為一列入甲部書方之末

一、此書因藏書重要以據竹本而傳氏以此圖二卷為一列入甲部書方之末

一、此書因藏書重要以據竹本而傳氏以此圖二卷為一列入甲部書方之末

一、此書因藏書重要以據竹本而傳氏以此圖二卷為一列入甲部書方之末

方禁及同宗書道山心及竹十卷刊行

金廣十樹軒紅卷八卷行前印製

公元一七九〇年 乾隆五十五年庚戌

有假令以洪而有文宗文匯及周三肉於考士子方款後出許其意以

到肉修同於<sup>疑</sup>五肉中改改本已<sup>未</sup>者一<sup>未</sup>為士子<sup>未</sup>同覽處

善易以欽造<sup>未</sup>承置伏塔寺

永嘉曹唯取<sup>未</sup>廣雁高志二十八卷附述行一卷五取詩存四十五卷述述一卷先

後成書刊<sup>未</sup>約曾氏字<sup>未</sup>崇樓後<sup>未</sup>也<sup>未</sup>堂<sup>未</sup>官<sup>未</sup>厚<sup>未</sup>湯<sup>未</sup>外<sup>未</sup>純<sup>未</sup>而<sup>未</sup>后<sup>未</sup>依<sup>未</sup>保<sup>未</sup>國<sup>未</sup>者<sup>未</sup>版<sup>未</sup>曆<sup>未</sup>軒<sup>未</sup>下<sup>未</sup>入

堂<sup>未</sup>榜<sup>未</sup>官<sup>未</sup>乃<sup>未</sup>其<sup>未</sup>藏<sup>未</sup>書<sup>未</sup>尤<sup>未</sup>多<sup>未</sup>微<sup>未</sup>存<sup>未</sup>江<sup>未</sup>州<sup>未</sup>之<sup>未</sup>款<sup>未</sup>共<sup>未</sup>以<sup>未</sup>志<sup>未</sup>以<sup>未</sup>朱<sup>未</sup>諫<sup>未</sup>去<sup>未</sup>系<sup>未</sup>坤<sup>未</sup>施<sup>未</sup>之<sup>未</sup>字<sup>未</sup>此<sup>未</sup>意<sup>未</sup>志<sup>未</sup>平<sup>未</sup>合<sup>未</sup>為<sup>未</sup>行

而<sup>未</sup>和<sup>未</sup>之<sup>未</sup>備<sup>未</sup>多<sup>未</sup>外<sup>未</sup>考<sup>未</sup>指<sup>未</sup>藝<sup>未</sup>文<sup>未</sup>一<sup>未</sup>行<sup>未</sup>乃<sup>未</sup>多<sup>未</sup>科<sup>未</sup>述<sup>未</sup>行<sup>未</sup>在<sup>未</sup>他<sup>未</sup>明<sup>未</sup>著<sup>未</sup>後<sup>未</sup>述<sup>未</sup>二<sup>未</sup>卷<sup>未</sup>亦<sup>未</sup>卷

煇<sup>未</sup>增<sup>未</sup>多<sup>未</sup>三<sup>未</sup>三<sup>未</sup>儀<sup>未</sup>拜<sup>未</sup>明<sup>未</sup>中<sup>未</sup>景<sup>未</sup>風<sup>未</sup>清<sup>未</sup>乾<sup>未</sup>漢<sup>未</sup>等<sup>未</sup>在<sup>未</sup>宋<sup>未</sup>校<sup>未</sup>宋<sup>未</sup>博<sup>未</sup>說<sup>未</sup>神<sup>未</sup>亦<sup>未</sup>而<sup>未</sup>之<sup>未</sup>是<sup>未</sup>而<sup>未</sup>社<sup>未</sup>大<sup>未</sup>雅<sup>未</sup>上<sup>未</sup>海<sup>未</sup>

錄石年四

而男一七三三信

平明山銘三恒銘詩何意引等陳氏陳焯陳海村為人誦誠（後字以雲稱）陳謙法（七人）

平明山志十二卷成化刊引平志王孔隆河凡三修（此為第三次）此系用

李伯藏等十本本館重校物用生飲及九卷（缺卷十）所存之書本九卷長卷八人術修所者此

本恒字久也號威齋黃州道人龍德三十年卒人五十五中書廣元調（此卷）五十三年去而後任

正延年止萬字俾臣山陰人四九十年卒人五十五中書廣元調（此卷）五十三年去而後任

蛟門志後歲五十三（此）任誠字希和號龍丘龍德四十二年卒人晚福遂入御年五十七

著嬰山小園詩文集梅花詩話峨嵋山志字以字自艾香號表仁龍德四十二年卒人二句組

及撰修相宗字以恒號鳴軒龍德三十二年（此）別名晚香外侯自號竹溪後又著詩集

書無修補册成進士入翰林修外字（此）龍德三十二年卒人晚福遂入御年五十七

子佩志

油房兒  
一七七九



從一七二七年  
修訂時

石川氏正編 漢語林其作五卷目録 通十卷目録 漢語林

仁和傳珍辛卯年八月之

曾唯撰 支那書目表二十八卷 考其後二卷 油珍本刊刊

曾唯編 東亞地存の支那地圖一巻刊行

巨野親史姓松編 支那の支那 凡二卷 支那書目表刊本出版 (地方同治庚午上全漢書局刊印)

本史代 (六卷) 上海中西書局印本 (國粹輯本持重編)

清方 黎汝思宗業通水の支那十卷 支那書目表刊本出版

吳公臣 支那の支那一巻刊行

卷之三

...

...

...

...

...

...

...

...

...

卷之十一

公元一七九一年

乾隆五十六年辛亥

初浙陸費坤字不素鄉年二十陸費氏之弟林之子破士疏既齋晚年

自稱吳涇溪史也乾隆三十一年進士由物部四國傳陸士疏傳擢工部郎左侍郎歷任歷代職

表德系才四年全考德標示刻德哉信者皆所手定改以考者編未撤毀

正本移交未全茂職家所開一閣曰枝法為紙者一而工詩精畫登集苑

心家刻字之興丹青之入都為寫宗祀壽將序不遊著者枝法因法

集殿齋賦稿經典同文每卷歷代字之類謹錄錄錄錄

此由外華臨漢眉交微片杭州之州刻家核精共之慶曰此亦祇方一

為寫此山脈傳周州人赴仙甚感嘗從之問唐西湖又語連白蘇二以初不孤

山草氏字涇陽號秋槎江一伴舍適人著有寶雲山館詩

冬飲氏之不足齋賦去遺賦一瓦其書除是書與吳縣吳士札

居製臣日也藝芝轉舍互為或投外叔必所有飲林斯本後於邑咸聞

教培培馬丁火和苦化吳興陸化

會檢如致和平而七十二其六十三推說迎來乳性 年近世古如教者有越

精月多之國化國為也

...

...

...

...

...

...

...

...

云一十六一平 張金五十六年三月

公元一七九二年 乾隆五十七年壬子

湖州人愛晴明亭大役祖夢得原所撰夢人久書式得京夢服日本寫卷

是書<sup>時</sup>在長崎所見抄

金樽刻石印錄元正己三年舟中皆如夢到刻近向石工復刊此

且是後以竹書本夢勒石而為之

~~此書刻石印錄元正己三年舟中皆如夢到刻近向石工復刊此~~

此書刻石印錄元正己三年舟中皆如夢到刻近向石工復刊此

此與石有字旁時竹字忽年徐若若妹鳴饒而年系托清信思分志八十是成

夫刊刻字特清軍旅人札作五十二年付若口舞會這人妹湖口蘇計後人

新書元

子生世兒  
二二八

江蘇金匡人是志今存付本

李何印本

德信成制桂年... 卷之十四

卷之十四 德信成制桂年... 卷之十四

德信成制桂年... 卷之十四

嘉善村山鈔卷... 卷之十四

嘉善村山鈔卷... 卷之十四

飛古物本一册

(嘉善村山鈔卷... 卷之十四)

嘉善村山鈔卷... 卷之十四

嘉善村山鈔卷... 卷之十四

與國... 下

公元一七九三年

乾隆五十八年癸丑

聖訓 卷之五 諭旨 諭旨 諭旨

朕聞古語有云：『君子之過也，如日月之食焉。』

夫過之於人，猶日之食也。日之食也，人皆見之，

而莫可如何也。人之過也，亦猶是也。過而能改，

過即過矣。過而不能改，過即過矣。過而不能改，

過即過矣。過而不能改，過即過矣。過而不能改，

過即過矣。過而不能改，過即過矣。過而不能改，

過即過矣。過而不能改，過即過矣。過而不能改，

過即過矣。過而不能改，過即過矣。過而不能改，

過即過矣。過而不能改，過即過矣。過而不能改，

過即過矣。過而不能改，過即過矣。過而不能改，

新書元

江口舞金匯人是志今存付本

年何印本

始有歐州桂字卷之十成至若字所音流又說研後之國補孔氏之平天到東

歷代傳而大用此城也元如前小向陳州從大林灣小橋總有亦漢大個漢人自柱

時高程利相為勇取幸與作銀等三五名友相與為城以向湖州及吳口坊要

收過後日若老梅而於泚飯及唐氏抱信書口之反瓶長張孫意其并一詞也

者甚多字繁及釋字本也全佛才以為甚亦收平小故防英何也各段初以為其老未從金聖去

此稿及徑師堂局去同畫訪書周子卷亦主錄大所題為劉人女

夫婦安徑口徑字亦齊第遠織花從楊瓜色那典遊升壯善書字金文

字校遺也下字著魏書地刑志孫異

上國記下  
川原香名稿

一六三三



海亭吳集時年二十一因妻病望婢媿女送之於妻抵昇自家女未言為一乃即為其女  
時寡女女之這人夫五子屏使月外底地到月以紅婦於武而勉之相持一得官賜假歸即  
志他國乃你妻入白請打走陸，而作者乃念思謙同春苑而視查橙陸陸陸陸陸  
詩乞就下佳佳大係佳思志佳振思向老沙人寫乃輯抄成快日桐陰小樓  
自述清江敘文輯今之點法亦即所解任情原份後本一冊

此在老樓傳世處也一五年此後因以贈寺仰至十日以一書為信

吳任良著十國身飲石不卷四宜國刊本少版

方型等為著于老年編集虛橋の事二義十卷於其於刊本少版

此一柱

江口舞金匡人是志今存付本

年何卯本

德清感射村年乾隆十有至品男七又疑研齋補福子

歷年而大用此故也如前...

時多程利相為勇藏者...

收得過後日苗老梅...

海寧好良讓字中花...

署行四外文居者化...

甲辰春仲玉癸丑年...

實收得以諸諸先第...

三國信政一夫他著...







平陽

父然字吉士以中解士上原志也  
一鴻(乾隆四十年)著人撰

君亦清官桐廬的... 典守文廟... 詩曲日侯有未字

齊部十卷... 將就供... 詩言... 詩法

十二月十九日  
同郡... 乾隆四十二年... 詩言... 詩法

士萬... 乾隆... 詩言... 詩法

身全... 詩言... 詩法

詩言... 詩法

馬... 詩言... 詩法

杭州大東美術館印信

不

公光一七九五年

乾隆六十年乙卯

公院和陳琪成進士七

慶事慶事有戴... 花農... 俗... 俗...

英初... 附錄... 卷... 卷...

卷... 卷... 卷... 卷...

開化之秋... 卷... 卷... 卷...

附... 附... 附... 附...

日... 日... 日... 日...

嘉興... 嘉興... 嘉興... 嘉興...

杭州大東英附錄

杭州大東英附錄 (卷四開)

父姓字吉士以中興止土原一石也

君亦清官相產竹等... 典守文閣... 用者... 以詩... 保... 未... 字

齊部十卷... 馮... 解... 著... 未... 叙... 以... 將... 就... 期... 伏... 若... 正... 特... 官... 產... 五... 品... 姓... 著... 履... 節... 法

... 卷... 竹... 之... 文... 派... 味... 此... 遂... 亦... 俗... 曰... 天... 復... 傳... 南... 野... 寺... 詩... 身... 七... 卷... 者... 一... 卷... 味... 圖... 房... 利... 本... 出... 版

十一月九日  
同郡... 中... 年... 於... 北... 州... 年... 五... 十... 一... 日... 又... 子... 宗... 甫... 乾... 隆... 四... 十... 二... 年... 於... 考... 林... 前... 序... 記... 述... 之... 今

士... 萬... 推... 才... 子... 敏... 三... 者... 是... 年... 十... 月... 以... 監... 政... 載... 國... 全... 一... 考... 東... 校... 核... 勘... 之... 用... 用... の

身... 全... 考... 寫... 尺... 寸... 細... 畢... 又... 高... 柱... 固... 是... 衣... 徒... 廢... 作... 逆... 之... 迹... 孫... 勘... 一... 之... 身... 及... 百... 一... 之

... 考... 之... 用... 用... の... 五... 十... 一... 考... 東... 校... 核... 勘... 之... 用... 用... の

... 考... 之... 用... 用... の... 五... 十... 一... 考... 東... 校... 核... 勘... 之... 用... 用... の

杭州大東美術館印信







公元一七三六至一七九五年

乾隆年間

和之慶寧有戴下有並以修可如又王民子結林福極喜也對氏子

書一千五百字人物士女花鳥園竹尤佳

嘉慶六年高... 橫... 卷... 補定... 陸... 成... 景... 波... 市... 遊... 及... 採... 畫... 也

芳林... 畫... 遊... 園... 戴... 山... 子... 結... 曲... 水... 以... 陸... 探... 行... 登... 妙... 筆... 自... 予... 物... 志... 予... 子... 乾... 州... 少... 志... 一... 卷...  
（補定... 陸... 成... 景... 波... 市... 遊... 及... 採... 畫... 也）

此序... 日... 晴... 而... 月... 秋... 雨... 昔... 水... 向... 有... 林... 後... 詩... 一... 卷... 三... 日... 所... 不... 知... 作... 其... 故... 繪... 畫... 之... 中... 竟... 別... 皆... 畫... 景... 二... 十... 種... 畫... 景... 供...  
（補定... 陸... 成... 景... 波... 市... 遊... 及... 採... 畫... 也）

嘉慶六年... 畫... 景... 二... 十... 種... 畫... 景... 供...  
（補定... 陸... 成... 景... 波... 市... 遊... 及... 採... 畫... 也）

嘉興... 在... 快... 處... 也... 故... 但... 以... 行... 字... 序... 化... 之...  
（補定... 陸... 成... 景... 波... 市... 遊... 及... 採... 畫... 也）

嘉興... 在... 快... 處... 也... 故... 但... 以... 行... 字... 序... 化... 之...  
（補定... 陸... 成... 景... 波... 市... 遊... 及... 採... 畫... 也）



吾子蘭一全以書畫控補國氏手載按後其圖景向者新共者直在往此其難

山  
石

傳序詩後徐國又曰詩也又共詩也字里曰後其集二律書徐氏字山一字

評山號九成工花鳥

杭州臨照以畫筆元意於畫神遠海以字右昭統至村字古山人物

杭州陳似蘭今刻好也書畫友似蘭字依者亦字小橋與有此等相村因說二書中入

作亦以而宗正依非任子俊美一筆後亦古山人

平明黃飲阿探法信碑史匪香成香三卷其字風威說點卷是考至十六卷亦

若為侯車古第一編後好點亦其第二編後卷香打亦第一字人評法之百第的書其端

後卷了亦第之史用說後用臨第六的香說後後說第七本朝法後法說第八編後

平明  
上  
云之刊在

杭州大學圖書館藏



海山亭 偶逢 芳时 桂 某 某 白 從 某 定 休 之 所 遊 某 氏 子 椒 界 升 一 亦 柳 升 堂 署 訪

某 立 松 影 與 史 喜 賦 史 曰 事 考 村 舍 之 文 亦 適 括 之 體 精 多 刻 事 有 金 子 志 上 卷

修 古 印 譜 二 卷 刻 碑 姓 氏 錄 一 卷 醉 修 核 在 臺 二 卷 年 九 十 年 之 取 而 次 試 裝

界 為 十 鉅 冊 曾 作 送 濟 家 以 乃 上 由 海 高 磅 一 所 存

喜 興 健 體 美 中 之 故 將 餘 寫 金 書 修 氏 子 康 邦 諸 公 喜 曰 亦 林 之 佳

能 好 詩 書 畫 意 卷 二

錢 氏 孔 無 孫 以 畫 竹 名 於 時

小 修 之 乞 勳 陰 善 力 所 至 氏 宗 湘 州 工 士 女 日 用 針 綉 作 心 竹 絲 名

杭州 虞 漢 以 書 什 名 家 產 人 年 已 凡 從 修 觀 又 從 之 切 之 錢 師 竹 先

人 因 因 多 互 據 敘 物 以 傳 是 世 存 精 物 其 從 時 不

浙江史有以詩考書兼權稱史氏字南波

海寧沈心醇以金石考識文字以史考經等說

明子多同考為身又與僕獻之曰杜陵徐為一相以

待缺

嘉興李福陸輯梅台竹道凡一二三集六種

六成六冊是朱嘉年多卷輯梅台人信而朱

且核子氏考為備二版信之信是竟事其人沈愛道

刊行也

山陰馬駒撰儀禮易傳十七卷馬氏子德厚考入四年存自

湖州閻希仲以文字權去南氏子湘人考有真正序集三卷



錢塘丁福侯林湖俱之吟詠下凡手勝武

蘇

唐李士者二須重李二卷林

女子處處方藏真也存稿一卷二書供入口存存自

平湖郭北奎撰有心園書信三卷郭氏子

考入口存存自

烏程唐一夙十時吟卷八之武堂方天志同竹系十卷入口存存自

杭州沈而博家言稿考沈氏子考材有書村以而傳品印掌村

等印記

錢塘屬之類 壯年解考授天之牛屬女子 寶善書 甚佈 既之二 卷於三角二條

小轉精圖一供供方所允 五卷自出巧思製刻為壹條偶為一運持自然采刻亦忘

杭州張華以畫名海內外華字秋谷自少嗜書十年後日本自魏而許的徒

後張周氏刊印讀也

宋史卷一百一十二卷情狀本行本行

宋史卷一百一十二卷情狀本行

陳煥撰明宗錄高貴傳六卷刊行

明史之謝著他文卷之及卷二十卷刊行

胡渭撰北極志卷之及刊行

毛奇齡西河合集卷一百一十七卷清神不修補本行

陸漸忠三皇卷膜言十二卷臨金補刊本行

臣及屏存冲書屋卷之及外卷二卷刊行

僕我撰不齋外卷五十五卷刊行

明史著者劉青田史文卷二十卷家幼本行版（向者支山為小）

明史即色道里表一卷刊行著者伊璠

宋史陸陸細轉雅二十卷重刊行

心公集卷  
一八八二

宋史通心集刊於山志富條

杭州大

宋美術館製

威字標の考保讀之卷刊行

唐陸德明經典釋文考証三卷刊行

向十八卷計三十二卷

抗之跋道古布文集

刊行後

乃氏氏抗後也

刊本

此白四川雷某官之私印而身亦後之各能松三坊才信疑實明之東都吟社

奇字考

此卷考證甚詳且其字多屬古字

其考證之詳且其字多屬古字

温

卷之七 卷之八 卷之九 卷之十 卷之十一 卷之十二 卷之十三 卷之十四 卷之十五 卷之十六 卷之十七 卷之十八 卷之十九 卷之二十

卷之七

卷之八

卷之九

卷之十

卷之十一

海寧朱慶朱饒及齊在飯月廬亦饒子慶子供以詩明定全子學和

晚後送蒙走人日日所著衣饒年三卷供有宋卷向乃力搜

郭常向以收中饒子紹堂魏王江左垣子乃饒說搜莊又說字處壽辰三年

吳人少饒燕道能壽珍王連洲饒崇荆方崇荆造橋左下字乃良饒吳友

方崇慶少能壽字子培又說文田

海寧陳以個與大興下四方個乃全石女陳氏字三說竹厂著有大戴禮注

應事女飯的飯所  
雜列於下下是  
是字向生此  
第下

杭州大東美村部製(口口口口)

戰國末臨年武城日月表及小正之爾雅補注  
及石人而傳金石志由中孔廣森為大弟子

其古刑功政以信以形以字推去疏於尸即他生柳反全家博人此造字法與他以增

半相唱和共示外政以敬供以人其增搜又造什徑以不什音為匡柳在的造十一

相評志為一序謂大信和狀如管採入室管信信用缺又音造十什音入柳陰信

微五以增主心據疏監仰室上盤自珍朱原洪雙為文及善力館上膝信造行（其

善初周書竹藏善竹平尸也）斜陰竹枝的為地黑白者四者何從黑曰者

温為

報

報

漢林... 報

州... 報

州... 報

州... 報

州... 報

州... 報

州... 報

可謂正宗  
天下

善化元  
一三九五

公元一七九六年 嘉慶元年丙辰

此以學後  
既九重建德壽考切致祥祀

善之德壽之系

老便請書法籍之卷三

有田草(萧山來陽御武仙本二州)

竹州張道斌以孝廉立本卷 陸氏子自去 陸爾山族仙攝有她以

清印正亦北湖一邑少多送外凡一五十六家与美宗我地以送付似世宗陸她以送付

諸子及以送付今不北陸三十八年刊本

萧山陸以莊成進士入揚林陸久信系張平泉由由陸吉士切略為修竹官正二部者五年

證文某

仁和陸成成進士入祠陸陸久學都仙鏡柱西由陸常授陸陸陸文內函侍讀學士

陶允淳倫全時付信之有老怡實向刊本出版

太平風子標標三台付信之有老怡實向刊本出版

太平風子標標三台付信之有老怡實向刊本出版

20

文

Faint vertical text columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

山人重致... 附錄... 此

Vertical text on the left margin, possibly a title or page number, written in red and black ink.



可附王宗

夫下

善悦元  
一六九五

萧山朱宗叙成進士朱氏字慎一遂想喬守直疎唐竟之私曾世竹而以終上自  
陸多序下已鈔廟山利想一善少想喬文集 卷便詔也訪能の忠<sup>卷五</sup>又<sup>開</sup>有傳  
有田草の萧山朱陽微路竹士一州

陸州張更故以孝著立一不陸氏子有妻陸眉山故他攝少她以<sup>卷五</sup>又<sup>開</sup>有傳  
清即正府北河一邑少思遠外九一五十六卷与善宗或她以遠信似<sup>卷五</sup>又<sup>開</sup>有傳  
諸子天の道信今石北陸三十八年刊本

萧山陸以蔭成進士入揚林陸氏在岳岳平尔由由屋去土切略为風竹官正二部也于年  
證文集

仁和陸成進士入祠信陸氏在都也鏡柱西山由屋常按傳信歷之の肉侍讀子士

備地圖書表<sup>卷五</sup>又<sup>開</sup>有傳

陶允康倫全竹竹信之有卷信會向刊本也版

太平咸字標<sup>卷五</sup>又<sup>開</sup>有傳  
十二  
卷の信三卷刊引(爲者凡國王真波の傳)





尋義の校條明人付比成方の十二之卷

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

卷之十

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

阮元在在列天一自揚此宋石鼓文成影置杭州府子明倫堂壁向

公元一七九六年

嘉慶三年四月

清江先生詩集卷之二十一

讀書子孫功業於心然必不為人所奪也

此語甚切今日在野諸君子其當以此為自勉也

此語尤切今日在野諸君子其當以此為自勉也

清江先生詩集卷之二十一

此語切實今日在野諸君子其當以此為自勉也

釋例：你效思言言皆在卷之二十一

大德山詩集卷之二十一

平湖清元自序云所著湖光先生詩集卷之二十一

平而弟弟其人犯古文載已錄揚州先生年譜是書

志錄未刊已供重刊編存信稿本之一紙互平湖清元傳授中又一紙在平湖

家卷之家

尋義助梅保晴人住比成寺の十二卷

院元善子刻天一岡栞此宋石鼓文成最宜杭州府字印倫世壁向

野山齋藏書一十卷

漢書陳國中

劉公威

高麗

杭州刊本宋前名功撰石代傳鼎尋三款識二十卷出版

杭州刊本宋前名功撰石代傳鼎尋三款識二十卷出版

尋義助梅保晴人住比成寺の十二卷

尋義助梅保晴人住比成寺の十二卷

明素堂楊士升撰許參照雙而宋書の十八卷刊行

卷之二六五

卷之二六五

卷之二六五

卷之二六五

卷之二六五

卷之二六五

卷之二六五

公元一七九八年

嘉慶三年戊午

永嘉極大頭送康生柏人字徽以著考名

浙江布政使謝君以延陳鍾胡度等撰小學考於杭州又延李學敏袁鈞胡度

等撰經史考考筆文圖因考五篇著遂函軒以實考覽子誠考文

釋例一作政昆字云付登鏡崖山江西南西人

長江七情風雲對

平湖皆元自序其所著湖色先生卷府氏名不暇從清村字案於朱年字伯坊坊

字亦亦常言人犯古文載已錄法揚周之生年位特是書(伊)湖色奇矣而外委云行

志錄未刊已供重刻編存信仍稿本其一藏五平湖為以信樓中又一藏在平湖湖

袁春家

杭州大衆美術館製(四)日臨(內)

皇女玉藻傳 卷之九 三ノ三 皇女玉藻傳 卷之九

宋大樽若香詩傳刊引

寫桑椹杜樊川詩注の卷附外多別系(帝社教書院)寫若山石の事

馮恬齋車系結存十卷刊引

方董山靜居遺稿二卷知不足齋刊本

沈素然五硯齋傳竹十卷又竹十卷刊引(二七の二一八二五)

胡天游石門山房文集十卷竹十卷刊引(竹の二七二六) 山陰

寧波陽容燭台林古今正儀具自通考の卷刊引(竹の二七二七) 湖州

海亭應修塘新藏洪應傳同榜中琴修塘之同張二梅吾古月軒詩

鈔又古物梅子花條ハ此由竹補張州河題乃一夫應傳吾多場字吾は外

善堂拙工記



公元一七九九年

嘉慶四年己未

吳興沈篤初刊竹書文辰造者書畫像三十七卷之存字階毫

西州口布呈運使奉余約以御賜之節考作帽檢本刻針及刻刻之奇暢圖

竹板形其及自宋奉祀之清瓶保凡八十二家

山陰朱保成進士朱允字清以強長園而物在茂產主士政之即之事歷名比而能比  
府知府黃乃階少卷集

錢修陸之成進士入翰林陸女之習字隨心蘭又隨心園由產常授修陸之歷名何而布

詩使

如袁叔修考性係七卷刊刻

皇朝三才圖會卷之九十三

宋大將若秀詩傳刊列

寫集於杜樊川詩話之卷附外多別集(帝杜散著後身採若山有石山書

馮氏勳車家結存十卷刊列

方董山靜居遺稿之卷知不足齋刊本

方杜林之詩集卷之九

西州府志卷之三

宋大將若秀詩傳刊列

桐竹七部書是時竹平烟徐志鼎系嘉康桐竹部之十二卷成書刊列是時子

玉山函前會肥人刊注五十二卷之嘉慶七年任是志令天字若厚厚成水

杭州大東書行館印

評宗彙列形元陽右行考文十三卷

吳憲書撰海寧書院書

黃易小蓬山書局全有之

浦江戴聰成進士戴氏字推素號素中由唐李穀故改戶部之李唐名而中改使

博西毛讓字錫進士入詞館毛氏字錫字號吟樹由唐李穀故改戶部之李唐名而中改使

信樂號小軒又號孝文由唐李穀故改戶部之李唐名而中改使

山陰朱保成進士朱氏字清以號素園由唐李穀故改戶部之李唐名而中改使

府知府夢芳所山卷系

錢休清之成進士入詞林陸氏字留章號心蘭又號心園由唐李穀故改戶部之李唐名而中改使

詩文

好意被修考體保七卷刊刻

成字標名州外考十二卷刊刻

阮夕

成字標名州外考十二卷刊刻





漢州被入學人...

素善七卦萬相實... 信若過坤...

信若過坤... 應教儀賜...

應教儀賜... 表儀呈...

表儀呈... 查之...

查之... 大伸...

大伸... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

計王敬公

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

亦... 亦...

成字標名州北卷十六卷刊行

南經之類此竹修臨小序集素原南經物志十八卷成字刊行是卷今出平  
用之於藏方多刊本

會經 卷之五 卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十 卷之十一 卷之十二 卷之十三 卷之十四 卷之十五 卷之十六 卷之十七 卷之十八 卷之十九 卷之二十 卷之二十一 卷之二十二 卷之二十三 卷之二十四 卷之二十五 卷之二十六 卷之二十七 卷之二十八 卷之二十九 卷之三十 卷之三十一 卷之三十二 卷之三十三 卷之三十四 卷之三十五 卷之三十六 卷之三十七 卷之三十八 卷之三十九 卷之四十 卷之四十一 卷之四十二 卷之四十三 卷之四十四 卷之四十五 卷之四十六 卷之四十七 卷之四十八 卷之四十九 卷之五十 卷之五十一 卷之五十二 卷之五十三 卷之五十四 卷之五十五 卷之五十六 卷之五十七 卷之五十八 卷之五十九 卷之六十 卷之六十一 卷之六十二 卷之六十三 卷之六十四 卷之六十五 卷之六十六 卷之六十七 卷之六十八 卷之六十九 卷之七十 卷之七十一 卷之七十二 卷之七十三 卷之七十四 卷之七十五 卷之七十六 卷之七十七 卷之七十八 卷之七十九 卷之八十 卷之八十一 卷之八十二 卷之八十三 卷之八十四 卷之八十五 卷之八十六 卷之八十七 卷之八十八 卷之八十九 卷之九十 卷之九十一 卷之九十二 卷之九十三 卷之九十四 卷之九十五 卷之九十六 卷之九十七 卷之九十八 卷之九十九 卷之一百

宋

宋

外傳校注

自續書學為序年第廿二十三卷三書刊行有出版

書之絕傳曰士系刊行



年字在右  
百字在左  
一三

余昆  
魚

公元一八〇一年

嘉慶六年

陳明善移居瑞日之桑連在破店後杜及崎江以作桑連在故主文圖

陳明善移居瑞日之桑連在破店後杜及崎江以作桑連在故主文圖

陳明善移居瑞日之桑連在破店後杜及崎江以作桑連在故主文圖

陳明善移居瑞日之桑連在破店後杜及崎江以作桑連在故主文圖

一八〇一年 既先因依行村合文多一の是刊行

一七〇〇年 同寺後古書可考卷畢字海拾餘向共畢大基向本卷刊本即刊

院元撰行一編纂所補造成總共事者第の給銀

新善修書曆六載

徑版畫村一止之亦與榜者寺無中及藏三階位何補一の修版通



余  
魚

此二種阮人創主訪行精舍於永胡第一樓奉祀儒術任換新主延五浦王迎陽

同好余相芝居主傳名于早例撰有訪行精舍題名碑記

藏之於此阮子刻於精舍碑記中附錄其事阮公於六朝志事交交

此子村在系系主訪二卷刊行

他家古周易訪十三卷阮著刊本多版

阮元傳佈行精舍文集一之是刊行

阮元傳佈行精舍文集一之是刊行  
阮元傳佈行精舍文集一之是刊行

阮元撰行一編集所補遺成總共事者第以繪銀

阮元撰行一編集所補遺成總共事者第以繪銀

任版畫對一止之亦與榜有奇集中及阮三繪後州補一以繪銀



御覽

徐  
魚  
混

新編東坡詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五

蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五

蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五

蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五

蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五

蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五

蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五

蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五

蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五

蘇軾詩集卷之五 蘇軾詩集卷之五

成字標名州外考十二卷刊行

一節經之錄... 用之於藏方多刊本

會... 子進... 刊行

宋... 刊行

如... 刊行

自... 刊行

如... 刊行

東... 刊行

如... 刊行

傳... 刊行

如... 刊行

傳... 刊行

如... 刊行

如... 刊行

海... 刊行

學者若有從法記以保亦開選書其文集

阮元等纂重修和州其以志二十卷刊行  
嘉慶二十一年

為朱刊刊畢阮修其以通修二十卷

阮元編輯初稿輯修條二十卷以和州其纂修條阮元修其後日刊刊本版

或子校初本纂其以二十卷刊行

但家名周易條十三卷阮修其刊本多版

阮元編輯初稿輯修條二十卷以和州其纂修條阮元修其後日刊刊本版

阮元纂修初稿輯修條二十卷以和州其纂修條阮元修其後日刊刊本版

阮元撰修一稿纂修初稿輯修條二十卷以和州其纂修條阮元修其後日刊刊本版

阮元纂修初稿輯修條二十卷以和州其纂修條阮元修其後日刊刊本版

任版纂修初稿輯修條二十卷以和州其纂修條阮元修其後日刊刊本版

余鯤

...

...

Thilo

...

121100

...

...

...

...

...

...

...



公元一八〇二年

嘉慶七年壬戌

御製卷五十一

入于... 嘉慶七年壬戌

... 嘉慶七年壬戌

... 嘉慶七年壬戌

... 嘉慶七年壬戌

... 嘉慶七年壬戌

... 嘉慶七年壬戌

杭州亦與人沈宦生之神泉寺倡議將竹枝化城郭照冊新蓋仙安府大城

任版畫好正之志與楞前寺系中夏藏三時凌何補一以修瓜通



公九一八〇三年

嘉慶元年

謝制憲文公...

東林先生...

仁和張鑑為方...

原方內附...

孫金良...

東陽盧炳...

士...

義烏...

平園...

元六〇一

刊本通刊世

萧山何而咸

進士而咸字南義號辛六又號春醒小由翰林院

書士留作爲國修

一

新誠世耀咸進士法文字位心鏡守德山中楊林院書士敬館改吏部之可歷官

廣西左江道

勞躬自苦夏竹出表之九卷留英圖刻本出版

宋林多坦香山是金相文集之卷刊引人法有氏同三年小表於人業刊本

馮陞進士所生文集五卷僅遺稿一卷坊間有卷刊引





唐士愛輯刻像錄山莊詩集有跋云作女徵引並重志及超華山家

李璩唐氏字作梅芳州人

山莊山物錄元梅何朱文梅集赤皮山莊物志三十卷成書刊引元梅何

鼓嶺陳石梅何字名難識  
或上其陸文梅昔

而罪人之面正立文梅安爾錄婦人唐成進士石梅海山人瑋而著人據歙臨

書人已而著人上其全集著人之福本輯著人走去今存原刊本及重圖二十卷

昭其似多事之全集印本又卷第錄有赤皮山莊物志補記俞曾考輯條以圖十

九年印本又元人著其唐所省山莊物志後考舊仍錄本元著撰人

臨歙縣志  
卷之二十一  
藝文志  
詩集

刊本通刊世

蕭山何而咸

進士而咸字南義號辛六又號素齋小由翰林院

書士留作方國修

咸字南義號辛六又號素齋小由翰林院

咸字南義號辛六又號素齋小由翰林院

相御馮氏刊吳甫庭造著又何又也

用以學因說元字天不問人和向修只談及身山人

字禹甫號如愚

阮元阮元阮元同考到行

臨海世軒雪齋老人

想拉兒正衣的  
和向修于二六六  
多利

(Ching-ling)

咸字南義號辛六又號素齋小由翰林院



一九一〇年 嘉慶九年甲子

四錄書刻藏可憐石印本十卷又刻本等類十卷

張值為劉桐編撰其山依藏書目錄

此抄本元修內序志成



*[Faint, mostly illegible handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.]*

台州知府特通河屬郡人洪雲控沈河并鄞縣通商一東湖志三卷成書付刊

今者予刻本

海寧子學計控羊那即學大否多德控空同以鏡仙橋工鏡匠宜亦計另校諸家

世目... 若佳雲輯... 詩句... 曉情軒... 不舛

圖記

院之與... 此... 卷之二... 卷之三... 卷之四... 卷之五...

一... 卷之二... 卷之三... 卷之四... 卷之五...

二... 卷之二... 卷之三... 卷之四... 卷之五...

三... 卷之二... 卷之三... 卷之四... 卷之五...

四... 卷之二... 卷之三... 卷之四... 卷之五...

台州府志

紀一并刊用其紙本墨碑乃其山海會寺(保寺)殿門口甲子移碑於持院中(馬基)字  
東印即人住也印也

武在不知張若惟竹園家物系未度武義物志十二卷成刊自是至今均言增  
物院園多能藏書各刊本又曾宣統二年重印本通行也

姚文甲信及於承十の巻刊刊

全紀外續詩書集三十八巻史書錄借樹山房刊本出版

即書史有以文竹の巻有ん刊刊の巻刊刊

張守冠詩子進著刊刊

陽村河通保東湖志二巻刊刊

日比松後書刊刊初院の如月三巻

如依撰輯臣朱嘉軒子曠著考卷二十三卷三有卷刊本出版

紀文  
● 紀文卷第十四巻刊刊于興亨東

右州大夏三林會

●●●● 若地傳史の巻物迄一巻刊刻（内方光此二十五年丁刊本）

若地傳史の巻物迄一巻刊刻

若地傳史の巻物迄一巻刊刻

若地傳史の巻物迄一巻刊刻

若地傳史の巻物迄一巻刊刻

若地傳史の巻物迄一巻刊刻

若地傳史の巻物迄一巻刊刻

若地傳史の巻物迄一巻刊刻

若地傳史の巻物迄一巻刊刻

若地傳史の巻物迄一巻刊刻

若地傳史の巻物迄一巻刊刻

若地傳史の巻物迄一巻刊刻

若地傳史の巻物迄一巻刊刻

公元一八〇五年

嘉慶十年乙丑

平湖知縣徐錫勳行憲訓導凌翁山知縣謝燦修行人法蹟

陸錫勳胡金烈等呈嘉慶平湖縣志十四卷成書先是知縣凌慶雲嘗屬

人沈國樞撰嘉慶正東嘉祥邑志是延聘人任何煥浩撰續用錫朱為副閱色

修成一卷上以存以備重刊有志一採而廢云云去未及付梓是

由知縣知修為脫一紙取此為據以成此修慶雲字生甫號許橋口蘇嘉定人乾隆五十

五年進士慶雲考進德清嘉慶元年調平湖旋云三年九月授任由山撰嘉慶初上府修

建寧府志字云云文有補志少修志七卷修志是此序以人嘉慶六年由山撰

湖立任二載多象山字亨也與後夏乾隆之末字乙嘉慶九年任燦性云辰子人嘉慶

七年乙丑年任何煥字祖聖號素菴父榜十字者合名號步健字勤鈔書嘗為蘇松

楊州知縣到十三任考拔年之五有修志之卷何煥乾隆五十四年拔第八級撰字振

隨乃庵乾隆五十年至人曾任在任時未嘗廢也從祀吳淞縣縣志用錫字

國札行字手馴美譽為兩作也大彼苦力  
錫紙嘉慶十六年優異八室之字明書法  
古考況以此教正其行

蕭山感意山道意隨登白塔進士感火字鳴和說崖紅山由橋坊院唐書士核協修歷官刑

科修中後降降何字火字礪片隨聖新山由產吉士改神印之事其考伯重去

庶務文集

烏程辛由金成進士入翰林主名字佐人漢華比山由產常公佐及為修

儀故也稱澤和和張克意同於進士蘇火字舍人隨音山山由產常刺佐授以何外任山志

青州岳山付廷良字心宇一作射舍山由產常收佐歸派

元事文房推老字子信十卷蕭山陸芝茶樓考異一卷陸良之向事本刊本出版

世與七孫那謝付壽介儀大折尋系壽原書豆袖正二十六卷成書刊行共系刊本全均年培

物位周書必及之長九年五五屋之賦一快



國札行字年刻英管為和信明大信市者  
稿紙嘉慶十六年後英人官立本四書記

著山威名山莊書院發白橋進士盛長士鳴和說崖江由由梅村阮慶士校協修歷官刑  
科修中後降降修字以字稿片隨聖軒由由卷士以神印之事若若伯重書  
庶詩文集

烏程辛世金成進士入翰林主名字信人說華比由由卷本公信及信修

杭州夏日軒刊諸以譚輯修父子多十卷出版

吾矣朱棟二校修稿の卷初稿一卷陸息山藏刊本出版

丁崗現校修稿の卷書歸辛市刊本出版

王應麟玉海二萬卷原書四以字刊本出版(風書光緒九年州刊本又以此書

書明同字空系清書皆情札修字系通修本附的寫修の書又附刊之體



公元一八〇七年 嘉慶十二年丁卯

天恩正...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



宣平居永熙五十三年進士官明此上受上私祖世成字宗子後介為乾隆十七年一人  
官直隸涿州知州雲暉陳北峯而友學自字祖母之陰胡氏天游於世持信行史父紳  
字袖湖原名何字去泰乾隆間家亦能詩論與弟志結志初自相師友世居湖墅  
徙城東似暇耕老雲文山東草如私林能世擇勤行讀史著有鐵樵文私槐陰執  
著書以文行著行補証行文著集書研湖依詩稿二十七年志巧字氣例  
一少仲茂嘉慶二十四年應夏模章隨利道主講梅青中晚二十六年著有補衡志  
移配湯湘芷山隱修亭同鄉人風工吟詠任人情多集中有共行而古伯如陳云之度時相仍  
和志初字二叔原院而米園送七十七年一至八官而安刻論跋於任有少書稼穡  
齋稿

王樹樞字子樞湖南人官至江蘇按察使

王樹樞字子樞湖南人官至江蘇按察使

洪雲璈局抄本卷之三十三卷刊刻

此係  
辨正村集定為兩度卷十二卷成刻刊行兩度此句此係是志今此年用也

修藏方宗利本又十元國十一年章印本通刊也

家字做家陽却度馬信書者著以年經緯表一卷欲完之卷唐仲冕刻本出版

口玉玉樹為家為兩信志略十二卷刊行

此乃子及劉公誥勞信文圖國本宗政得信於之代史以孝子方行女古刻元端

而布為人曰控觀新之何文補注以善氣由卦女挪注以善老命瓜性候成一自來

風情既振潤年極過臨以一八三年元意又據揚州文匯同年加心碧心高

凡三易稿云

宋詩何爾孫新義十卷三向年通鑑陸氏刊本出版

宋詩何爾孫新義十卷陸氏刊本出版

宋詩何爾孫新義十卷陸氏刊本出版

宋詩何爾孫新義十卷陸氏刊本出版

公元一八〇八年

嘉慶十三年戊辰

州佳子

一七三六一八七

嘉慶十三年戊辰正月... 嘉慶十三年戊辰正月... 嘉慶十三年戊辰正月...

一由由達一即... 一由由達一即... 一由由達一即...

齋... 齋... 齋...

中國... 中國... 中國...

君... 君... 君...

詔... 詔... 詔...

張... 張... 張...

五... 五...









公元一八〇九年 嘉慶十四年己巳

阮元重濬西湖以備農田水利仰用所挖土聚壘於明心亭之西世稱阮公墩

阮元創主杭州靈隱寺藏板西明堂法堂經書大殿東大悲閣後自為撰記備大興葺方綱書其藏書以唐人書卷樹制其堂號詩字備瓌

鄭黃定文以揚州府同知告歸予武裕於宅後學士橋預構息園為父退休之所中者今是橋公黃伯於官藏書人種此以半族修書身日就歎與定文字仲友送東井與汪子武同考有藏書印記式同一石相好

為書一七〇

一八四有一條

涉以之新謂布陳法林屬也

徐姚黃繼文等去歲瑞五社志十卷成者刊行

續文

續文

子仲治後平蕭曉院銘石

山人繼者弟乾濟五十四年等入廿六瑞安銘子刊述可與似似生有候是教論文

都初僅述刊等子作陶及林金余一仲勉信兩朱律洪守一守七人其書大政

義例詳整梨洞得中於舊志處讀亦聞有什心在温州者志中而為極其今石

刊本（續文）而若亦有碑石之考待待後守一字重之一字他人疏疏序自疑所

原曰據花表合若等詭乘控造借立論並有傳本其請集四核以漢華

著山何炳修規余區合校潘極烏志受同於進士俱是庄常任氏字允疑疏實士

山期時陳之學方不立而之族金氏主常添疏場度以故後二以之少言正而廣其全

便漢父字印漢疏亦不又疑一某小對估以戶部之事官以廿未言及志馬氏上得標

疏查庭山期飲以刑印之口官立言南道而道

錢隆孔侍倫中全誠第一又翰林孔氏字以疏夢疏又疑爾園山由陸吉士據傳何

外任疏建都武府志

山期明山吟味第刊刊  
儀行臨明或進士入詞始陽氏字又義疏手核以由應常按傳何歷云通時使未識

降身姚據政進士姚氏字幸侯疏曾華盛年崇峻數修改湖前而心疏之核

明卓致卓忠朝公遠務刊刊（山考一九二九年石印本）

表表校標石經玉著考及字字十之是相考以有刊本與版東其街館製（四區區印本）

公九一八〇年 嘉慶十五年庚午

三月行字彙止水齋一版書目保刊行

雲和紅紙法江策不字什表底中不和和名三三若成表刊  
付  
以字字字意意脚此

興西人嘉慶丙寅川進士授翰林在任迄丙午

版日折前分一... 興西人嘉慶丙寅川進士授翰林在任迄丙午

興西人嘉慶丙寅川進士授翰林在任迄丙午

興西人嘉慶丙寅川進士授翰林在任迄丙午

上卷目錄全程馬步曉四卷進士三入編世後代子西未疏七回四日類於接備

義例詳想梨園得中於舊志底讀亦謂在什心在湖州者志中亦為核美今在

明宋徐運者宋文公志全卷之十三是吳郡志亦宋刊本也版刻本

何の老全事補字子作

生有季也の十八年

明嘉靖

吳興茶字也重竹<sup>別</sup>本情部元釘等最較兼全全付七十の巻出版

沈登及山和依政一

公元一八一二年 嘉慶十六年 辛未

餘姚黃隆量自編五桂樓函書目錄一卷官成之冊黃氏父子或登陵石泉所

居果細領曰七十二卷半卷藏書五萬餘卷著身姚氏古直任四明老翁任子聲

寒子仙燕龍並書後漢隆藏書第什卷孫研德字朱瞻張方軒曾孫家園凡歷

四世守一勿失其後有校少者言本多厚全經由化也而世所製卷者每終書勿據

臆勿折前勿以子傳字勿以重揭幅勿以作枕勿以夾刺隨於隨修隨閱隨掩列

書傳之六三十六字朱文方印 与隆量同鈔同的書呂迪 桐芹迪 字長吉 號履山

工詩善書有後山山房什稿七卷芹字晉莫號白水工詩古畫淡古布山自著所

居曰家軒筆卷

上卷傳錄會程馬出讀曰卷進士並入揚州錢氏子西來疏心細細致性後傳

一六七〇  
前一修

卷之二七九

美術研究會編輯部編 杭州美術館印

杭州美術研究會 杭州美術館印

杭州美術研究會 杭州美術館印

杭州美術研究會 杭州美術館印

杭州美術研究會 杭州美術館印

杭州美術研究會 杭州美術館印

杭州美術研究會 杭州美術館印

杭州美術研究會 杭州美術館印

杭州美術研究會 杭州美術館印

一九二一年

杭州大東美術館印售

教者内... 古今考

太平公... 太平公... 太平公...

威字梅... 威字梅... 威字梅...

望杜茂... 望杜茂... 望杜茂...

保身... 保身... 保身...

英茂... 英茂... 英茂...

於... 於... 於...

史... 史... 史...

王... 王... 王...

神... 神... 神...





（此處有模糊之文字，似為書名或卷數）

（此處有模糊之文字，似為書名或卷數）

（此處有模糊之文字，似為書名或卷數）

（此處有模糊之文字，似為書名或卷數）

（此處有模糊之文字，似為書名或卷數）

（此處有模糊之文字，似為書名或卷數）

（此處有模糊之文字，似為書名或卷數）

西華知林仙實煙牙修花學榜等至本處中其志四十八卷三

刊引是去今存存刊本及走傳九年刊本民國六年新嘉坡情亦刊本

沈<sup>德信</sup>並呈呈本處新刊本後後志八卷成刊刊新刊本自明洪定刊本

者有過此亦作其多刊本今時不用其作及及及七年並產文疏一

相印金檢文瑞瑞多目十三卷刊刊竹讀生書業由本刊刊

上查傳錄全程馬步曉曰及進士並入榜本條火字西未疏少四小教情接歸



公元一八一二年

嘉慶十七年壬申

一八一二  
嘉慶

十七年

字載又一八一  
近似之一六一

海寧王德信曹字載同撰硤川卷之二十卷成書刊刻海寧縣志此二十卷者硤川一石  
 紫微山唐白居易堂記此因以共穴名之而以相夾中道以流城曰硤石亦稱硤川山之東  
 有硤石後寺去與相仰之距接界元置校務以此明初改稅課自算里行內所為高崇  
 祭殿一在流北而佛塔一在香村人潘廷辛拓殿一在硤川一在硤川一在硤川  
 是志日○○○○今此平用古儀祇有刊本德信字商所誌松考廷獻孫共傳也  
 志未詳卷而致子商所傳成一節可字仲六號宋宗  
 杭州天○漢古志處刊清釋教額額額作是是行古義十卷  
 施因於全信○記二卷又刻一卷刊行均史傷文卷



改知縣嘉慶十六年未過到任受之暖村即其人乾隆五十二年舉人自嘉慶四年舉  
解十載以字明吾武康人乾隆五十二年舉人字名武英故極保自嘉慶十一年未及封

官

~~嘉慶十六年未過到任受之暖村即其人乾隆五十二年舉人自嘉慶四年舉~~

解十載以字明吾武康人乾隆五十二年舉人字名武英故極保自嘉慶十一年未及封

解十載以字明吾武康人乾隆五十二年舉人字名武英故極保自嘉慶十一年未及封

解十載以字明吾武康人乾隆五十二年舉人字名武英故極保自嘉慶十一年未及封

解十載以字明吾武康人乾隆五十二年舉人字名武英故極保自嘉慶十一年未及封

解十載以字明吾武康人乾隆五十二年舉人字名武英故極保自嘉慶十一年未及封

嘉慶十四年  
第一條

杭州大泉美術館製

杭州大泉美術館製

杭州大泉美術館製

杭州大泉美術館製

杭州大泉美術館製

杭州大泉美術館製

杭州大泉美術館製

杭州大泉美術館製

杭州大泉美術館製

杭州大泉美術館製

公元一八一三年

嘉慶十八年癸酉

欽定四庫全書

相慶徐元神選按五生徐元家淑格書作直造言詹与蕭田郭方克齊爾各小楷  
且或勝

嘉慶十八年七月十三

嘉慶十八年七月十三日詔旨  
嘉慶十八年七月十三日詔旨  
嘉慶十八年七月十三日詔旨

嘉慶十八年七月十三日詔旨

嘉慶十八年七月十三日詔旨

嘉慶十八年七月十三日詔旨

嘉慶十八年七月十三日詔旨

嘉慶十八年七月十三日詔旨

瑞亭朱德輯刊江右鄒之撮著虞木后詩集出版

清江先生集全書用山房注刻精切并書版

寧波之李正印刊吳璠著臣病獄六卷第一卷（此書之志十三年前李正印刊本）

子方及同成平以名之為石印年氏同三十七年上編卷之三十九（即李）

某山居人刊本刻子塔隱位八卷賦收仲釋文二卷多版

咸字探微集之竹三卷文竹續進九卷刊行





定文事重  
凡一八〇九

黃定文檢刻而上三志造聖於石所刻為陳良謨儀弄崇張煌之三

書蹟在儀張二公初必壁上

即黃定甫以前上名人之蹟在壁刻石印世凡此世也等二十二家書蹟

二十九種內三札為吳同老所派外竹皆出諸黃氏黃氏主楚生

玉環林芳成進士林氏字克錫號楚生楚生歷亦以此為名山而怪而石移之新

嘉興海鹽人自楚生居於大官樹前號曰蘭林其後因入新寺寺名楚生  
嘉興字未遠去自楚生進士華氏字子嘉有儒範授文楚居湖州  
○標○○○○○  
○致○依○於○七○氣○歷○矣

唐朱精輝也

會稽吳傑成進士入翰林吳氏字年士號仙果小中唐帝授國子監文行左侍郎

西安余夙崎成進士進差率命吳子權國鏡伯文又鏡以難及致伯以之事居文子卿云

北郭若中柱國陵華

婦安王兩成進士入詞館王札子洵一送前仰由庄年接兩條應之本僕寺少仰

元柳實柳待制文集三十卷此條一卷柳放歌用茶於殿印行

屬傳控是初卷第十の卷二卷八卷印後後陰切二卷刊行

寺字外撰集集集の題考考初後七卷七十三字楷合刊本出版



公元一八一五年

嘉慶二十二年己亥

相敬以務未修修入五部使致修修秘致海舟不集字一及五部因行院  
 中秘丁制乃就石集寶及而無改書而輯考一或所相查使修三卷(石集  
 兩相三校修)又徵說元石集德華而作一得列紀的書之又得布蓋敏用家  
 考之考

九月平陽縣孫瑤以所藏字南宮看卷之山水佳蘭竹亭室以帳畫冊出亦其同知

華文

一七七七一八二二

友人華文勝一錄氏字仲璉號石像外詩筆作數大尤二表刻后雅山為京德賜詩  
 真別業造址三山十放付而山畫園吳中雅山房以山深其於中園古壁榻供而購流  
 宴名者恒於月夜數書度十中十卷之叙紛紛延信改而列杜而將之矣十五年己亥  
 湯本同湖北進自益而為吳之閩里上峰山觀者形不列不列登魚山極古俗三怪  
 仍行不遠十七年同湖之泰信信品之考家秀植而作錄古編列其而考古雅山房  
 印是信多印本の冊心知造一經稱其且日泰信學其信非文何以下其改行佛云





Handwritten text at the top of the page, possibly a title or introductory notes.

Handwritten text on the right side of the page.

Handwritten text in the middle-right section of the page.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text in the middle-left section of the page.

Handwritten text in the lower-middle section of the page.

Handwritten text in the lower section of the page.

Handwritten text in the lower section of the page.

Handwritten text in the lower section of the page.

Handwritten text in the lower section of the page.

Vertical text on the far left margin.

Small circular mark or stamp at the top center.





... ..  
... ..  
... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

(子 四日) 宛 宛 宛 宛 宛 宛 宛 宛

...

... ..

其...  
...

後...  
...

如...  
...

初...  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

六〇三九  
新文

蒙初同著序仔細辨十二卷借石版所刊本出版

新文初印本

臨海宗氏刊馮超又自臨年二卷

法昭經平律依諸御覽表修二卷刊平律依

平明方如十道山依吹平二卷刊外

舒位歸水齊詩多上表列年二卷刊外(仙舟史傳十二年刊本)

施回祁書久居暇明刊行

館址即撰說多解本序序正字二十八卷刊外(民六中重刊本)

一七三九

公元一七七年 嘉慶二十二年丁丑

嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑

嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑

嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑

嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑

嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑

嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑

嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑

嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑

嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑 嘉慶二十二年丁丑

卷之六 雜錄 五十六

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

公元一八一八年

嘉慶二十三年戊寅

黃巖全應揚送恩堂生全衣在牀牘一字君送隨字侯博定序者而心精克天

文律不子字若方產之徑子可鄉二君又著信宜履付初制者有口如王若未

本校竹本一冊今序之右撰家藏

二一七

家林堂子

結與子若以辨辨郭慶齋名矣仍被序之為重核約崖下秋思語甚稱者一也

所考又次海匯日記沈氏之東助自若字信亭主人一此條不似以信今是藏所改

冊中少考時名八序又廷詢甚多

一八三  
一八三八

此本全應揚送恩堂生全衣在牀牘一字君送隨字侯博定序者而心精克天

此本全應揚送恩堂生全衣在牀牘一字君送隨字侯博定序者而心精克天

此本全應揚送恩堂生全衣在牀牘一字君送隨字侯博定序者而心精克天

便一觀

...

...

...

...

...

...

...

任如倪福孫堂之烟柳夕暈中携青一簾中秋思傍一夢流詞西道花外約過區勝

的以於務本則友此儆特一獲極泉成已落心魚針臺也上借談而手錄一院化手

製民說來樓引吾夢臨子或云在姓凌志介山人祖一羽在字廷中二字筆農說嘉樹晚年



失明自述不亡思史祖母某疎菊字級九後香及和的書書古今才媛詩句成段與詩

明倫彙編家範典卷之四十五 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人

婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人

婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人

婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人

婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人

婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人

婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人

婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人

婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人

婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人 婦人

一五子世女流陳字印  
結石石大其家  
至女其世王印其日  
新為其家世傳

一八二  
一八三

便一

...

...

...

...

...

...

古錄本一册...

...

仁如倪稿... 夢... 二卷

...

...

失明自述不亡目也史祖母某疎菊字級九疏香及和竹去去古今才媛詩句成後與詩

五十餘首世仙竹一乃首為國吟集卷一冊又輯明以來列婦奇蹟見傳考成坤維

正氣條十卷父應之一作印之字小行

福如千三十餘卷佈業而為道出此山所全射回考金石工及錄書其書前尤擅

信於五若江轉轉郭慶齋名美仍樸序其為重傷的崖下秋思語甚稱者一也

所考又有海匯日記沈氏之東助自署寫信亭主人一此條本似以的稿今並藏附後

冊中亦有時久人希文題詞甚多

一不其定... 此... 卷... 刻

此... 刻

海... 刻

一... 書... 卷... 傳... 刻... 年...

伯芝吳竹樓續錄年條の是刊幼教年條の條外予亦之條外所載の卷條等

為刊

昭海堂刊宋林表氏書或系十八卷

丁未年之用書條の是刊行

是宋美湛園詩稿三卷歲實刊本出版

宋會好經文辨字正俗八卷刊行（此の條外予亦刊本）

永善王錫漢中書人三氏字仲玉二子慶任著雜言堂卷能游教語

公元一八一九年 嘉慶二十四年己卯

永春府知府宋廷選因交生治人字用新工書及畫山水南竹

兩卷今之依以奉頌全市文五十便五万的冊送藏文閣白

陳春為明內樓黃香刊刊九二十的冊

御書卷平... 札...

...

嘉慶二十四年己卯... 御書卷平... 札...

...

...

宋徽州縣...

...

...

己卯年



卷之五

楊士奇  
八の八月

臨川金... 卷之五

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...





公元一八二〇年 庚辰

文淵閣書<sup>四庫全</sup> 臣檢書 編造清冊五本 每冊首<sup>餘</sup> 寧<sup>經</sup> 司陽 謹合 璧閣防

宸 封 面 題 嘉慶二十五年十二月日校<sup>所</sup> 承 辦 人 吳 錫 鼎 協 司 事 某 等

敬 送 每 目 下 多 標 定 缺 及 有 無 提 要 於 某 年 某 月 某 日 某 人 某 書 某 卷 某 冊 某 頁

寫 本 今 藏 於 此 者 之 用 考 飲 又 任 物 別 從 修 興 傳 火 甚 恩 商 人 購 得

一 部 亦 五 冊 封 面 及 各 頁 特 建 的 蓋 而 此 口 南 都 轉 運 運 使 司 一 即 尚 學 公

壁 閣 防 內 審 視 若 一 種 別 有 異 同 但 無 年 月 可 考

張 鏡 自 本 次 所 撰 書 物 序 碑 目 考 四 卷 而 刊 行

詩 餘 亦 小 子 三 山 山 山 書 亦 三 傳 學 堂 自 傳 其 藝 曰 書 乃 上 等 次 文 法 一 本 之 說

老 年 其 女 少 妻 印 子 寫 似 不 法 似 街 即 丁 敬 善 宅

長江煙管と新紙八巻刊行

武林談山志刊蘇坊海臣等成の上二巻(皇文樓集造出版)(江戸老紙十の年出九月刊行)

江戸老紙十の年出九月刊行

蘇坊海臣等成の上二巻

蘇坊海臣等成の上二巻

蘇坊海臣等成の上二巻

蘇坊海臣等成の上二巻

蘇坊海臣等成の上二巻

蘇坊海臣等成の上二巻

蘇坊海臣等成の上二巻

錢氏俞根叔正士入梅林命其子吳從雲世進不夫士效於公族為侯侯所歷者固南樹亦  
柳道夢梅家後進惟其學印以命其同族之同鄉人金文生字在東院居山休中是士效  
張以和社

和合金石不取進士金文生院舍錢君亭又號城山松在院產去士效始改之為唐之  
湖北竟陽府石府

平湖陸如陸阮同行進士進產常以烟室寫冊錢遂郡北刻竹以和阮字冠冊錢也  
江山製竹改以布字後和之款若女一時桂書於案

杭州病後室原字年七十餘（牛其乾隆十五年戊午）宋氏字帥幼錢芝山又號  
倦廬山西安邑人乾隆三十九年修夏官國子監學正以金石考據尋覽刻之  
詩餘亦少子山山未盡亦之信其堂自解其藝曰畫乃上精於文法一亦文也  
老手其其少妾印子寫法和法以街即丁敬房宅

武經總要卷之八卷刊行

武林謠山志刊蘇詩傳注卷成之二卷(皇文後集)出版(日本志林十一年出版刊行)

新刊陳蔡變成道士法也于建東從度士選秘林院在寺士以刊成以之字

新刊相經成道士入初垣切也字通雅從編序選度帝以授傳行

著山素學醇成道士入梅苑表也字若思二字心醇淡而帝以由度帝授梅切

仁和若經原梅刊最之與進若爾張巨卷二十卷

胡留大子與真七卷刊行

春明堂備後齋全卷三十一卷刊行附管瑛膠南遠文二卷

又後莊別錄同時刊行

張作楠翠微山房校字表卷十卷刊行

公元一七九六至一八二〇年

嘉慶年間

呂仁仲鎮川麻子家叶氏子玉樹麻中嶺曰若依程字點劫丹銀蒐討之

力于新也... 國信... 是運... 時... 出... 弟... 而... 為... 積... 子... 台... 稱... 力... 林... 是... 也... 子... 力... 林... 運... 也

富陽展板編解又子者兼雅學列工刻印... 富甫父元倚之五長好善

書畫里全名板守... 世... 中... 武... 道... 法... 志... 也... 國... 郊... 女... 凡... 處... 凡... 字... 子... 似... 于... 好... 十... 能... 披

佳格物... 年... 四十九

杭州病瘦字孫字年七十餘... 宋氏字仲初號芝山又號

倦... 函... 山... 西... 安... 邑... 人... 乾... 隆... 三... 十... 九... 年... 傳... 受... 官... 國... 子... 世... 學... 正... 以... 全... 乃... 考... 據... 善... 學... 列... 之

詩... 能... 休... 小... 子... 三... 山... 水... 畫... 亦... 工... 傳... 歷... 畫... 自... 傳... 其... 藝... 也... 畫... 乃... 上... 精... 次... 文... 法... 一... 宋... 又... 吃... 一

是... 年... 其... 女... 少... 妻... 印... 子... 寤... 公... 和... 法... 以... 街... 即... 丁... 敬... 善... 宅



子敬公女直覽

妻與少神芝時隨李重金在秦山山主室甫父木子看巖研以子

以地支十二分都冬十卷由子克刊白書以分書以寫書神芝之樣碑版由父持繼以成于神芝

作書真擅行草多致神書子拙死亦工刻印所戲糊多結構是像

郭之彬以書書定之相也子使阮元之另阮著人士所折卷之長言欲詔張

保蓋

...

瑞生恭家杖以書字亦以名亦以手印圖

...

...

...

○ ○ ○ ○ ○ 乃 仁 德 我 欲 之 以 藝 事 之 長 也 因 此 因 此 因 此 因 此 因 此

○ ○ ○ ○ ○ 仁 德 我 欲 之 以 藝 事 之 長 也 因 此 因 此 因 此 因 此 因 此

○ ○ ○ ○ ○ 仁 德 我 欲 之 以 藝 事 之 長 也 因 此 因 此 因 此 因 此 因 此

○ ○ ○ ○ ○ 仁 德 我 欲 之 以 藝 事 之 長 也 因 此 因 此 因 此 因 此 因 此

○ ○ ○ ○ ○ 仁 德 我 欲 之 以 藝 事 之 長 也 因 此 因 此 因 此 因 此 因 此

○ ○ ○ ○ ○ 仁 德 我 欲 之 以 藝 事 之 長 也 因 此 因 此 因 此 因 此 因 此

○ ○ ○ ○ ○ 仁 德 我 欲 之 以 藝 事 之 長 也 因 此 因 此 因 此 因 此 因 此

○ ○ ○ ○ ○ 仁 德 我 欲 之 以 藝 事 之 長 也 因 此 因 此 因 此 因 此 因 此

○ ○ ○ ○ ○ 仁 德 我 欲 之 以 藝 事 之 長 也 因 此 因 此 因 此 因 此 因 此

○ ○ ○ ○ ○ 仁 德 我 欲 之 以 藝 事 之 長 也 因 此 因 此 因 此 因 此 因 此

○ ○ ○ ○ ○ 仁 德 我 欲 之 以 藝 事 之 長 也 因 此 因 此 因 此 因 此 因 此





後漢書卷之十卷刊行

成子林著世灼訂部尔文修漢道八卷刊行

後漢書之史曰名錄三十九卷叙傳一卷刊行

改之曰浙江詩海十卷刊行

皇不運刊者岳歌者岳志武之集八卷附年譜出版

洪作梅撰翠樹山方數子十卷刊行

吳得祇者正味齋詩文約并外集凡七十三卷刊行

表叔著石韜玉雲書文彙正十卷附補注約十卷刊行

蘇乃向歷代史志三十三卷後六卷各系同刊本出版

趙師撰蘇乃向十卷刊行  
精會會集同十卷論制核刊本出版

謝安著尚倫の明正集卷十の卷刊行

謝安著尚倫の明正集卷十の卷刊行

支  
白  
手  
叙

約  
二  
六

杭州大東美術館製(四日)

杭州大東美術館製(四日)

楊芳文  
 卷之二  
 卷之二

公元一七九六至一八五〇年 和康道走午間

楊芳文

...

...

...

...

...

...

世興王 沉以書畫控長王人勳名原字亦山號竹柳書工保竹字島仿字人

年孫世芬字林一號桂芳亦工書畫梅以金俊川了神那

卷之二十一  
十一  
十

書經卷之二十一 欽定四庫全書

卷之二十一

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書





公元一八一二年 道光元年

上虞縣改底多查方志、撰修火之元、述、理、博、村、居、方、志、新、編、書、典、河、海、堂、函

相、謝、禮、方、虞、村、志、如、增、補、成、歷、村、志、虞、村、志、十六卷、而、取、自、保、古、而、而、行、也

古、理、始、年、以、什、也、多、檢、修、新、志、五、年、刊、行、二、考、上、虞、全、志、志、與、一、是、地、居、生

世、中、會、而、不、多、不、編、一、以、不、不、不、者、少、方、志、又、志、首、多、志、于、終、以、後、長、而、新、志、有

下

新編上虞縣志

新編上虞縣志卷之十一

序七條十二卷一全、修、著、于、志、一、今、修、華、七、五、用、多、所、而、考、後、改、撰、上、虞、縣、志、未、刊、稿、稿、志

山陰杜氏院花宗塾重刊宗知地州事新考北地、一、所、臨、合、程、撰、英、德、第、二、十、卷

魏任馬松... 卷六... 德不... 卷六... 德不... 卷六... 德不...

... 魏任馬松... 卷六... 德不... 卷六... 德不... 卷六... 德不...

... 魏任馬松... 卷六... 德不... 卷六... 德不... 卷六... 德不...

朱昆田留徑十卷刊引

瑞英... 魏任馬松... 卷六... 德不... 卷六... 德不... 卷六... 德不...

原乃... 卷六... 德不... 卷六... 德不... 卷六... 德不...

... 魏任馬松... 卷六... 德不... 卷六... 德不... 卷六... 德不...

... 魏任馬松... 卷六... 德不... 卷六... 德不... 卷六... 德不...

... 魏任馬松... 卷六... 德不... 卷六... 德不... 卷六... 德不...

... 魏任馬松... 卷六... 德不... 卷六... 德不... 卷六... 德不...

... 魏任馬松... 卷六... 德不... 卷六... 德不... 卷六... 德不...



公元一八二一年

道光元年辛巳

上虞錢改應者查方正、柳儀、火子元、沈學村、唐文、西、王、彭、論、書、典、詞、詩、書、南、  
明、謝、禮、方、虞、詩、事、而、增、補、一、成、歷、相、上、虞、詩、事、十六、卷、所、收、自、得、之、風、而、行、之、勝、  
古、理、物、事、而、以、什、尤、多、獲、餘、疑、於、是、志、十、五、年、刊、行、又、著、上、虞、金、石、志、一、卷、杜、君、生

一八三五卷



越中金石記多采編（此外有明書者以房詩文集首多若千種）與儀、火、同、外、亦、有

謝、聘、建、儀、以、後、輯、信、朝、上、虞、詩、事、十二、卷、著、者、吟、美、佳、詩、集、十四、卷、又、有、沈、奎、字、子、

聚、後、仙、原、一、名、法、昌、堂、後、合、梓、海、吟、堂、沈、家、沈、官、所、著、奎、得、縱、覽、以、其、各、邑、乘、亦

詩、甚、多、作、差、之、刊、誤、五、卷、廣、集、刊、補、十、四、卷、傳、補、十、卷、而、改、又、謝、某、命、延、顧、王、龍、岡

亦、有、補、刊、奎、所、著、者、亦、有、尋、珍、齋、詩、文、集、詩、集、廿、一、次、刊、行、首、中、一、乘、字、海、山、為、方

虞、州、錄、十、二、冊、一、知、係、萬、千、惠、（今、係、華、七、字、用、之、版、所、有、錢、改、撰、上、虞、詩、事、未、刊、稿、稿、者）

山、陰、杜、氏、統、志、宗、塾、重、刊、宗、知、地、州、事、新、喻、孔、延、（所、係、合、程、撰、英、德、集、二十、卷）

拓圖之一八三五  
及八五三

卷之...

此經... 卷之...

此經... 卷之...

此經... 卷之...

此經... 卷之...

此經... 卷之...

此經... 卷之...

此經... 卷之...

1. Kumbhacala

此經... 卷之...

此經... 卷之...



臨本因刪方文字之微沾卷系后亦似有卷全卷義文篇者以辨其子能結号者

者者王淑少依竹羊八卷之竹一卷今有竹本當冠釋明代竹抄本後依竹本

叙之遺稿三卷之書其竹本當冠釋明代竹抄本後依竹本

者得為行教陳殿典、子堂出此真山者澳初所出也其書之依生平者生到十餘十九

後文以行其同卷一卷十面粘考解一卷古經廣釋一卷三篇竹其立通行四卷係

禮古今文釋の卷三信異文以竹二卷考竹世本固考六卷厚行集說二十六卷應

太子統歷代年表三志年譜(開必義老忠兵岳忠武)武林系宅考吳與房宅考卷三卷

及正梁勳の及抄著一卷晚年日易軍又成多此行以存拜吳中稿卷先世五十年

楚名傳

似科拾書伯中世竹平人拾也

似科拾書伯中世竹平人拾也

似科拾書伯中世竹平人拾也

似科拾書伯中世竹平人拾也

似科拾書伯中世竹平人拾也

似科拾書伯中世竹平人拾也



洪儀序人乾隆五十三年舉人嘉慶十三年乙未三月廿三日任是王如中於嘉慶十七年正月廿三

年三月任滿於嘉慶二十三年正月三日任是王如中於嘉慶十七年正月廿三日任是王如中於嘉慶十七年正月廿三日

修一卷今存刊本

石門知縣鮑維禧錄字敏詢闕材藥訓等語現補送銀竹滿文格等案道光

石門縣志二十六卷成書刊刻維禧字對字說類亭山東新城進士嘉慶十五年

祥正一六〇附  
傳又一八二〇

〇又

月氏抄本刊原形連史於道二十の卷附記手表多版

珠板撰色十篇人做信信楊藏書也

山陰杜氏院表宗塾刊本宋新喻孔迪一函今摺撰英德多本二十卷(宋英康用

明今摺撰英德多本二十卷(宋英康用

今摺撰英德多本二十卷(宋英康用

月氏抄本刊原形連史於道二十の卷附記手表多版

一七三九  
一八八二  
一八八八

是州八年嘉慶三年同補竹本

編字



洪儀所人乾隆五十三年學人嘉慶十三年廿三年任是王如事於嘉慶十七年正月廿三  
年三月廿三日於嘉慶新鄭三志一紙後德儀以之後以諸書所載不問事者待考行以爲辨  
併一卷今存刊本

重校於嘉慶二十三年六月廿三日  
字雅芬  
九  
延壽  
九  
九

使官係夏使由使漢書

批文四道指中多十卷  
文多係編一卷以臨子使官刊本出版

月氏抄本中則原到連及於道二十的卷附記手本多版

張伯撰也十萬人謝使信情務最著也

山陰杜氏從表宗塾刊本宋新喻孔廷一臨今摺撰英法多本二十卷(宋英康用)

明合摺撰英法多本又卷子何物事

今摺撰英法多本  
六十二卷  
是四十年志錄三光同補行年  
是四十年志錄三光同補行年  
是四十年志錄三光同補行年

月氏抄本中則原到連及於道二十的卷附記手本多版

02  
03

一七三九  
一八八二  
一八八八

似伯常氏刊馮楚樓考三卷

意似盛女士漢陳國強系十三卷刊行

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...





修伯常氏刊馮楚樓考三卷

多假盛女士漢隸圖印卷十三卷刊行

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

餘統揚家拓送恩先生楊氏字向春阮雲垓又陸大滌山人父華國字子之祥

皆蘭社社人仲達之從孫

西湖吳州館印

子行倫光詩  
三折甲五

疏鶴亭詩家就著清疏雲榜文卷十六卷詩集三十六卷雲境詩

二西卷卷名草平解任係以卷云倫樂事卷八卷

官湯用恒選思生用疏松卷三官亭坡教授月少竹卷李曉桐教

子以之卷子之六冊卷字呈進院之訓以諸生卷及幼印多卷恒一日成三

甲乙卷三三自奉祀系行一守卷日佰表同云云

乙未三月任己未八月二十月再任廣中亭商三任壬戌己丑十月午於官時

補循吏訪事字務國太原人平人職任埔字南坡口一補星野人申書選光壬午己酉成

任雲取蘇子乳山隱象長官清一旬名共中曰保清安吉先營於赤屋己未十

一月來署勸職數月疏名何北建於嘉慶休祀補是是古今多任奉

全華知縣考金屏竹士林松王景道是金華物志十二卷成書刊行是志今存

原刊本及光緒二十五年重刊本比國印本

仙傳第11行馮楚樵考之卷

皇朝盛士漢傳南地集十三卷刊行

德清蔡慶頤成進士入翰林蔡氏字全和號雲士遷居士山以制飲後仙傳序內同  
侍讀士山戶部主事著古雲字全和詩集

嘉善沈再樞成進士沈氏字士樞號其巖遷居杭州居著士山敬依  
雙香齋刊明王歲著之就原是會全卷二十卷出版  
詠園初元進山竹集第拾十の巻 南傳存氏為一刊行

皇朝傳史の皇氏撰著の多利集出版(皇朝傳史の皇氏撰著)

後王の原著(月夜抄)の多利集

杭州大東美術館製(四日五五五)

公元一八二三年

道光三年癸未

新城知縣吳瑄

吳瑄  
知縣

知縣

新城縣志二十四卷成書付刊

自布與修以乙未庚申子知縣到任督議修而事采廣辰知縣武職亦有為之

訓官村是也即上能崇璜而作其地也

乙未三月任乙未八月乙未十月再任

補循吏新嘉坡人字子人

任雲取蘇子乳山

一月來署勸職數月後乞引

全華知縣

原刊本及光緒二十三年重刊本

國朝志人卷四十三 禮部志人卷四十三 附錄

一自奉天始漸改日語文以正其音而後其音之正也

附錄

於當時而後其音之正也

解部是也其法至入二十八年春始定其音之正也

附錄

附錄

丁未三月廿三日自奉天始漸改日語文以正其音而後其音之正也

附錄是也其法至入二十八年春始定其音之正也

自奉天始漸改日語文以正其音而後其音之正也

附錄是也其法至入二十八年春始定其音之正也

丁未三月廿三日

附錄是也其法至入二十八年春始定其音之正也

公光一八二四年

道光四年甲申

附錄大東美樹給據(四日臣等)編

金華孝品芳成進士入福林孝友子春舉號後不遷居去之由留後為國修官之

閩字士子福簡先何二十四年進士<sup>東陽籍</sup>廷原常以主制竹

儀仗伏搭衣成進士之怡思沈人之進林海對竹及戶部之事原安而法廷廷  
使善者竹以之齋詩集

可書斯竹主案已北有案日免與化如志于春相考制

程邦著西城水色能與卷刊行

初書所貯字底如朱三卷附少信五卷刊印

符名條

本世等用官故考故分五卷刊行

徐和而城山已允立是刊行

陳通考麻山遊羊刊行





公九一八二四年 道光四年甲申

大清宣統元年

大清宣統元年五月乙酉

大清宣統元年五月乙酉  
大清宣統元年五月乙酉  
大清宣統元年五月乙酉  
大清宣統元年五月乙酉  
大清宣統元年五月乙酉

大清宣統元年五月乙酉

大清宣統元年五月乙酉

大清宣統元年五月乙酉

大清宣統元年五月乙酉

大清宣統元年五月乙酉

大清宣統元年五月乙酉

大清宣統元年五月乙酉

民國十八年  
三月

李運升金石錄刊成

廣東按察使山陰李運升其人官札學藝林刊記之而錄金石志六卷及阮  
福補遺一卷是書初為元末所傳而遺教何之編計亦多尋三由搜訪考  
証以合體奈詳以不遺札之未皆若行第

師事而索我書... 七十之書... 札之未皆若行第

同書... 札之未皆若行第

吳興姚氏扶芳山房朱雲亭氏化書華倫之刊刊

王鳳生... 札之未皆若行第

臨海... 札之未皆若行第

劉宗周... 札之未皆若行第

（平咳中書自劉載山年信函）

（由名忠地... 札之未皆若行第）

齊民... 札之未皆若行第

一八九七... 札之未皆若行第



卷之八  
卷之九

書運升全石工條可卷刊成

廣東按察使山法李陸惠州人丁官札身其刊記之而所全石之六卷及院

福補遺一卷是書初為元本附所傳而述敘仍之係許宗彥三冊搜訪考

記卜合體奈刻以不述札之末皆若行第

歸... 卷之七... 卷之八... 卷之九... 卷之十...

吳興姚氏扶陽山守朱雲本史化著華修之卷刊行

王鳳生明在水利備政八卷刊行

臨海張氏刊記之係所全石之十八卷

著按地圖附錄十五卷補遺十卷蓬溪考卷初本古版

新宗月遺著劉子全者王氏刊本出版子明刊之量賜撰刻念是長年清之卷

公... 卷之五... 卷之六... 卷之七... 卷之八... 卷之九... 卷之十...

... 卷之八... 卷之九... 卷之十...

書文  
格名

四明孫德重刊湯家楮字林古今正俗異同通考の巻附之書辨異二巻  
瑞亭茶飯半醒軒詩稿壹卷取夷軒刊本出版  
（前日本館三年刊本）

四明孫德重刊湯家楮字林古今正俗異同通考の巻

宗之之辨困了に欠る之所は手巻刊行

魏注梅里志十二卷刊行

許和年自撰家少手信家刊本出版

嘉善周南浦一非園刻精用儀書水

宗崇刊

唐居士精作近世新書史明述文法は然又は

手不刊本信家初下書

草編梅坊二巻刊行の頃

素山高枝成進士入翰林高反在上園説抄梅坊送卷多士以叙任授内侍唐多相有並と

錢俸集感毅成進士生父字点樹也坊再成庭方士對叙飯

魏晉珍撰上海書院藏本多為反不為嘉藏本多為手抄本其初志書件周中書訂定



公元一八二六年 道光六年丙戌

統界舟又

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

圖ノ六二〇一

書運升全石工條已卷刊成

卷之六

唐末故帝使山陰李德康州人官於吳越刊此之而所全石之六卷及阮  
福補遺一卷是書初為之者附所傳而遺孰何之歸計亦多尋三山搜訪考

卷之六

桐師馮申唐代書家時長尺笈七卷刊刻馮氏字清季號雲樞吳蘇亦嘗  
南劍州知州工書精楷書字方好於然所著書有論書偏（竟州桐師孫不

言世工書者又示我亦者多也）

通之六二

卷之六

係子修遠全卷三史述卷五十年又曰梓為炳恩曰等明天仰公此是以福本卷吉士

何世史告成此別依以法而甘果知好著者三史稱委三史人多以正紅根之佳付石曰梓

子小用官道而教治物具亦心三推後文林亦全錯教傷又陸王弟陸恩文奔捕徒上

蘇又從抄士中是光十一年此榜考人亦亦賦引抄揮法林如若跨身行其意以林均



李相公在杜安州... 百有無身... 教信... 夜... 故... 好

嘉... 柳... 杜... 成... 進... 士... 解... 元... 登... 會... 獲... 真... 辭... 有... 以... 奉... 本... 上... 封... 工... 持... 著... 有... 嘉... 善... 志...

舊... 仍... 錄... 述... 平... 川... 以... 為... 微... 今... 亦... 子... 好... 用... 多... 故... 病... 有... 其... 口... 舌... 因... 在... 往... 妙... 不... 及... 小... 延... 延...

集... 曰... 十... 幾... 律... 移... 本... 方... 一... 冊... 小... 以... 禮... 采... 若... 其... 文... 之... 修... 何... 与... 无... 和... 顧... 於... 枝... 望... 及... 向... 吳... 物... 石...

國... 名... 師... 選... 山... 陰... 吾... 爾... 每... 春... 賦... 子... 研... 以... 作... 止... 前... 修... 子... 供... 誤... 字... 之... 真... 妙... 亦... 似... 日... 棟... 道... 如...

故... 著... 方... 乙... 元... 錄... 仙... 今... 嘉... 子... 好... 用... 多... 故... 妙... 亦... 一... 冊... 上... 人... 余... 又... 俯... 曾... 持... 十... 首... 入... 觀... 情... 似... 微...

幽... 室... 朱... 名... 歐... 元... 一... 甲... 一... 名... 進... 士... 某... 氏... 志... 亦... 說... 采... 山... 樓... 似... 撰... 譯... 之... 事... 歷... 矣... 夫... 科... 修... 事...

師... 之... 教... 文... 考... 說... 某... 氏... 志... 亦... 說... 采... 山... 樓... 似... 撰... 譯... 之... 事... 歷... 矣... 夫... 科... 修... 事...

著... 以... 高... 枝... 成... 進... 士... 入... 翰... 林... 高... 及... 在... 上... 園... 說... 山... 榜... 道... 卷... 多... 亦... 似... 似... 授... 兩... 竹... 磨... 方... 湘... 南... 望... 道...

錢... 氏... 朱... 成... 毅... 成... 進... 士... 某... 氏... 志... 亦... 說... 采... 山... 樓... 似... 撰... 譯... 之... 事... 歷... 矣... 夫... 科... 修... 事...

郭... 自... 珍... 撰... 上... 海... 李... 氏... 藏... 本... 卷... 多... 亦... 似... 似... 授... 兩... 竹... 磨... 方... 湘... 南... 望... 道...



卷之二

卷之三

卷之四

卷之五

卷之六

卷之二

道元七丁

樂清知縣劉崇珩修瑤世範作而永嘉張振華同纂述史案清好志十二卷

成書刊刻是志體例詳整與世白山川一卷尤為精善在江州地志中可稱善本也

湯成烈亦永嘉人修方篤今存刊本又云由核藏書存於一表是入杜成金源理

馮於府金石字例四卷

吳應易馬陶歸州而之家情例公卷刊行

佛徒姚氏扶蘇山方刊本明地境有撰可觀三十卷地志之卷出他

吳何備佳白佳二十卷神治事刊行

崇清史子朱諱考修錄的修易修錄刊行

葉紹本白窠山方刊之二卷刊于桂林使署

史善承諱考修錄的修易修錄一卷香修錄一卷忠未園刊本出版



一 卷之八 年

道光二十八年戊子

鄭多由學以貯之結小楷片帖等物上石凡此諸書皆能王右軍南齊書  
等二年行若方必而南宮貯之然因及既刊者馮於其控貯者館刊  
記

前建此各縣用興學似有行府以好之是建此以志二十一卷小書刊  
興學四川書人志卷二十一之十位

味如之林才或國行

即

朱泳等美是也味如志十曰

味如志十曰

采亭今肥人

志

是六年

味如志十曰

明方考孫善日本村椒海捕海官字文特之卷百五十二建勳岩山志刊本出版

宋周照對於諱十卷武林希西新刊本出版



光緒二十八年

道光二十八年戊子

鄭君自撰以貯之終不措片紙善物上石凡此諸立照臨王右軍南亭  
等二年已終為書而南宮貯之終國及既的書馮於之故控貯音信則

記

黃建此不知用興峰似有行存而好美之建此以去二十一卷亦未刊

興峰四川善人壬子年二十一之千位

嗜抄之類本或圖行

即人

朱編等

朱編等朱子之峰物志十四卷所刊刊或國字

宋亭今肥人<sup>述</sup>是六年子十年化深字意周

明方孝孺著日本村海補海言字文持之卷百本<sup>三</sup>自其山初刊本也

宋周照對於諱十四卷武林希西新刊本也

卷五之陸香在園(一)朱韻言美法文起於卷十回意以香(下)右園子

傳修善輝等於仰善人之波慶者別而明二十四橋詩為云人所未去也

訪者

陳文述題送中物十之卷詩選三十卷坊抄卷七或係修善卷前行

桐廬翁善慶中物等命九子万祥說吉卷六於附刊子以午宗所字同(題)園藏

已五芳什卷

宋周書攝隨畫為不香詩集絕無切為七卷附修修刊(此名同)出土全錄香(刊)

鄧隱柔乍浦侯備志三十一卷成書刊行是編述孔注乍浦志而作今以林園子園去

竹前古至刊本

載錄似向來香卷之的卷九亦更山有刊本出版

等作負化之通考十三卷(四)修善山乃自刊本出版

古印何存清佩同修印本出版



公元一八二九年

道光九年己丑

...

...

...

...

...

...

...

...

...

宋廣照討於諱十公卷武林亦西新刊本也

武原山銘疏義是付之克武原山銘卷之二十四卷成去付刊是王叔札從卷去卷之三  
傳一今存原刊本

平湖傳疏卷之一甲二名進士修女在左撰疏字原四字超湖疏與痛接揚世說  
修示之內同侍候子士

修示之內同侍候子士  
修示之內同侍候子士  
修示之內同侍候子士

嘉興宋其儀相傳全在湖陰同榜進士並進卷常宋其儀又書疏九山山對依接國修  
歷廿二歲奉命送署極崇使罷全其字修一疏疏仙山對依接國修  
杉江府知府署有林金屋銘

小陰揚景成進士揚山之景甫疏山山道在常對依接國修

仁和張寶璜地拓圖版錢法全集法度同榜進士張氏字子新嘉統時舉又錢星  
房選唐帝教竹政之事歷在何而道是象御史姚氏子嘉佑由唐帝政以而射喻  
幼孫金仁字峰屋院選賦由唐帝政以而射喻

魏氏自今刊本東萊先生左氏傳解三小卷重版

以氏抗清書刊本集傳德左通神釋三十二卷重版海名光例之竹續編

沈赤樹吳焯等撰南宗新小竹七卷拙嘉山方刊本重版

元亦亦周道觀撰真臘風土記一卷刊本

魏氏自今刊本東萊先生左氏傳解三小卷重版  
魏氏自今刊本東萊先生左氏傳解三小卷重版

宋周宗儒傳自書外似系劉某也物解均卷七卷附清餘集徐琳傳信物解  
初後仙之卷刊本小字比同二十二年上海刻文化書局印行何種標本本

明方孝孺著日本村嶽海補海方字文持三卷百本五十二通嶽山卷刊本重版

宋虞照對於諱字卷武林希西新刊本重版

吳錫血華印生詩四卷刊行

錫血華印生詩四卷刊行

錫血華印生詩四卷刊行

錫血華印生詩四卷刊行

錫血華印生詩四卷刊行

錫血華印生詩四卷刊行

錫血華印生詩四卷刊行

錫血華印生詩四卷刊行

錫血華印生詩四卷刊行

錫血華印生詩四卷刊行

錫血華印生詩四卷刊行

錫血華印生詩四卷刊行

公九一八二〇年 道光十年庚寅

童氏名海人其任得日新刊本出版

修心而老乃秋五卷之五均此卷係神一係其目按考與海人解另二十卷一是一卷仍缺九十一及九十二三十四卷而皆以抄勘刊本

抄勘此卷係神一係其目按考與海人解另又足五五亦未古典論入校子程而此初通有之蓋云

同遠叔刊本名海人著周易校異之卷

杜身之書中今石化十卷目二卷卷度後倫刊本出版

吳厚長之書約刊行

王字英晚自唐士造系十卷子刊本出版

胡天游長秋夏心之卷刊行

清修亭園細細人附四之三卷刊行

武林任氏刊給錄輯訪修卷估三十一卷

四明字全刊宋之左錄原者情以我者神輯三卷約吳文岐化之卷御造三卷

吳錫道集印生詩四卷刊行

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

改定光  
十二年



吳錫道先生詩四卷刊行

錫道先生詩四卷刊行

錫道先生詩四卷刊行

錫道先生詩四卷刊行

錫道先生詩四卷刊行

錫道先生詩四卷刊行

錫道先生詩四卷刊行

錫道先生詩四卷刊行

錫道先生詩四卷刊行

錫道先生詩四卷刊行

錫道先生詩四卷刊行

錫道先生詩四卷刊行

改定光  
十三年



吉的修家所藏宋本和抄本  
成化  
吉的修家所藏宋本和抄本  
成化

吳書多如建德以宋書自校考自存條插入。

多程陳坤臨湖州詩餘三卷刊行

刻東陽人且烏山橋刊宋吳度周孔能五卷附考本

日遠如刊李名如著圓易解撮異二卷

杜夢生撰申今名紀十卷目二卷全卷後倫刊本出版

吳深長之書的刊行

王字美晚自唐廷選集十卷子刊本出版

胡天游王孝秋友正二卷刊行

陸佩亭園組台人游四二卷刊行

武林任氏刊給珠編詩律卷估三十卷

四明字全刊宋之志錄承著清明兵前神抄  
(三家付異)文歧記二卷補遺三卷

王仲霖釋載生修金錄全卷刊行

好學里好政好先生進德修德古本印行

好學里好政好先生進德修德古本印行

好學里好政好先生進德修德古本印行

好學里好政好先生進德修德古本印行

好學里好政好先生進德修德古本印行

好學里好政好先生進德修德古本印行

好學里好政好先生進德修德古本印行

好學里好政好先生進德修德古本印行

好學里好政好先生進德修德古本印行

好學里好政好先生進德修德古本印行

好學里好政好先生進德修德古本印行

一八八二年  
書一

公九一八三一八

道光十一年

杭州東門外... 郭慶... 祥伯... 號... 自署... 眉生... 蓮... 慶...

世... 郭... 比... 蘇... 江... 人... 自... 號... 祥... 伯... 號... 如... 自... 署... 白... 眉... 生... 蓮... 慶...

... 郭... 比... 蘇... 江... 人... 自... 號... 祥... 伯... 號... 如... 自... 署... 白... 眉... 生... 蓮... 慶...

... 郭... 比... 蘇... 江... 人... 自... 號... 祥... 伯... 號... 如... 自... 署... 白... 眉... 生... 蓮... 慶...

... 郭... 比... 蘇... 江... 人... 自... 號... 祥... 伯... 號... 如... 自... 署... 白... 眉... 生... 蓮... 慶...

... 郭... 比... 蘇... 江... 人... 自... 號... 祥... 伯... 號... 如... 自... 署... 白... 眉... 生... 蓮... 慶...

... 郭... 比... 蘇... 江... 人... 自... 號... 祥... 伯... 號... 如... 自... 署... 白... 眉... 生... 蓮... 慶...

... 郭... 比... 蘇... 江... 人... 自... 號... 祥... 伯... 號... 如... 自... 署... 白... 眉... 生... 蓮... 慶...

... 郭... 比... 蘇... 江... 人... 自... 號... 祥... 伯... 號... 如... 自... 署... 白... 眉... 生... 蓮... 慶...

... 郭... 比... 蘇... 江... 人... 自... 號... 祥... 伯... 號... 如... 自... 署... 白... 眉... 生... 蓮... 慶...

可州存  
共書...

精刻... 五十八

王仲霖釋載生修全錄全卷刊行

好學里如政新先生選修全錄全卷刊行

按此後係

附一

唐元之與吳倫影印全錄全卷刊行

按此後係

是志

史克齋與元乙未任（按此後係）

高州刊本

理直揮墨人史克已亥乙未任（按此後係）

史克已亥乙未任

平五已酉任平打石

李湖之八二九

萬曆三三三

正可一九二

依

順治五年某法主多仲（按此後係）

唯之底結而志仍依（按此後係）

而為全志（按此後係）

學古德種水句（按此後係）

序可却道信仍相細州修係十二卷刊行

且宗夫晚自序才選集九卷刊行

公元一八三二年 道光十二年壬辰

章學誠校畢通義刊行於開封

考此書之校德... 卷之三

乃將此書... 卷之三

惟十七文考異... 卷之三

洪頤煊... 卷之三

十卷... 卷之三

七十之... 卷之三

時... 卷之三

上... 卷之三

卷之三

四條

可州存

共書

卷之三

成... 卷之三

... 卷之三

... 卷之三

... 卷之三

... 卷之三

本

... 卷之三

... 卷之三

... 卷之三

... 卷之三

朱子札一七三  
多字七十四

附朱  
鳳標二(9)

朱子札一七三  
多字七十四

朱子札一七三  
多字七十四

朱子札一七三  
多字七十四

朱子札一七三  
多字七十四

朱子札一七三  
多字七十四

朱子札一七三  
多字七十四

朱子札一七三  
多字七十四

象山知縣重三成修嘉興府志序

今在石刊本與此同四十二部印本附錄山文類二卷

朱子札一七三  
多字七十四

朱子札一七三  
多字七十四

朱子札一七三  
多字七十四

子白海之  
一八六八

日文元  
如左視下  
A

仁叔美琳江正森田飛進士日〇〇〇天氏字佩之號出歐進座幸敬伏以文  
部之事應吉田川望恭送日氏字春生送座幸敬伏以公孫歴友比而灰行府  
知存

此處即原藏書之相紙的長字及村中座幸敬伏以公孫歴友比而灰行府

源本清

歐陽珍理此種物之危利行

如日之今欲三村ハ老刊行

指松亭の奉函書

吳德照送下店の始の巻は氏孫孫香刊本出版

傳字報主撰一覽審読のハ老刊行

坐席部信明也未因吟幸ハ老刊行

明方康珍物通生ハ勝三ハ老少自持重刊本出版

幸正德文又通我ハ老札響通我ハ老刊行(此等民出の幸是陽橋知有札書)



道志十三年癸巳

公元一八三三年

215

一八三三

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一八三九年一信

...

...

...

仁知美瑠汪廷森田光進士  
部之事應有四川陸恭道汪  
知府

似地如探成通事之抄錄何如字及村及之卷等接高依下之字樣大員外何進道後皆奉

陳文清

陳陽珍理地臣耕修之卷刊行  
孫同允今錄之辨八卷刊行

館阮汪元方成進士入翰林汪氏字東巖號清齋進士小名為何方已官樞

臣左都御史卒謚文端與汪氏同榜同鄉人如寔字雲樵號雲采進士

結典諱廷宸成進士道行女子行屋一作竹巖山刻於刑部之事亦有刑部

為者卒謚端協與諱氏同榜之法以元史字程山進士事法數於按何

和與王方成進士入初版王水字一德華進士山台何為何

係陸氏凡執傷重利吳德聖進士何的何表  
吳善唐湖成進士亦何表秋清進士按何表進士亦何表何表

杭州大東美術館製(四日五)



仁知英珞汪廷選森田茂進士日○天良字佩之號出師選產率期依改史  
部之事應古四川瑄恭送日如字春生選產率期依改史歷友比之友行府  
知府

蘇州知府嚴廣之相花紅字春生選產率期依改史歷友比之友行府

蘇州府

沈陽府理北任辦修之卷刊行  
孫日允今錄之辨八卷刊行

餘阮正元方成進士入翰林臣氏字夏履號清齋選產士士選為係何官正軍機大

臣左都御史卒諡文端與日比同榜同鄉人如寬字字雲樞選產某也選產率

朱選產為某之選產某版印刊(此方自日十三年刊本)

元朱某之書相第書之書選產某選產某版印刊

加時余亦大有至是十一人今以自定史一書選產某版印刊

沈陽府理北任辦修之卷刊行

沈陽府理北任辦修之卷刊行

沈陽府理北任辦修之卷刊行

史記卷之六

公元一八三四年

道光十九年甲午

奉天省城... 奉天省城...

二... 二...

中... 中...

錢... 錢...

任... 任...

飛... 飛...

... ...

... ...

... ...

子白海之  
一八二六

日九之

一八二二

昔見在已向  
文柳下

卷九一九一六

仁叔美琳汪廷森因及進士日... 部之事應古四川... 知存

此知... 卷之...

漢書

此陽... 孫曰之...

館祝... 卷之...

至左... 卷之...

中秋... 卷之...

先... 卷之...

嘉... 卷之...

及... 卷之...

湖美術館印



子白海名  
二二六

日文  
一八三三

仁和天琳汪廷森四代進士日  
部之事應吉四川望茶道日  
知存

學地知探殿... 卷之...

漢文書

晚陽珍理... 孫月久...

餘阮汪元方... 卷之...

宋... 卷之...

... 卷之...

... 卷之...

... 卷之...

一七の六  
一八七八



公元一八三五年 道光十五年乙未

张道清清儀南古印保存

恭頌 潘州 嘉慶庚午 嘉慶庚午 嘉慶庚午 嘉慶庚午

新字 嘉慶庚午 嘉慶庚午 嘉慶庚午 嘉慶庚午

錢 嘉慶庚午 嘉慶庚午 嘉慶庚午 嘉慶庚午

汪 嘉慶庚午 嘉慶庚午 嘉慶庚午 嘉慶庚午

飛文 嘉慶庚午

嘉慶庚午 嘉慶庚午 嘉慶庚午 嘉慶庚午

嘉慶庚午 嘉慶庚午 嘉慶庚午 嘉慶庚午

嘉慶庚午 嘉慶庚午 嘉慶庚午 嘉慶庚午

法情 嘉慶庚午

一八三九年 嘉慶庚午

仁叔美琳汪廷森四及進士日... 天氏字... 繞出... 座... 幸... 敬... 故... 以... 史...

... 汪廷森... 進士... 天氏... 繞出... 座... 幸... 敬... 故... 以... 史...

... 汪廷森... 進士... 天氏... 繞出... 座... 幸... 敬... 故... 以... 史...

汪廷森

... 汪廷森... 進士... 天氏... 繞出... 座... 幸... 敬... 故... 以... 史...

... 汪廷森... 進士... 天氏... 繞出... 座... 幸... 敬... 故... 以... 史...

... 汪廷森... 進士... 天氏... 繞出... 座... 幸... 敬... 故... 以... 史...

... 汪廷森... 進士... 天氏... 繞出... 座... 幸... 敬... 故... 以... 史...

... 汪廷森... 進士... 天氏... 繞出... 座... 幸... 敬... 故... 以... 史...

汪廷森



通邑知縣朱煌才至典修好人吳守是業燭等稟以克遂乃取志十二卷成書

刊行是志上按北漢王志今存刊本煌字勿軒直隸寧人道光丁亥來知縣子臣任公載

玉典世山舉人自是年丁酉任興字其字村珠由恩貢州判能書書長白坊端

主書世由<sup>原</sup>應台教諭年五十五

杭州大東美術館印售

公元八三三三十一  
通志元志年而中

政之二二年

嶽州張景冬中會榜第一張氏子聚亭號庚中遂在常州以知府兩任德和  
仁和徐慶典金源曰於進士徐氏原名錦字石林選編在說在古士必叙於以戶部之字  
今氏名諱也號雅仙亦遂在常州未叙也

錢政輯上虞詩集十六卷刊刻

宋已名稱玉海清方書編稿卷三十一卷刊刻

勤教元德說帖卷三十一卷刊刻

翟公升林心方今人表刊行

宋王明撰周也刊行金碧三式不刊卷刊行本出版宋（宋徽宗三年是只漢以二色版印本今

繪之缺四卷明而進者後漢陶仲舒行

日進好居新備者唯刊行存於尚書日刊出版

周，魏內日紀齋詩竹十二卷文修之危刊行

政修雜德雲句之是危刊行（馬明先似于三年忠賢者刊本及書正者刊印也

遂昌縣志本理本五典刊行人吳守是業，瑞二守業子志遂石叔云二卷版也

刊行是也上接北齊日志人今存刊數增卷勿新五撰不人送定丁其業以歸子臣修公

本也其小者人應是也心丁而任其言其字附錄中見其與刊行能業者古刊據

本也其小者人應是也心丁而任其言其字附錄中見其與刊行能業者古刊據

錢氏考本位和卷張武田卷進士學堂卷卷及子福及疏考仙水別飯以名切

公元六三九年時使道亮上之甲申神戶平谷氏家宣一談慶州小敷氏後傳

輝古史文未成進士臣長子孫生多林卷之宗大恒

小館如法文洋成上士經文一刊考傳經經送卷卷數終刊刻之書

是道之第小抄刻稿の巻刊り

著書未刊存稿の巻刊り

明案傳何向設古本之由二十八卷重刊出版

海語林身同系文之巻付之巻全四卷 二卷刊于素軒版録

嘉文沈傳的對天斗齋池年八巻録考自當刊本刻成

永嘉丹大寺刊明傳之故當刊得十巻

隆七卷研齋存稿二巻刊り





一八三三年

後坊寺本行和茶振武田登進士選座常茶長子福久鏡考伯小教佐以兵部

元重歴名安瀨多時使罷停幕少見小橋訂華英文字宣一鏡慶州小教佐按師

修歴古度本律西選清同小量比蘇本念五探州州

小舟師地條文藤成進士佐久一行香候坊攝送座常教佐及刑部之事

送是第小抄名務の巻刊り

一巻著書未刊存稿の巻刊り

尾崎卯事傳何白波古本多由二十八巻重刊出版

招待金物海澄林身向集文二巻付之巻 二巻刊り未解願結

禮體 嘉文池傳納耐天斗齋池三巻八巻録書自刊本刻一成

永正寺人重刊明經子按論列録十巻

隆正寺人重刊存稿二巻刊り

精義刊刻之書令人未刊刻

卷之十 附刊開列各書  
卷之十 附刊開列各書 (崇禎二年) 卷之二 卷之三 卷之四

精義刊刻之書令人未刊刻

精義刊刻之書令人未刊刻

精義刊刻之書令人未刊刻

精義刊刻之書令人未刊刻

精義刊刻之書令人未刊刻

精義刊刻之書令人未刊刻

精義刊刻之書令人未刊刻

精義刊刻之書令人未刊刻

精義刊刻之書令人未刊刻

精義刊刻之書令人未刊刻

1 (14111111)



河上分縣書局藏二卷

不奉天... 卷十末

新... 卷十末

... 卷十末

... 卷十末

... 卷十末

... 卷十末

... 卷十末

... 卷十末

... 卷十末

北德元一七七  
為祖諱元  
一八五三

公元一八三八年 道光十八年戊戌

儀疏沈祖德係歸國陸近係林沈氏立念農孫連孫父子曾信一文字無報母信也德

因伴術女神符上子曾考以和作祖德幼承命故具呈付送二想交同立三子未謝病

州口處差上山訓而璋字新叔又考送年六十三方死言沈忠堂歷交山東一廷何也

儀疏高人能以編書為何奉命做孫林竹樵日林以平前經疏疏冊封中

山王為首言火原名統儲字輝舟建康人送充十二年由徐州府立由徐州府劉芝子之末

官年於衡州差多猶林之掛符稿

烏符但福保元一甲一名進士但氏立於岳西縣其何拒歷冬冬學子自夕夕學事

清原子

鄰者華歲生入詞苑書元言研嶽山中居十留性為佛仙唐友老郭御文去臣神

都者借印生言竹不者故年

梅益支支清成進士入詞林文女言少破山產書士控區行尼信讀子士考者則又桂帶

年一八八九年

詩存

永未許通善輯版核是更儲三五卷補遺一卷刊刻

之  
附刊等美核類為正三五卷後十一卷再後五卷刊行

平烟傳椒歸神致千傷の卷刊刻

備後は流中の大端を先取核小類を其後海助のて色紙傳抄本あり

小葉五卷未核傳名明是之類核選の事八卷二葉の類核否刊刻

圓珠地浦を身白山以白浮海考刊出版

符ん外下齋刊傳業 芝向輝金石條補三七卷

一八二八  
一八二九

公元一八三九年 道光十九年己亥

一八三五年  
三月

1835  
April 11th

Handwritten text in vertical columns, likely a letter or official document, starting with a date and followed by several lines of cursive script.

Handwritten text in vertical columns, continuing the document's content.

Handwritten text in vertical columns, continuing the document's content.

Handwritten text in vertical columns, continuing the document's content.

Handwritten text in vertical columns, continuing the document's content.





張廷濟詩集目錄一卷刻成

儀春古暹書錄刊行

●南雁階自江米川來●文虎卷之十●命字十三句接尾地  
●有秋卷之十●文虎卷之十●命字十三句接尾地

相授聲元氣涉吳亦以借回而書同  
●此上 區從書款

張廷濟詩學全集六卷刊行

陸運西園詩集卷十二是刊本  
●陸運西園詩集卷十二是刊本

姚學樞撰卷之六村年仔刊本  
●姚學樞撰卷之六村年仔刊本

吳家生撰而考又復三卷刊行  
●吳家生撰而考又復三卷刊行

日新素撰卷之二是刊本  
●日新素撰卷之二是刊本

文水陶氏刊詩釋文卷之六在宋增飾

張廷濟詩集全集考別山年卷刊本出版

紅和號代修刊本初錄卷之六在宋增飾  
二五才卷(西曆民國十七年上海掃葉

以房石印本言文对照詳注在案(未附錄)  
山計前二卷(山計前二卷)  
山計前二卷(山計前二卷)

使海包去志老刊包仁孫梓用思卷二卷

周殿研行卷之三卷刊刊

金璋四等徽山房附錄二卷  
出芳齋自刊本出版

公元一八四〇年

道光二十年庚子

〇 改辛丑

英善利侯孫寧侯接取天一閣函一後志愛國此考致十餘而去

李過好標指卷全石志傳中卷成書付刊亦王而慶助其採輯而過好弟子

譚子錄是為正修志任校勘事字錄字記全在共色物錄考家似觀

不卷

錫陵江清縣志卷之九

由寧命公孫中印標好元合人來名而任主册度後力軒又石在年過好父與瑞士

去昨送雲軒送志十一年傳至工研保文風稿字州南辛江初物二山中查在辛卯時

第以袁崇山葉魯士臣醇仰日叔明秦研亭華遜竹馮山島人信書社是志三十年

延名一二七

延書 叔善

此房石印本文字对照详在某某书内

以

传海包去志书刊包仁孙梓用思第之卷

周殿河氏书某某刊刊

刻刻刻刻刻刻刻刻刻刻刻刻刻刻刻刻

不

新子新子新子新子新子新子新子新子新子

官平知孙金第似命宗煥王平光字平孙志十八卷成书刊金第之西也

何而身得人等入成必来之知是志此书用世故藏方刊本

去典和付于书歌书书书书书书书书书书书书书书书书

书付刊书歌字确度江新金第人志志之志同书操书书世霖孙成进士志志丁雨任主黄再任不

顯五臺人進士道老已亥庚子任是志全凌志子園多能踐存卷之六卷三十一

諸經部風語中華人外此之未以疏濟向父會性如翠之風俗以極助不共其標

尤工詩多為函張卷五若十卷十一回言詞一卷中備述解三卷他如三多袖約正卷第

錢的此一卷為原<sup>取</sup>楚辭要一或序解十七卷

如和華山升代進士卷九<sup>部</sup>本號以會文格之絕稱疏者望家珍腹十搜討

~~如和華山升代進士卷九~~本號以會文格之絕稱疏者望家珍腹十搜討

~~如和華山升代進士卷九~~

由寧俞公稿中何橋好之今凡來者必在之册度說也軒又石在年越好父與路

去睥說雲軒之志十一年傳夏工斯傑文公稿之册而事以如物二少由查在辛卯時

蜀以書崇山茶魯士臣醇仰日教明秦研亭華遂秋馮十身九人信書社是志三十九

服八日於杯為是為信寧會休其卷為至中大友園存庵中所有官官辛研病誌

後

山... 命... 蘇... 中... 詩... 賦... 三... 其... 卷... 為... 至... 中... 大... 友... 園... 存... 庵... 中... 所... 有... 官... 官... 辛... 研... 病... 誌

~~...~~

~~...~~

~~...~~

此後... 大東其詳論(日)...

功... 此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

唐文石壁子

合體沈元泰撰盤周煥撰以同榜進士並入詞苑沈元泰吉慶號是莊山中產書後

沈元泰撰盤周煥撰以同榜進士並入詞苑沈元泰吉慶號是莊山中產書後

廣州府志卷之四

沈元泰撰盤周煥撰以同榜進士並入詞苑沈元泰吉慶號是莊山中產書後

百山志釋名

王景雲撰李政著在核年之七卷刊行（此乃老例之正年例之方在任印本）

沈元泰撰盤周煥撰以同榜進士並入詞苑沈元泰吉慶號是莊山中產書後

沈元泰撰盤周煥撰以同榜進士並入詞苑沈元泰吉慶號是莊山中產書後

沈元泰撰盤周煥撰以同榜進士並入詞苑沈元泰吉慶號是莊山中產書後

王初梅深李平送多二十卷 盱眙日氏刊本也

總經義氏刊本 聯芳堂刊本 吳錫初刊本 正味齋刊本 文士之卷

元表補注家法卷之五十五 上海初刊本也



公元一八四一年

道光二十一年辛丑

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is dense and difficult to decipher due to the bleed-through and fading.

小保文后冷平山野记中书多一卷正光八年春庚寅并奇与阮不文地至徐茂才同逆信  
寺忘道受化舍石号内中易官旁而後道受又号松古三全形及制制古仙三歌俄老遊

盖山为柱木庵别竟空下麻正竹因你别竹用微人迹似与道受甲的若下竹保道享六



卷之六

蘇東坡詩集卷之六

蘇東坡詩集卷之六

蘇東坡詩集卷之六

蘇東坡詩集卷之六

春日惠此之彷彿是橋於新室已就後如口復現亦氣碑於於十餘俱善本  
中下星瓜樓殘情也必必一題記

蘇東坡詩集卷之六

蘇東坡詩集卷之六

蘇東坡詩集卷之六

蘇東坡詩集卷之六

蘇東坡詩集卷之六

西州全志補遺四冊言其全志全志考卷餘年修之冊而馬神一期也去一卷而南齊修一區條也  
小保天尾吟草山野記事詩多一卷正光八年春建寧縣寺與阮不文地望恰茂才同運後  
寺志正受任全志言門中易官考而後造受又尋松古三全形及制制古伽三題職考遊  
蓋少為相不庵別竟享廟正行因刻竹用徵人題仙與達受四節下特得造享之

唐之右姓子

會稽沈元泰諸君周炳僧以同榜進士並入詞苑沈元泰居號星莊山由唐末授

師竹居自以不仕補進士考定片進用久年身仰鏡三鹿山中由唐末授後行居名冊此

總領家念意十會議第<sup>進城第</sup>二<sup>進城第</sup>三<sup>進城第</sup>四<sup>進城第</sup>五<sup>進城第</sup>六<sup>進城第</sup>七<sup>進城第</sup>八<sup>進城第</sup>九<sup>進城第</sup>十<sup>進城第</sup>

授後行

博海用余廣徐端以同榜進士並入翰林用久年身生<sup>進進士</sup>徐氏生<sup>蒙塔鏡館</sup>

及二人係供由產書士<sup>留</sup>後為修竹

仁和為<sup>進進士</sup>並入詞苑為<sup>進進士</sup>以尹<sup>進進士</sup>號<sup>進進士</sup>山方<sup>進進士</sup>也<sup>進進士</sup>

考期特授<sup>進進士</sup>為<sup>進進士</sup>州<sup>進進士</sup>的<sup>進進士</sup>府<sup>進進士</sup>和<sup>進進士</sup>村<sup>進進士</sup>主<sup>進進士</sup>長<sup>進進士</sup>主<sup>進進士</sup>煥<sup>進進士</sup>齋<sup>進進士</sup>鏡<sup>進進士</sup>秋<sup>進進士</sup>相<sup>進進士</sup>必<sup>進進士</sup>亦<sup>進進士</sup>由<sup>進進士</sup>唐<sup>進進士</sup>末<sup>進進士</sup>始<sup>進進士</sup>為<sup>進進士</sup>修竹

錢<sup>進進士</sup>氏<sup>進進士</sup>世<sup>進進士</sup>傳<sup>進進士</sup>進<sup>進進士</sup>士<sup>進進士</sup>保<sup>進進士</sup>送<sup>進進士</sup>在<sup>進進士</sup>唐<sup>進進士</sup>末<sup>進進士</sup>火<sup>進進士</sup>之<sup>進進士</sup>鏡<sup>進進士</sup>一<sup>進進士</sup>鏡<sup>進進士</sup>何<sup>進進士</sup>又<sup>進進士</sup>流<sup>進進士</sup>揚<sup>進進士</sup>播<sup>進進士</sup>必<sup>進進士</sup>為<sup>進進士</sup>竹<sup>進進士</sup>以<sup>進進士</sup>刑<sup>進進士</sup>却<sup>進進士</sup>之<sup>進進士</sup>事<sup>進進士</sup>唐<sup>進進士</sup>末<sup>進進士</sup>

西<sup>進進士</sup>建<sup>進進士</sup>石<sup>進進士</sup>府<sup>進進士</sup>三<sup>進進士</sup>府<sup>進進士</sup>僅<sup>進進士</sup>火<sup>進進士</sup>亦<sup>進進士</sup>多<sup>進進士</sup>禁<sup>進進士</sup>主<sup>進進士</sup>曉<sup>進進士</sup>事<sup>進進士</sup>鏡<sup>進進士</sup>以<sup>進進士</sup>銀<sup>進進士</sup>以<sup>進進士</sup>期<sup>進進士</sup>始<sup>進進士</sup>以<sup>進進士</sup>事<sup>進進士</sup>唐<sup>進進士</sup>末<sup>進進士</sup>共<sup>進進士</sup>到<sup>進進士</sup>其<sup>進進士</sup>所<sup>進進士</sup>即<sup>進進士</sup>經<sup>進進士</sup>即

續<sup>進進士</sup>唐<sup>進進士</sup>末<sup>進進士</sup>日<sup>進進士</sup>紀<sup>進進士</sup>十<sup>進進士</sup>卷<sup>進進士</sup>柳<sup>進進士</sup>氏<sup>進進士</sup>初<sup>進進士</sup>才<sup>進進士</sup>生<sup>進進士</sup>版

元泰元下  
進進士

子也佐又二八〇

多書之八〇二

世傳之考

一作生年

の十八

楊公提知利年七十

林路真書易性之卷別新  
美附館印製

公元一八四二年 道光二十二年壬寅

春日惠北台訪瑞芝橋打鉢室已款彼如口復觀而藏碑坊數十條俱善本  
中石屋瓜樓殘竹也為一記

刻副卷中表...

本...

坊...

坊...

坊...

西州金...

小保文...

寺...

蓋...

光緒二十六年  
正月

子世佐二八〇

唐之右理子

會稽沈元春撰盤周煇僧口同橋止士並入的茲吹水寺吉慶院呈莊山中產茶接

仙竹居自以而候補建了寺位作了用食寺與仰鏡三鹿山中產茶接國竹居者此

總編 卷之十 會議第一 卷之二 卷之三 卷之四 卷之五 卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十 卷之十一 卷之十二 卷之十三 卷之十四 卷之十五 卷之十六 卷之十七 卷之十八 卷之十九 卷之二十 卷之二十一 卷之二十二 卷之二十三 卷之二十四 卷之二十五 卷之二十六 卷之二十七 卷之二十八 卷之二十九 卷之三十 卷之三十一 卷之三十二 卷之三十三 卷之三十四 卷之三十五 卷之三十六 卷之三十七 卷之三十八 卷之三十九 卷之四十 卷之四十一 卷之四十二 卷之四十三 卷之四十四 卷之四十五 卷之四十六 卷之四十七 卷之四十八 卷之四十九 卷之五十 卷之五十一 卷之五十二 卷之五十三 卷之五十四 卷之五十五 卷之五十六 卷之五十七 卷之五十八 卷之五十九 卷之六十 卷之六十一 卷之六十二 卷之六十三 卷之六十四 卷之六十五 卷之六十六 卷之六十七 卷之六十八 卷之六十九 卷之七十 卷之七十一 卷之七十二 卷之七十三 卷之七十四 卷之七十五 卷之七十六 卷之七十七 卷之七十八 卷之七十九 卷之八十 卷之八十一 卷之八十二 卷之八十三 卷之八十四 卷之八十五 卷之八十六 卷之八十七 卷之八十八 卷之八十九 卷之九十 卷之九十一 卷之九十二 卷之九十三 卷之九十四 卷之九十五 卷之九十六 卷之九十七 卷之九十八 卷之九十九 卷之一百

如月之全錄

注行於會文傳集卷八 荆湘錄 傳刊刊人 素志 卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十 卷之十一 卷之十二 卷之十三 卷之十四 卷之十五 卷之十六 卷之十七 卷之十八 卷之十九 卷之二十 卷之二十一 卷之二十二 卷之二十三 卷之二十四 卷之二十五 卷之二十六 卷之二十七 卷之二十八 卷之二十九 卷之三十 卷之三十一 卷之三十二 卷之三十三 卷之三十四 卷之三十五 卷之三十六 卷之三十七 卷之三十八 卷之三十九 卷之四十 卷之四十一 卷之四十二 卷之四十三 卷之四十四 卷之四十五 卷之四十六 卷之四十七 卷之四十八 卷之四十九 卷之五十 卷之五十一 卷之五十二 卷之五十三 卷之五十四 卷之五十五 卷之五十六 卷之五十七 卷之五十八 卷之五十九 卷之六十 卷之六十一 卷之六十二 卷之六十三 卷之六十四 卷之六十五 卷之六十六 卷之六十七 卷之六十八 卷之六十九 卷之七十 卷之七十一 卷之七十二 卷之七十三 卷之七十四 卷之七十五 卷之七十六 卷之七十七 卷之七十八 卷之七十九 卷之八十 卷之八十一 卷之八十二 卷之八十三 卷之八十四 卷之八十五 卷之八十六 卷之八十七 卷之八十八 卷之八十九 卷之九十 卷之九十一 卷之九十二 卷之九十三 卷之九十四 卷之九十五 卷之九十六 卷之九十七 卷之九十八 卷之九十九 卷之一百

如何今錄三册

宋楊輝子信王傳附清宋景岳札記重刊中版八版方宜錄宋景岳考卷之十

沈陽書山長石卷三十四卷刊刻

胡致輝致修書約賦錄刊刻(此書自清十一年山陰名刊)

杭州大東美術館製(日四四七號)

公元一八四三年 道光二十三年 癸卯

南屏僧道受者梅花寺册一册存册今藏杭州府所住家便供性陈名暖海亭人石井村姚上

字澄台一字秋概院与舟六德法舟一院寒尔自署方外庸人有序正建芳孝正建名共此四

空素宝号王栲度辄作镜空池笔抄文香官天平王佛庵二十六篇并碑一它生平法金石

篆隸一子官引以秋概院寺三及碑殿有今工考系叙叙自首作书佳心供佛庵寺卷书布

僧相光工山水花卉又抄佛书初任白亭中寺以之去相淡信寺大空庵及西湖净慈寺院

元香以金石佛呼一又籍曰九能保与戴旦及达州何修墓塔竹塔寺相得书款共所藏香

主逸少清每帖及本德集心等个文为等世珍板又自说小保天庵修善方六卷卷通六卷

西州金石志补遗四册官系金石考卷修修二册向乌林州志一卷南齐书一卷徐公卷

小保天庵吟草山野记草诗各一卷正光八年卷是寺林寺与沈不文地望徐茂才同述修修

寺志正受化金石号门中易其芳而後述受又善松古兰全形及制制古伽兰疏佛堂述

盖山为相不庵别定字所庵定修因别修用微人述仙与述受同书不修修述亭之

青雨亭海亭人俗姓朱古字和与守往者余之主东咸丰版后使抄克之序总序  
序著古茶考山分岭年又考予推北人逢受化徒等山水真家刻

仁和朱名序著深德易系竹笈の巻刊行小字本

許乃劍林刊旧版 徳意記 叙勢多十六巻深徳六つ巻他九巻新々余六巻

黄全と在木録考在文竹の巻二巻六巻三巻八巻刊行(山有月十年刊本頃の二巻)

其易七道考因全石又子刊行

筆子持味義松齋詩稿二巻二巻一巻刊行(是書未定上十年刊本迄)

切致拜圖相巻匠係是巻月刊行の巻布量版用考致之巻考致考刊考出版

一八の二

僧與楷示寂世壽七十有の與楷字風初鏡補雲條姚周女子乳名風去慶九年

飛錫空樓詔集師位七職重梓道經行象字風大暢以致其鑿吾為義為楷塔

條



公元一八四四年

道光二十四年甲辰

赴京功其授其的斌威典九年人亦令程封治若其俄必齊的三節係行

花向主事等附以用主任於考子能本

有以用子... 授

授... 授

建德張慶辰成進士入翰林... 授

山陰章的御成進士入翰林... 授

御文

仁和趙慶... 授

氏字子梅... 授

知數... 授

一八四五年

子... 三

青雨歩偏書人信村朱出字形白馬寺往來者今主事成事級居協使抄卷之序並序  
席著古茶夢の序於年又書予權社人達受付徒等少小童等刻

仁和寺名書著深細易和竹交の巻刊行小字本

許乃劍林刊明成信卷記叙多十八卷深長つ交記九巻新々巻六巻

黄金巻木難考卷文抄の巻二巻三巻三巻八巻刊行(仙有同十年刊本語の二巻)

共易力道事同金石文字刊行

筆子持吟為松齋詩稿二巻二巻一巻刊行(是書未定十一年刊本定)

切教釋圖初巻二巻三巻刊行(是書未定)

僧與楷示寂世壽七十方の與楷字風初鏡補雲條姚周女子乳名風未定九年

飛鶴堂樓指集師位也戒重持道社信家字今大暢以政若盤子初義為櫻坊

天一一八四二二  
圖史二十四年甲

又此書向有人信能知刊本

刻字自人語二見人語後記二見(此書同凡成在元件乙書抄)

饒增王德等於御正辰字小

職內臣文以曾孫

其子孫

凡由內中

應官官有附以名存二十七十場任提何老包等方自怡軒詩有弟老起承元

赴宜功其控告的誠感興九年華人亦令程封論善去俄似齊計三又切辭律軒詞

花向少事業存附以用字任於共子孫本

為以用字附以用字任於共子孫本

附以用字

建德張應辰成進士入翰林院以字存於疏與甫以由是常取以授師修

山陰章初徽成進士入翰林院以字存於疏與甫以由是常取以授師修

御文

任和趙慶等全的曰於進士選在常趙大子但老送南船出到任以事畢戶部中全

氏子子梅以題任以刑部事畢戶部中全

趙敬崇孫本治仍十是文仍二老六印精著二老一併刊列

子集卷之二 新刊本 卷之十六 刊行

姚夏臨臨梓塔新刊本 卷之十六 刊行

八年多刊本 項序達三角和紙刊行

重刊本 卷之十七 卷之十八 卷之十九 卷之二十 卷之二十一 卷之二十二 卷之二十三 卷之二十四 卷之二十五 卷之二十六 卷之二十七 卷之二十八 卷之二十九 卷之三十 卷之三十一 卷之三十二 卷之三十三 卷之三十四 卷之三十五 卷之三十六 卷之三十七 卷之三十八 卷之三十九 卷之四十 卷之四十一 卷之四十二 卷之四十三 卷之四十四 卷之四十五 卷之四十六 卷之四十七 卷之四十八 卷之四十九 卷之五十 卷之五十一 卷之五十二 卷之五十三 卷之五十四 卷之五十五 卷之五十六 卷之五十七 卷之五十八 卷之五十九 卷之六十 卷之六十一 卷之六十二 卷之六十三 卷之六十四 卷之六十五 卷之六十六 卷之六十七 卷之六十八 卷之六十九 卷之七十 卷之七十一 卷之七十二 卷之七十三 卷之七十四 卷之七十五 卷之七十六 卷之七十七 卷之七十八 卷之七十九 卷之八十 卷之八十一 卷之八十二 卷之八十三 卷之八十四 卷之八十五 卷之八十六 卷之八十七 卷之八十八 卷之八十九 卷之九十 卷之九十一 卷之九十二 卷之九十三 卷之九十四 卷之九十五 卷之九十六 卷之九十七 卷之九十八 卷之九十九 卷之一百

沈氏歸士實名備詢雜條刊行

沈氏歸士實名備詢雜條刊行

沈氏歸士實名備詢雜條刊行

沈氏歸士實名備詢雜條刊行

沈氏歸士實名備詢雜條刊行

沈氏歸士實名備詢雜條刊行

沈氏歸士實名備詢雜條刊行

沈氏歸士實名備詢雜條刊行

沈氏歸士實名備詢雜條刊行

公覽 乙卯年 道光二十五年乙巳

是年... 乙卯年... 乙巳年... 乙卯年... 乙巳年...

乙卯年... 乙巳年... 乙卯年... 乙巳年...

乙卯年... 乙巳年... 乙卯年... 乙巳年...

乙卯年... 乙巳年... 乙卯年... 乙巳年...

乙卯年... 乙巳年... 乙卯年... 乙巳年...

乙卯年... 乙巳年... 乙卯年... 乙巳年...

乙卯年... 乙巳年... 乙卯年... 乙巳年...

乙卯年... 乙巳年... 乙卯年... 乙巳年...

乙卯年... 乙巳年... 乙卯年... 乙巳年...

乙卯年... 乙巳年... 乙卯年... 乙巳年...

善書息軒手書續集十六卷刊行

姚夏臨陳梓塘輯影梅園年譜以續編續書新刊本出版以傳是堂影印

八年刊本

項子達三角和紙刷刊行

聖教書城年字中七卷尺字林字辭科由英...

聖教續十卷...

沈約居士實名傳的雜錄刊行

增補法苑珠林... 卷刊行 (二二九〇一六七) 法苑珠林

花傳... 詩飲應鼎... 興仁撰法而齋...

明才思誠粹片文息之世家的卷抄印本

宋花... 刊行...

是年宋... 存志照特... 刊行...

舊藏列下...

此書は、明治二十二年、東京で出版された。著者は、  
（以下に著者の名前が書かれている）

（以下に著者の名前が書かれている）

（以下に著者の名前が書かれている）

（以下に著者の名前が書かれている）

（以下に著者の名前が書かれている）

（以下に著者の名前が書かれている）

（以下に著者の名前が書かれている）

（以下に著者の名前が書かれている）

（以下に著者の名前が書かれている）

（以下に著者の名前が書かれている）

（以下に著者の名前が書かれている）

（以下に著者の名前が書かれている）

（以下に著者の名前が書かれている）

善為壽息神事

姚夏臨陳梓塔輝乾楊自平信

八年刊本

項序達三角和收刊行

聖教書城

...

相師金破信於一甲二名進工全食

...

...

湯侯亨廣成近之入楊林豆氏

...

...

上廣羅宮森成進士











公元一八四七年 道光二十七年丁未

浙江朱时侯刻《喜海》伪撰天一阁见存卷目十三卷（今世以名三田）

考物藏于德保本册尾召也人张镜夫跋云于甲戌考向由谐成（信家敦）

绍云甲戌为一九三四年）

考林文献

中一九三三

年下卷一

條

一八〇〇年  
一八〇〇年

考物藏于德保本册尾召也人张镜夫跋云于甲戌考向由谐成（信家敦）

考物藏于德保本册尾召也人张镜夫跋云于甲戌考向由谐成（信家敦）

考物藏于德保本册尾召也人张镜夫跋云于甲戌考向由谐成（信家敦）

考物藏于德保本册尾召也人张镜夫跋云于甲戌考向由谐成（信家敦）

考物藏于德保本册尾召也人张镜夫跋云于甲戌考向由谐成（信家敦）

考物藏于德保本册尾召也人张镜夫跋云于甲戌考向由谐成（信家敦）

尚又ハ  
下

地之六六の

一七〇八、八三三

鳥白文十卷家計書三卷 研院的一卷刊行

振替簿刊行 遠州御用御札本三行 (同行三行 振替簿 同行三行 振替簿 同行三行 振替簿 同行三行)

取正辛辰有卷三十三卷 沈介社書刊本中版

執事別物志三十卷 刊行也

地邊後承詩聞三十の卷全移好成者一刊行

美字ノ北標全祖抄紙也 全標本ヲ材料ヲ採宋之字案一乃卷送州何似甚本

刊本中版 (是方為凡群行用否刊本板版本)

早湯終書一粟本多分多也 刊行也

方成聖堂紙本 必平信本即刊

胡云村石字山分文多也 卷約多十三卷 胡字醇博平抄本中版 (原身成世ノ子)

沈孫書狀左付版目存三光續一尾身故左付地各書存三卷友官号 札鳴一尾謝紙書自刊

張修歸善竹院心閑志係刊行

御書十卷新抄本上卷又下卷の巻数新抄本中版 大泉美術館製(四日五巻)

公元一八四七年 道光二十七年丁未

浙江本政使劉嘉海傳撰天一閣見存書目十三卷(今世以有主用)

考本派有信保在冊危者止人張鏡夫跋云於甲戌考向由諸城一官家致

得云甲戌為一九三四年

方林文獻

中一九三三

年未定一

條

一八〇二年

一八〇二年

一八〇二年

考本派有信保在冊危者止人張鏡夫跋云於甲戌考向由諸城一官家致

得云甲戌為一九三四年

浙江本政使劉嘉海傳撰天一閣見存書目十三卷

考本派有信保在冊危者止人張鏡夫跋云於甲戌考向由諸城一官家致

得云甲戌為一九三四年

考本派有信保在冊危者止人張鏡夫跋云於甲戌考向由諸城一官家致

卷之三

卷之二  
卷之一

神志見  
一八八

易白文十卷  
海內又二卷  
海內下卷  
海內上卷

振傳中刊注述物論同何林林本三種  
（因何三君撰此種同何林林本及海西卷）

蘇子辛夜有卷三十三卷沈介社卷多刊本中版

海內州子訓等錢泰吉著多竹道完海石備忘五十二卷  
海內州子訓等錢泰吉著多竹道完海石備忘五十二卷  
海內州子訓等錢泰吉著多竹道完海石備忘五十二卷

刊行  
（用春撰海石備忘用春撰海石備忘）  
又北錄成之其

玄訪仲書  
海內州子訓等錢泰吉著多竹道完海石備忘五十二卷  
海內州子訓等錢泰吉著多竹道完海石備忘五十二卷

南經唐之林成進士  
（又林成進士）  
海內州子訓等錢泰吉著多竹道完海石備忘五十二卷  
海內州子訓等錢泰吉著多竹道完海石備忘五十二卷

都御史光世三年七月  
海內州子訓等錢泰吉著多竹道完海石備忘五十二卷  
海內州子訓等錢泰吉著多竹道完海石備忘五十二卷

錢穆注元鼎陳斌  
海內州子訓等錢泰吉著多竹道完海石備忘五十二卷  
海內州子訓等錢泰吉著多竹道完海石備忘五十二卷

此二人俱由唐古士撰  
海內州子訓等錢泰吉著多竹道完海石備忘五十二卷  
海內州子訓等錢泰吉著多竹道完海石備忘五十二卷



一八六二年  
年のイ

柳川藩蔵書成道先生集卷之三 古伯院存書 漢書 古伯院存書 漢書 古伯院存書 漢書

柳川藩蔵書成道先生集

伊和利敏松駿成道先生流生流駿長選孫丹流本古七未敷帳以軍功受領道是

著山奉照成道先生之此齋號桂堂又流身忠選庄奉山奉敷帳

儀局者為吳壽賜振民振旅書也成化作多

江氏刊印成道先生一卷是也此書考比印志校本二卷

伊和流書奉山奉敷帳 是也 是也 是也 是也 是也 是也 是也 是也 是也 是也

成道先生集卷之三 古伯院存書

古伯院印雪軒抄竹十卷古伯院新刊本出後(二七二一八の二)

吳壽賜行傳稿藏書送政以之是也相任之是也刊印

古伯院山遊羊刊行

柳川藩蔵書

紅紙下

~~...~~

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

公元一八四八年 道光二十八年戊申

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一千七百四十八年

...

臨湖下

仁和惠此全於李夏自序所係楓樹之方幅自三卷謂三十年來池所之尚時為

記保善者趙晉將欽柔帳抄本故十種勝言此係極多因為行正皆係原種久成快

計自宋元以來得二百種以紀為人皆考較多評倫云此生原名潤字秋報是之二十四年

人共家楓樹之方幅以八景曰官舍山色長廊外保山城牧馬都而莊小煙寺修琴秋

山紅樹官亭晚眺楓林殘雪一時詩人多有題詠是目上卷為前卷及末列五十一種中卷

之明刻七十一種下卷清刻六十二種兩者又有楓樹之方幅多（按自考時未刊杭州亭也

梅子園從昔洲中官齋收以武進香念善信保得明趙烈文天啟稿抄本冊中有道

贊二氏樹於後經及高而與本記數列一

後卷至刊辛字係清字行一務忘考證十三卷

○  
子年抄本  
庚午年

1. 1. 1. 1. 1.

書城以統攝不庭... 卷之四

可新刊收發... (1. 1. 1. 1. 1.)

此則... 卷之四

其大... 卷之四

之... 卷之四

其... 卷之四

其... 卷之四

其... 卷之四

其... 卷之四

其... 卷之四

其... 卷之四

其... 卷之四

其... 卷之四

1. 1. 1. 1. 1.

1. 1. 1. 1. 1.

1. 1. 1. 1. 1.

1. 1. 1. 1. 1.





海州志

八八

一八四七年  
又未併一丈

仁和惠此全於嘉慶自序而後楓樹山房帖自三卷謂三十年來迄而久尚時為

海州州志初集序取行時我於其序行州志若版補刻也

海州州志初集序取行時我於其序行州志若版補刻也

海州州志初集序取行時我於其序行州志若版補刻也

海州州志初集序取行時我於其序行州志若版補刻也

海州州志初集序取行時我於其序行州志若版補刻也

海州州志初集序取行時我於其序行州志若版補刻也

海州州志初集序取行時我於其序行州志若版補刻也

海州州志初集序取行時我於其序行州志若版補刻也

海州州志初集序取行時我於其序行州志若版補刻也

海州州志初集序取行時我於其序行州志若版補刻也



蘇州大學美術館製



公元一八五〇年

道光三十年庚戌

秋八月

己未

考仲生信刻火眼号山能通使艾麻寺因日情及出子富卜久受者自论若

重刻本成册共数

一册四智子核二名士三刻元考考考二卷此信和自戴克

嘉庆乙未仿本原氏

用系平林勘一(及)时以同去(及)

用系平林勘一(及)时以同去(及)

用系平林勘一(及)时以同去(及)

用系平林勘一(及)时以同去(及)

用系平林勘一(及)时以同去(及)

用系平林勘一(及)时以同去(及)

用系平林勘一(及)时以同去(及)

用系平林勘一(及)时以同去(及)

用系平林勘一(及)时以同去(及)

用系平林勘一(及)时以同去(及)

用系平林勘一(及)时以同去(及)

一七七十四第文十

Handwritten signature or mark at the top center, possibly in red ink.

Vertical text on the left margin, including the number '0'.

海州下

一八〇

一八〇七  
又老併一丈

仁和惠此全於李夏自序而係楓樹山方帖自三卷謂三十年來迄而久尚時為

海州州知州朱伊等取乾隆時我朝所修州志若版補刻以世

卷之三

州志卷之三

補刻之華字序果善

州志卷之三

州志卷之三

州志卷之三

州志卷之三

州志卷之三

州志卷之三

○

鳥程保健年(年八十三) 洪氏子善教一室為始 獲此水鏡鏡矣 少從哲人竹老程

為佛生信刻火眼耳山能通 後不藏去因日 始及此字 家上之受者自化若

三万作老中者 善妙多神 日考及古 歷文化等 而已 刊其作 亦書彼甲乙

而及化也 亦末小卷 集計卷之末 該處計時 備之 付字表 而特與 極以 提仍 一力

此卷在末卷之末 則其末 亦小卷 亦末小卷 亦末小卷 亦末小卷 亦末小卷

此卷在末卷之末 則其末 亦小卷 亦末小卷 亦末小卷 亦末小卷 亦末小卷

此卷在末卷之末 則其末 亦小卷 亦末小卷 亦末小卷 亦末小卷 亦末小卷

此卷在末卷之末 則其末 亦小卷 亦末小卷 亦末小卷 亦末小卷 亦末小卷

此卷在末卷之末 則其末 亦小卷 亦末小卷 亦末小卷 亦末小卷 亦末小卷

一今七十四卷又十

Handwritten signature or mark in red ink at the top center.

Vertical text on the left margin, possibly a date or reference.

Small handwritten notes or stamps at the bottom left corner.

壬戌年元月二十五  
二月二十五

~~卷之二~~

壬戌年元月二十五  
二月二十五  
壬戌年元月二十五  
二月二十五

壬戌年元月二十五  
二月二十五  
壬戌年元月二十五  
二月二十五

壬戌年元月二十五  
二月二十五  
壬戌年元月二十五  
二月二十五

壬戌年元月二十五  
二月二十五  
壬戌年元月二十五  
二月二十五

壬戌年元月二十五  
二月二十五  
壬戌年元月二十五  
二月二十五

壬戌年元月二十五  
二月二十五  
壬戌年元月二十五  
二月二十五

壬戌年元月二十五  
二月二十五  
壬戌年元月二十五  
二月二十五

壬戌年元月二十五  
二月二十五  
壬戌年元月二十五  
二月二十五

壬戌年元月二十五  
二月二十五  
壬戌年元月二十五  
二月二十五

行本曰火燭三式... 一長紙... 本行... 西... 州... 版... 數

行本... 火燭... 三式... 本行... 本行... 本行...

行本... 火燭... 三式... 本行... 本行... 本行...

行本... 火燭... 三式... 本行... 本行... 本行...

行本... 火燭... 三式... 本行... 本行... 本行...

行本... 火燭... 三式... 本行... 本行... 本行...



行本... 火燭... 三式... 本行... 本行... 本行...

行本... 火燭... 三式... 本行... 本行... 本行...

行本... 火燭... 三式... 本行... 本行... 本行...

行本... 火燭... 三式... 本行... 本行... 本行...

凡竹十卷... 一... 七... 四... 卷... 文... 十... 卷... 三... 十... 卷... 今... 存... 刊... 本

一、...  
新...  
...

著...  
...

王...  
...

...

许乃...  
...

张...  
...

平...  
...

王士...  
...

延...  
...

信...  
...

八...  
...

...

...

抗人...  
...

...

...

杭州大泉美術館製(四日五)

仁和嚴娘字伯仁後嫁與小農初以貧為節歷年所不食繼智以而所以德稱有兩

奏議其以運為此略以等而洪敏制為是要論以有以務以等清敏等為初安又安奉命借道往

即坐修此以治以病乞休坐事降運回瑞瑞幸國華亦於一訪而真念一時孫威弟壽上道送此聖上

等時之修等文字盡主初教道主是仰隨之通市州州州守到共仰道字字客名多布新分存兼主

為初之修小共屋後修初修者于卷遊于于高隨若卷亦有月日之之再長竹竹竹竹竹竹竹竹竹竹竹

大使湯剛整澄官者修修小年之通女潮生法仰主修修補府修修修修修修修修修修修修修修修

玉芳字華芸妻原人再婚監運使瓜生女若若口修。帆。羽。閣。竹。稿。

海亭查冬榮查有炳兄弟及冬榮妻表妹均喜謝錦杖笈佩南有炳妻朱淑儀以

共鳴冬榮字子珍號幸者之從前婦素年通游所之人某不者有修修修修修修修修修修修修修修

文林號碧物佛物之蓮仰回孫某若若女受修修修修修修修修修修修修修修修修修修修修修

字傲字山系衛亭人亦康工查查之淋均合修蘭石查的冬榮修修修修修修修修修修修修修修

長奔年二十三而婦之姊姊均為妙嫗二人修修有表花修修修修修修修修修修修修修修修修

老身之北亦  
身向某臺下





公元一八二一年五月

道志二年

老趙

老趙之札  
多向朱卷下

奏議其以運為此故以著法教制為是要論以布為務以善為清教為多初安又安未入令借趙仲  
 即坐竹世臨以病乞休事得運同瑞瑞舉國等如外一訪為真念一州瑞成為善一運送此女已  
 等時支傳文等盡主如教送主是仰送之通市州州州待子到共仰送之五言名是而新分存兼  
 為約今行小共履履得向徐若于卷遊于主高強若卷亦有月日七七幕長竹竹區子子戲兩州不若場  
 大使湯明如滄官者瑞輝小年運女兩官沐仰主徐假補府修修深元祿定之能時又送他官王  
 玉芳字華芸藝原人再指監運送瓜生女若若口口帆帆開開信稿

海亭查冬榮查有炳之弟及冬榮妻朱琳均妻謝錦杖買佩南有楊妻朱淑係以  
 共鳴冬榮字子竹號奉香之號前婦葉年運此兩人妻不原有符祥官時未有楊之  
 文林號現物洪均子蓮仰回孫若應富女受符竹北共銀壹受查符只從非應承修快  
 字傲雲山東濟寧人五乘工查查之琳均今小蘭石查的冬榮送符琳儀字菊師查工  
 花奔年二十三而婿之姊琳均為妯娌二人結籍有妾花吟謝合稿又刻有以知一伴日

一、...  
新...  
...

...

...

...

...

...

甫二人...

...

...

...

...

...





刻字之何者佳工有保模桂字于剛亦秀山人嘗金石工刻印世稱為一

刻字之何者佳工有保模桂字于剛亦秀山人嘗金石工刻印世稱為一

刻字之何者佳工有保模桂字于剛亦秀山人嘗金石工刻印世稱為一

刻字之何者佳工有保模桂字于剛亦秀山人嘗金石工刻印世稱為一

刻字之何者佳工有保模桂字于剛亦秀山人嘗金石工刻印世稱為一

刻字之何者佳工有保模桂字于剛亦秀山人嘗金石工刻印世稱為一

刻字之何者佳工有保模桂字于剛亦秀山人嘗金石工刻印世稱為一

刻字之何者佳工有保模桂字于剛亦秀山人嘗金石工刻印世稱為一

刻字之何者佳工有保模桂字于剛亦秀山人嘗金石工刻印世稱為一

刻字之何者佳工有保模桂字于剛亦秀山人嘗金石工刻印世稱為一

刻字之何者佳工有保模桂字于剛亦秀山人嘗金石工刻印世稱為一

戴退思

此字同堂全字...

傳稱吟閣稿錦林及冬榮女芝生之詩是附刊於此芝生字九英號妙雲子其字三芝生  
以雲生字歸雲同姓朱世字林廷宣之孫也

海望堂修為一書全書名曰海望堂詩集卷之五子健送花齋之山水詩五首

夢似多師應將多畫送挽及山一勝香院是近亦善花并時黃瘦情老系文藝之士

情時榜為射會竹多為子馬徐水同姓人字湘中文工書士女二人亦相傳在書中

書有御光此字五雲號子又神竹之書山水詩五首

平明業恆与妻朱咏著陰事齋名業女主魚草號東海閣表少在蘇嘉三石山

閩朱水同姓人字簡貞考好學古蹟寫生相難少古作

秀山曹世楷曹世模兄弟並以儀平知文世楷主一介亦所傳竹木詩品極盡工傲世

模字子花號山房以石子善秦序陳道階號為秋枝其詩題齋印謔有子稿本二册

在孫稼仲家又嘗時儀平子山房齋稿中有朱吳岳鴻慶字傳三書吟詠者行小新

吟集二十四卷詠詩等集序人詩百三件集序中印又有曹大經字西樓儀後人云云

刻字之何善佳工有保樹種字于剛亦秀水人嘗金石工刻印世稱為一考後一人

新美道...

刻字之何善佳工有保樹種字于剛亦秀水人嘗金石工刻印世稱為一考後一人

字新刻以入...

刻字之何善佳工有保樹種字于剛亦秀水人嘗金石工刻印世稱為一考後一人

善辰方紫以精刻竹為獨絕之技方化字矩平鏡以廣工博其畫凡其所刻山水人

物皆自為粉本空遊閩嶠若白浪寫亦平嘗為張建濟刻像及信儀同用共像修

度價三十分幣局畢青善者不我師齋福年三十九年

善以清溪指長文藝陸氏字以山能借句工俄年旬及金石嘗以通判官罰撰

蘇山卦手板學字世碑碣而博學處杭州與戴世為書友照編其山水口無人堪

敏性善方俄國以未詳方再之位名四其字

山位韓吉洪女士...

戴世  
一八二〇

山陰周堂全元色棟是此以藝術稱周氏字月仙一字少白號蘭西山水花水師白楊  
青藤晚年畫石日得數幅朝野人求每乞其畫得全氏字間畫之花鳥乞氏字近三張  
子果一你子良之人物花木一稱則以愛多其畫陰

郭毛大鵬善竹石得友不常此

郭朱秉楫擅畫冷車朱氏字蘭亭善山水長卉而牡丹最著名

蘭溪趙駿時宏揚時善畫湯有副世子你多其子代駿初名一善字一蘭舟善

工人物山水花卉

優陳季泉善以畫性恬淡子掃崇氏字秋田號梅東老人在其字揮共子掃項任文

字法細心少畫年八十餘畫自恰其世增一在亦亦傷竹木器品極善工微

錢塘姚之稱以畫畫及孝性全不見其姓以家處城隍而後阮元善畫畫師

陳老蓮家工畫時微年八十餘善畫山水花鳥畫師

仁和何傑陰事有聲何氏字復雲長於山水及十二花卉



仁知許也著此冊為之一卷許氏字仲升號雪湖嘗依外航事以詩餘為遣  
妻信此冊以天目山一樹居於本朝之即水利一事位於本朝因以此書  
方氣之圖也

錢陸施時保送蘇云生後氏至有吳字橋生說可齋治仁文多化、學正  
● 此冊當係州學書經家之收藏者若方處仕在任以仁書之十卷年  
廿年手傳之也又方橋編化自去卷後杜進等八卷同紙記之十卷德叔所  
學物編錄三卷可齋外後考考考晚鏡才變<sup>世</sup>年七十傳

蘇武忠公受書此冊之書卷頗多而此冊之書卷亦甚多  
蘇武忠公受書此冊之書卷頗多而此冊之書卷亦甚多  
蘇武忠公受書此冊之書卷頗多而此冊之書卷亦甚多

蘇武忠公受書此冊之書卷頗多而此冊之書卷亦甚多  
蘇武忠公受書此冊之書卷頗多而此冊之書卷亦甚多  
蘇武忠公受書此冊之書卷頗多而此冊之書卷亦甚多

蘇武忠公受書此冊之書卷頗多而此冊之書卷亦甚多  
蘇武忠公受書此冊之書卷頗多而此冊之書卷亦甚多  
蘇武忠公受書此冊之書卷頗多而此冊之書卷亦甚多

山陰周堂金先生棟其山以藝樹補園以字其仙二字少白護蘭西山水花木師白楊  
海亭柏樹識雅有四癖柏人之癖林讀書之癖吟竹作畫之癖學印坊碑

披羅記富松室仙一記曰曰癖齋字成照為一記

錢培碩壇園事檀造以名增字星符相和印才壹言諸然則字書

精花鳥之變至明任之惠說聚一所有立法數而杜丹云著久

海鹽李本木以而著喜一考狀二十四卷李氏言之李之考紀而四卷王至開之

陵以得板林考時傳印標本印霜兵續志考子稿祥存今歸物人本李恒家又其在

著不有必得考信亦得造考志之向刊也

海鹽方澹菴輯道光澌水林志續四十年成書十二卷澌為自明委請董氏續其後

是故出新編今主人九峯黃產而不知光二十八年抄本以以司主故每有傳抄本

冊方氏云云補載其生以雲地以字所考者有兩多一考世積積字考（海鹽物用  
書傳飛程元二撰澌補錄一冊本）

臨海注度是歲受生任其家著佛音律業狀州計臣核合善方圓易說象十二

卷多即文獻補一册注著此文編一册今以文其不存者並船古往本六方即文獻補為歲良名州以去

三台注係空名多即錢中存以書按進補圖之印多身保一萬三十五二

平海山志林下平本蘇學付如三平新書

新出印

重刊文以文西二新字元本廿每部印七卷引北州林印三卷以本新合未本蘇編也

會稽王潘池元泰一系修道光會稽縣志成稿二十五卷潘字若岐元泰生者安統景

莊道光二十一年直士由梅林磨穴口而監作道是志原闕地理建宜田賦字樣此備後

官牙志三編卷又供送奉任一稿金石三志一稿以一卷現存者十四卷及卷首一卷後

藏地石生家此碑作興修志委多合於民國二十五年重校印印保時刊誤

平明沈福徽文致獻書生成考比以空室南院山仙輝者就傲印方七十三卷

元泰見  
一八〇〇年

〇

〇

卷字行世因字樣八卷增增州外史十六卷日本記一卷至宣和備均類錄一卷

總然馮勝齋以華道業政官堂仿天一閣文據斟酌核以併去較年快印載字

五范付諸空人夫去不馮公所書亦未意終新好核等印也

陽身沈珍其詞為人說部述上修撰積久成帙各曰環集稽瑣錄二十四卷沈氏子星泉

又字彙石是去包括天文地理時令風俗詩話文字儀禮禮古俗一人一人事雜文詞同釋

送沈鬼后庭服飾到夜五用技術的合花果草木禽獸雜事凡二十四類皆以類編

軍運信之令而不符其的本好每條詞如彙編後引用材料益極似幸係今亦未核其力

移本四冊

屏身如奇林若去意積筆到沈氏至一條至富收下既甚夥多法自製

吳氏松竹老到本陽微玉粹玉意畫史之卷多段

沈文世版也堂文仙十三卷刊列

向去書

杭州大東美術館製(日)四四七(第)

吳孫子一書一書約一卷書南齊此約一卷刊行

吳書考陽孫修精藏者題改允之卷并附錄刊行

孫和射禮賦一卷刊行

中書 陳炳坤著新研山方請勅一卷刊行

王士雄雲札總集二卷刊行

孫同乞今設三辨一卷刊行

孫瑞大孫山分即來於印生版

沈之二八三七  
併入

後兄弟及左

趙學階

卷五

卷廿六

兩條文重校

薛佑

卷廿七

卷廿八

兩條不同

薛傳

卷廿九

卷三十

兩條不同

薛傳

卷三十

卷三十一

兩條不同

方過學

卷三十二

卷三十三

兩條一條重校

酒缺頁抄刻

卷五十三

七段

缺七八九十頁

有刻入

卷五十六

缺末尾六

送送華中琴卯十一日廿七日者夷船三隻入溫州港  
廿八日其人仰刀上卷下与文試官會狀就經押  
兄趙伯通未錄









美国长老会设立英华书馆了书馆。先是<sup>英子馆</sup>一<sup>英子馆</sup>教会创办的英华书馆书局  
用中文活字，印书教会的书报旧书报，  
后来通符到年快末，改用此法，由是1858年，改教会所买利利来作英华书馆印书，  
机总机成竟做华文字模<sup>大小</sup>院。一子回英子，二子回印子，三子回申子，四子回印子  
五子回印子，六子回印子，七子回印子。